

年 報

令和5年度

高島市民病院

理 念

湖西地域の中核病院として、住民の方々の健康を守り、医療の充実に努めます。

基本方針

1. 医療を受けられる方の権利を尊重し、説明と納得・信頼の医療を追求します。
2. 医療安全に努め、質の高いチーム医療とあたたかな看護を実践します。
3. 救急医療の充実に努めると共に、災害医療にも対応できる病院を目指します。
4. 地域の福祉・医療機関と連携し、疾病治療と予防医療を推進します。
5. 継続的な地域医療を実践するため、経営の安定化に努めます。

医療を受けられる方の権利

1. 尊厳ある個人と生命・人格・信条の尊重を受ける権利があります。
2. 安全で良質な医療および健康教育を受ける権利があります。
3. 医療内容とその結果・予後について説明を受け、自己決定する権利があります。
4. セカンドオピニオン（他院の医療者の意見）を求める権利があります。
5. 個人情報やプライバシーの保護を受ける権利があります。

医療を受けられる方へのお願い

1. ご自分の健康状態について、なるべく正確に職員にお伝え下さい。
2. 治療効果を高めるため、職員とともにチーム医療にご参加・ご協力下さい。
3. 検査や治療方法などの説明について、納得できない場合は職員にお知らせ下さい。
4. マスク着用・咳エチケット・手洗い・面会制限などの感染対策を含め、病院内では規則に従い、職員の指示をお守り下さい。
5. 療養環境の改善のため、お気づきの点があればお教え下さい。

病院の倫理綱領

1. 医療という仕事の尊厳と責任を自覚し、不断に知識・技術および倫理観を高めるよう努めます。
2. 患者様の人格と価値観を尊重した医療を行います。
3. 十分な説明と同意による医療を行い、患者様の自己決定権を尊重します。
4. 全ての患者様に公平で最善かつ安全な医療を行います。
5. 患者様のプライバシーを守ります。

挨拶



病院事業管理者 西川 彰

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行したものの、陽性患者の入院受入れは今もなお継続しています。コロナ発生から今日まで当院が受け入れたコロナ入院患者は 600 人以上とかなりの数にのぼりました。この間、通常診療にほとんど影響を与えることなく病院機能を維持できたのは、ひとえにすべての病院職員のおかげであると感謝いたしますとともに誇りに思います。

経営面においては、令和 5 年度は、「高島市民病院改革プラン」に取り組み一定の成果は上げたものの、コロナ禍で減少した患者数の回復には至らず、コロナ感染症に関する国の補助金が減額された中、令和 5 年度決算は 4 年ぶりに赤字となりました。今後も、病院運営コストの上昇や少子高齢化と人口減少に伴う患者数の減少などによりますます経営が厳しくなる中、地域の中核病院として質の高い医療の提供に努めることで、公立病院としての役割を果たしてまいります。

この度、当院の令和 5 年度の年報がまとまりました。作成に携わっていただいた関係方々のご協力に感謝を申し上げますとともに、各部門の軌跡を確認することで当院の医療活動を評価し、改善する契機になることを期待してします。ご一読いただければ光栄です。



病院長 武田 佳久

令和 5 年度年報の完成と発刊にあたりご挨拶させていただきます。まずは原稿執筆や発刊の労をとって頂いた方々に深く感謝いたします。

令和 5 年度は令和 2 年から続いていた新型コロナウイルス感染症が 5 月から 2 類から 5 類へと格下げとなりました。それまでの 3 年間でウイルスに対する検査体制をはじめとする対策、対応など大きく進化を遂げたところもあり世間と同様病院においても歓迎される場所でありました。医療においても煩わしいウイルス防御体制が少しずつ簡略化されて医療機関としても医療サービスが提供しやすくなったような印象でありました。

令和 5 年度はアフターコロナ元年としてそれまでよりも若干ではありますが、各所属において業績が上向きとなっているようです。コロナ禍では、病院受診を避けていた方もおられたようで、その間に病状が進んでしまった方々が少なからずおられたようでした。一方軽症でコンビニ受診の方が減少しているのも実感しております。また病棟におきましては、新型コロナウイルス感染波が夏と冬に 1 回ずつあり、残念ながらクラスター化しました。しかしながら入院の方々もスタッフの方々も大半が軽症で大事に至らなかったことは病院として安堵した次第です。今後もこの傾向は数年続くものと予想されます。またインフルエンザウイルスやマイコプラズマ、ノロウイルスなど複数の感染症が同時に流行することも想定されますのでこれまで通り感染対策に十分留意しながら病院運営を行って参りたいと考えております。

今後は医療技術やデジタル化の進歩が加速されると思われまますので当院でもその波に乗り遅れることのないように情報を収集して病院の実績が一層飛躍することを大いに期待しております。

目 次

病院理念・基本方針

患者様の権利

病院の倫理綱領

挨拶

病院事業管理者 西川 彰

病 院 長 武田 佳久

I 病院の概要

1. 病院概要	1
2. 病院沿革	7
3. 病院組織図	8
4. 会議・委員会組織	10
5. 役職員一覧	11
6. 常勤医師一覧	12
7. 各種行事・講演会・研修会・教室等開催状況	13

II 活動状況

1. 院内各部署活動状況

循環器内科	19
消化器内科	20
糖尿病・内分泌内科	21
腎臓内科／人工透析室	21
呼吸器内科	23
血液内科	24
脳神経内科	24
総合診療科	25
精神科・神経科	25
小児科	26
消化器外科	28
乳腺外科	30
整形外科	31
脳神経外科	31
皮膚科	32
泌尿器科	32
産婦人科	33
眼 科	34
耳鼻いんこう科	34
歯科・歯科口腔外科	35

放射線科	35
麻酔科	36
リハビリテーション室	37
手術室・中央材料室	38
薬局	39
放射線室	41
中央検査室	43
臨床工学室	44
栄養管理室	45
看護部	46
医療安全部	49
感染防止対策室	53
地域医療支援部（地域医療連携室・入退院支援室・患者相談支援室）	54
健診室	55
病院総務課	56
経営統括課	57
医事課	58
朽木診療所	59

2. 委員会活動状況

経営改善推進本部兼管理運営会議	60
人権推進・倫理委員会	60
医療安全管理委員会	61
救急医療対策・災害対策委員会	64
労働安全衛生委員会	65
院内感染対策委員会	65
褥瘡対策委員会	68
栄養管理・NST委員会	68
治験委員会	69
新規医療技術・医療機器・診療材料検討委員会	69
薬事・輸血委員会	70
臨床検査適正化委員会	70
臨床研修委員会	71
臨床研修管理委員会	72
総合診療科専門研修プログラム管理委員会	72
地域連携・入院調整委員会	73
ホームページ・広報・図書委員会	73
患者サービス改善委員会	74
個人情報保護委員会	74
手術室運営・医療ガス管理委員会	74
放射線障害防止委員会	75

研修委員会	76
病院機能評価委員会	77
クリニカルパス委員会	78
保険診療会議	78
健診委員会	79
業務改善委員会	79
医療情報システム運営委員会	80
化学療法委員会	80
ハラスメント委員会	81
DPCコーディング委員会	81
病院まつり実行委員会	82
地域がん診療病院運営委員会	82
緩和ケアチーム	83

3. 健康教室

母親学級	84
産後ケア外来	84
ストーマ外来	84
禁煙外来	85
糖尿病教室	86
心臓病教室	86
透析食事療養教室	86

4. 業績集

学会発表等	87
新人看護職員教育プログラム	91

III 統計資料

1. 患者数	93
2. 救急患者状況	94
3. 診療科別退院延患者数・平均在院日数	96
4. 疾病大分類別・診療科別・退院（転科含む）患者数	97
5. 手術室統計	98
6. 放射線画像統計	100
7. クリニカルパス使用状況	101
8. リハビリ統計	102
9. 地域医療連携室相談実績	110
10. 健診センター受診者件数	111
11. 病院事業決算比較表	112

I . 病院概要

1. 病院の概要

運 営

高島市民病院は、湖西地域における唯一の公立病院として地域の住民の方々から信頼される医療の提供を目指しています。最新の医療機器の導入を図り、小児医療・老人医療・救急医療および在宅医療を含め地域の中核病院として幅広い役割を担って医療活動を行っています。

本院では、診療情報の開示を実施しており、インフォームドコンセントの重要性を認識して患者さまに親切・丁寧・わかりやすくを目指しております。

名 称 高島市民病院
開 設 者 高島市長
所 在 地 滋賀県高島市勝野1667番地
電話番号 0740-36-0220
F A X 0740-36-1341
診療圏域 高島市および大津市北部
病院本棟 鉄筋コンクリート造（免震構造）
地上5階 延床面積14,037㎡
オール電化



交 通

<道路アクセス>

【大阪(茨木)から】名神高速道路京都東インターより国道161号線を北進

(所要時間：約80分)

【京都から】西大津バイパス、国道161号線を北進

(所要時間：約50分)

<鉄道アクセス>

【大阪から】JR東海道本線（湖西線経由）敦賀行・新快速にて近江高島駅下車

(所要時間：68分)

【京都から】JR湖西線・新快速にて近江高島駅下車

(所要時間：38分)

病床数

一般206床	感染病床4床	合計210床	
<5階>	5階南病棟	41床	内科（うち感染病床4床）
	5階東病棟	42床	循環器科、外科、心臓血管外科
<4階>	4階南病棟	42床	地域包括ケア病棟
	4階東病棟	40床	小児科、整形外科、脳神経外科
<3階>	3階東病棟	45床	産婦人科、歯科口腔外科、内科他

主たる医療機器・システム

マルチスライスCT（64列）	人工透析装置
MR I 撮影装置（1.5テスラ）	電子カルテシステム
血管造影X線診断装置	健診システム
ラジオアイソトープ撮影装置	地域医療連携システム
診断用X線TV装置	感染症管理支援システム
移動型外科用X線透視撮影装置	画像システム（PACS・RIS）
乳房X線撮影装置	遠隔病理診断システム
超音波診断装置	生理検査システム
生体情報モニター	内視鏡システム
分娩監視装置	透析システム

指定医療機関

保険医療機関
救急指定医療機関（病院群輪番制実施・二次救急）
第二種感染症指定医療機関（第二類感染症医療）
DPC対象病院
災害拠点病院
原子力災害医療協力機関
地域医療支援病院
地域がん診療病院
へき地医療拠点病院
地域包括医療・ケア認定施設
臨床研修指定病院（基幹型）
日本医療機能評価機構認定病院
労災保険法指定医療機関
結核指定医療機関
難病指定医療機関
指定養育医療機関
生活保護法指定医療機関
小児慢性特定疾病指定医療機関
滋賀県肝疾患専門医療機関
指定自立支援医療機関（更生医療・精神通院医療）
被爆者一般疾病医療機関
戦傷病者特別援護法指定病院

指定医

身体障害者福祉法指定医（視覚(視覚限定)、聴覚(聴覚限定)、平衡、音声・言語、肢体不自由、心臓、じん臓、呼吸器、ぼうこう・直腸、小腸、肝臓)

学会認定施設

日本外科学会専門医制度修練施設
日本消化器外科学会専門医制度修練施設
日本整形外科学会認定研修施設
日本脳神経外科学会専門医訓練施設
日本脳卒中学会一次脳卒中センター
日本口腔外科学会認定準研修施設
日本麻酔科学会麻酔科認定病院
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本循環器学会認定循環器研修施設
日本産婦人科学会専門研修連携施設
日本小児科学会専門医研修関連施設
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本泌尿器科学会泌尿器科専門医教育施設関連教育施設
総合診療科専門医研修プログラム基幹病院

施設基準

《基本診療料に関する事項》

急性期一般入院料4（一般病棟）	令和	4年10月	1日
地域包括ケア病棟入院料2	令和	4年10月	1日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成31年	4月	1日
歯科外来診療環境体制加算2	平成30年	10月	1日
救急医療管理加算	令和	2年4月	1日
診療録管理体制加算2	令和	4年10月	1日
医師事務作業補助体制加算2	令和	2年10月	1日
急性期看護補助体制加算	平成31年	2月	1日
療養環境加算	平成24年	11月	1日
医療安全対策加算1	平成30年	5月	1日
感染対策向上加算1	令和	4年4月	1日

患者サポート体制充実加算	平成30年	7月	1日
報告書管理体制加算	令和4年	4月	1日
ハイリスク妊娠管理加算	平成21年	1月	1日
後発医薬品使用体制加算1	令和5年	9月	1日
病棟薬剤業務実施加算1	平成29年	5月	1日
データ提出加算2	平成26年	9月	1日
入退院支援加算1	令和5年	6月	1日
認知症ケア加算3	令和2年	4月	1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和2年	4月	1日
排尿自立支援加算	令和6年	3月	1日
地域医療体制確保加算	令和4年	10月	1日
看護職員処遇改善評価料	令和4年	10月	1日
小児入院医療管理料5	平成29年	7月	1日

《特掲診療料に関する事項》

糖尿病合併症管理料	平成28年	4月	1日
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年	4月	1日
がん患者指導管理料イ	令和4年	10月	1日
がん患者指導管理料ロ	平成28年	11月	1日
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年	11月	1日
乳腺炎重症化予防ケア・指導料	平成30年	4月	1日
婦人科特定疾患治療管理料	令和2年	9月	1日
二次性骨折予防継続管理料1・2・3	令和4年	10月	1日
院内トリアージ実施料	令和3年	4月	1日
夜間休日救急搬送医学管理料の注3に掲げる救急搬送看護体制加算	令和2年	4月	1日
外来腫瘍化学療法診療料1	令和4年	4月	1日
ニコチン依存症管理料	平成29年	7月	1日
開放型病院共同指導料	平成30年	3月	1日
がん治療連携計画策定料	平成27年	7月	1日
外来排尿自立指導料	令和6年	3月	1日
地域連携診療計画加算	平成30年	4月	1日
がん治療連携計画策定料	平成27年	7月	1日
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年	4月	1日
薬剤管理指導料	平成24年	6月	1日
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年	4月	1日
医療機器安全管理料1	平成23年	7月	1日
歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	平成22年	4月	1日
心臓ペースメーカー指導管理料の「注5」に掲げる遠隔モニタリング加算	令和3年	4月	1日
歯科疾患在宅療養管理料の注4に掲げる在宅総合医療管理加算及び在宅患者歯科治療時医療管理料	平成22年	4月	1日
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料	平成30年	4月	1日
在宅療養後方支援病院	平成27年	10月	1日
在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料注2に規定する遠隔モニタリング加算	令和4年	6月	1日
BRC A 1 / 2 遺伝子検査	令和5年	10月	1日
HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	平成26年	4月	1日
検体検査管理加算（Ⅱ）	平成20年	6月	1日
ヘッドアップティルト試験	平成25年	5月	1日
神経学的検査	平成24年	4月	1日

コンタクトレンズ検査料 1	平成 29 年	4 月	1 日
小児食物アレルギー負荷検査	平成 18 年	4 月	1 日
画像診断管理加算 2	平成 20 年	9 月	1 日
C T 撮影及びMR I 撮影	平成 24 年	5 月	1 日
冠動脈C T 撮影加算	平成 24 年	5 月	1 日
心臓MR I 撮影加算	平成 24 年	5 月	1 日
小児鎮静下MR I 撮影加算	平成 30 年	4 月	1 日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	平成 22 年	4 月	1 日
外来化学療法加算 1	平成 25 年	7 月	1 日
無菌製剤処理料	平成 20 年	4 月	1 日
心大血管リハビリテーション料 (I)	令和 6 年	3 月	1 日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	平成 24 年	4 月	1 日
運動器リハビリテーション料 (I)	平成 24 年	4 月	1 日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	平成 24 年	4 月	1 日
がん患者リハビリテーション料	平成 31 年	4 月	1 日
歯科口腔リハビリテーション料 2	平成 26 年	4 月	1 日
医科点数表第 2 章第 9 部処置の通則の 5 に掲げる処置の休日加算 1、 時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成 26 年	4 月	1 日
人工腎臓	平成 30 年	4 月	1 日
導入期加算 1	平成 30 年	4 月	1 日
透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	平成 25 年 10 月		1 日
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成 28 年	8 月	1 日
C A D / C A M 冠	平成 26 年	8 月	1 日
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	令和 5 年 10 月		1 日
乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検 (併	令和 5 年	8 月	1 日
乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検 (単	令和 5 年	8 月	1 日
内視鏡下乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生 検 (単独)	令和 5 年	8 月	1 日
経皮的冠動脈形成術 (特殊カテーテルによるもの)	令和 2 年	7 月	1 日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	平成 17 年	1 月	1 日
大動脈バルーンパンピング法 (I A B P 法)	平成 17 年	1 月	1 日
内視鏡的小腸ポリープ切除術	令和 4 年	4 月	1 日
膀胱水圧拡張術	令和 2 年	2 月	1 日
人工尿道括約筋植込・置換術	令和 3 年	5 月	1 日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 12 に掲げる手術の休日加算 1、 時間外加算 1 及び深夜加算 1	平成 26 年	4 月	1 日
医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術	平成 26 年	4 月	1 日
輸血管理料 II	令和 2 年	5 月	1 日
輸血適正使用加算	令和 2 年	5 月	1 日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成 25 年	2 月	1 日
胃瘻造設術時嚥下機能評価加算	平成 26 年	4 月	1 日
歯周組織再生誘導手術	平成 24 年	4 月	1 日
麻酔管理料 (I)	平成 23 年	7 月	1 日
保険医療機関間の連携による病理診断	平成 26 年	8 月	1 日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理 組織標本作製	平成 26 年	8 月	1 日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	平成 26 年	8 月	1 日
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成 17 年	1 月	1 日
歯科矯正診断料	令和 元年	9 月	1 日
顎口腔機能診断料 (顎変形症 (顎離断等の手術を必要とするものに限 る。) 手術前後における歯科矯正に係るもの)	令和 元年 12 月		1 日

朽木診療所

名 称	高島市民病院朽木診療所
開 設 者	高島市長
所 在 地	高島市朽木市場701番地
電 話 番 号	0740-38-2071
標榜診療科	内科、小児科、外科

朽木診療所は地域に根ざした心あたたまる医療を実践していきます。

1. 住み慣れたご自宅での療養を行えるように、定期的に訪問して治療・処方を行います。
2. 地域の病院・訪問看護ステーションなどと連携し、患者様の立場を考えたよりよい医療を提供します。
3. 夜間や休日でも患者様の状態に応じて往診可能ですので、安心して療養を行っていただけます。

朽木診療所では、外来診療、訪問診療、往診が主な業務です。地域住民の健康、福祉を支えていく役割を果たしていけるよう取り組んでいきます。

施設基準

《基本診療料に関する事項》

- 基本強化加算
- 外来感染対策向上加算

《特掲診療料に関する事項》

- がん性疼痛緩和指導管理料
- ニコチン依存症管理料
- 在宅療養支援診療所 3
- がん治療連携指導料
- 在宅時医学総合管理料
- 施設入居時等医学総合管理料
- 在宅がん医学総合診療料
- 外来後発医薬品使用体制加算 3



介護老人保健施設陽光の里

名称 介護老人保健施設陽光の里
開設者 高島市長
所在地 高島市勝野1667番地14
電話番号 0740-36-1220

陽光の里は、家庭復帰や在宅生活での自立を目指すお年寄りや、ご家庭で介護されるご家族の支援を目的とする施設です。

利用者が有する能力に応じて自立した生活が送れるよう、施設サービス計画に基づいて、医学的管理の下、リハビリテーション、看護、介護ならびに日常生活サービスを合わせて提供し、家庭への復帰を目指します。明るく家庭的な雰囲気のもとで、地域や家庭との結びつきを大切にし、利用者や家族に安心・満足・可能性を追求したケアと生き甲斐を見いだせる場を提供します。

入所定員 100名／日

通所定員 15名／日

サービス内容

・入所サービス

サービス計画に基づいて一定期間入所して頂き、医学的管理下での介護・機能訓練・その他必要な医療と日常生活のお世話をさせて頂き、家庭復帰を目指して頂きます。

・短期入所サービス（短期入所療養介護）

サービス計画に基づいて短期入所して頂き、医学的管理下での介護・機能訓練・その他必要な医療と日常生活のお世話をさせて頂きます。

・通所リハビリテーション

サービス計画に基づいて家庭から施設に通所して頂き、心身機能の維持回復・日常生活自立のための理学療法・作業療法・その他必要なリハビリテーションを受けて頂きます。

・その他

介護予防短期入所療養介護や、介護予防通所リハビリテーションも行っています。

介護報酬の加算状況

短期集中リハビリテーション実施加算
在宅復帰・在宅療養支援機能加算（Ⅰ）
外泊時費用（在宅サービス利用）
ターミナルケア加算
入所前後訪問指導加算（Ⅰ）
試行的退所時指導加算
退所時情報提供加算
入退所前連携加算（Ⅱ）
訪問介護指示加算
経口移行加算
経口維持加算（Ⅰ）
療養食加算
所定疾患施設療養費（Ⅰ）
安全対策体制加算
サービス提供体制強化加算（Ⅱ）
介護職員処遇改善加算（Ⅲ）

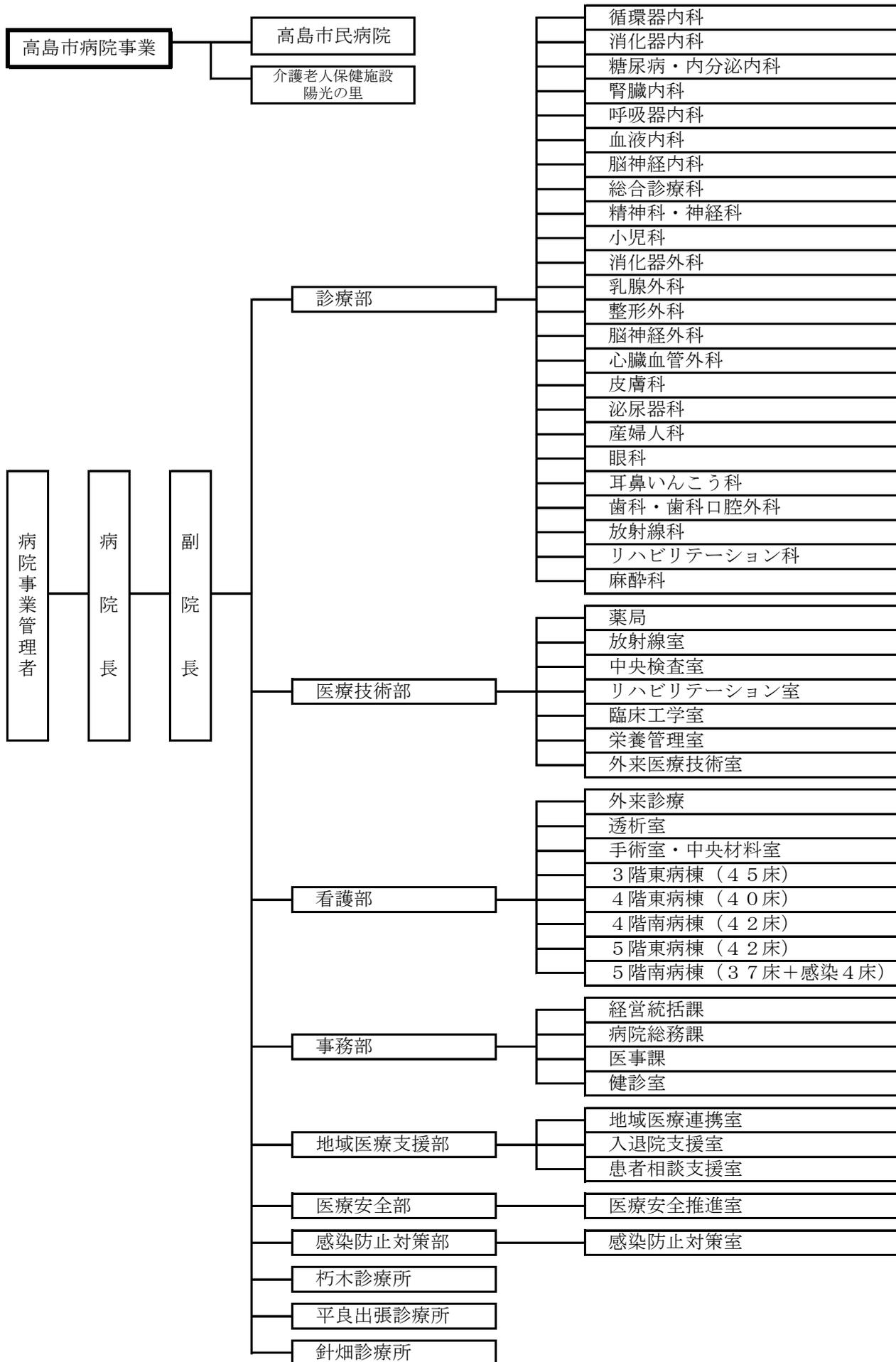


2. 高島市民病院の沿革

昭和	25年	2月	高島町国民健康保険直営高島診療所開設（6床）内科・耳鼻科
	31年	9月	高島町国民健康保険直営高島診療所（19床）外科・整形外科・産婦人科を設置
	33年	3月	高島町国民健康保険高島病院として発足（24床）
	35年	5月	病棟、給食棟増築（61床）
		8月	放射線科開設
	36年	1月	歯科開設
	38年	7月	病棟増築（110床）
	40年	9月	救急病院告示
	41年	4月	本館C棟、病棟増築（185床）
		6月	小児科設置
		12月	血液センター高島出張所を併設
	46年	10月	B病棟増築（245床） リハビリテーション施設完備
		12月	リハビリテーションセンターを設置
	48年	1月	理学療法科設置
	50年	12月	精神科・神経科設置
	52年	3月	僻地中核病院指定
		8月	E病棟増改築（特殊診療・R I室・人工腎臓施設増設・産婦人科病棟改築 R I（S53. 4. 1使用許可）、人工腎臓透析施設（S52. 12. 6使用許可）
	53年	9月	伝染病隔離病舎改築（湖西地域広域市町村圏事務組合） 10床（S53. 1. 26使用許可）
		6月	平良出張診療所開設
		8月	皮膚科設置
		10月	泌尿器科・眼科設置
	54年	6月	脳神経外科設置
		7月	二次救急（病院群輪番制）発足（S54. 4. 13使用許可）
	56年	10月	郡立高島病院開設（湖西地域広域市町村圏事務組合に移管）
	57年	3月	総合病院として名称使用許可
	62年	3月	A棟（外来、2A病棟、手術室）、放射線棟、機械棟完成
		7月	針灸診療所開設
	63年	4月	循環器科設置
	平成	3年	4月
5年		3月	病棟改築 便所棟増築（251床）
	8年	10月	歯科口腔外科設置
9年	4月	新病棟完成（老人保健施設併設）	
	5月	新病棟使用許可	
	11月	麻酔科設置	
	6月	心臓血管外科設置	
11年	4月	第二種感染症指定医療機関（4床）	
	11月	湖西広域連合に開設者変更	
15年	6月	総合相談窓口の開設	
	11月	臨床研修病院に指定	
16年	4月	地域リハビリテーション支援センター開設	
17年	1月	高島市に開設者変更	
	11月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（Ver4.0）認定	
	4月	許可病床数210床に変更（うち感染4床）	
21年	8月	災害拠点病院に指定	
23年	4月	地方公営企業法全部適用	
24年	4月	高島市民病院に名称変更	
	5月	病院新築移転（同一敷地内） 電子カルテ導入	
25年	4月	健診センター開設	
27年	4月	地域がん診療病院に指定	
28年	3月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（3rdG:Ver1.1）認定	
	4月	D P C対象病院に指定	
	5月	地域包括ケア病棟開設	
29年	4月	国民健康保険朽木診療所を経営統合	
30年	2月	病理解剖室の整備	
	3月	地域医療支援病院の承認	
令和	3年	4月	介護老人保健施設陽光の里を事業統合
	4年	2月	財団法人日本医療機能評価機構病院機能評価（3rdG:Ver2.0）認定
	6年	3月	本棟外壁改修

3. 高島市民病院組織図

(令和5年度)



職員数

令和6年3月31日現在

職種	常勤	非常勤
医師	33人	112人
歯科医師	2人	0人
理学療法士	14人	0人
作業療法士	7人	0人
言語聴覚士	2人	0人
歯科衛生士	2人	3人
歯科技工士	0人	0人
管理栄養士	5人	0人
栄養士	0人	0人

職種	常勤	非常勤
助産師	8人	5人
看護師	131人	22人
准看護師	2人	5人
看護補助	0人	14人
薬剤師	9人	1人
診療放射線技師	10人	1人
臨床検査技師	10人	1人
臨床工学技士	9人	0人
視能訓練士	1人	0人

職種	常勤	非常勤
行政職	21人	10人
心理療法士	2人	1人
医療ソーシャル ワーカー	5人	0人
保健師	0人	0人
システム保守	0人	2人
保育士	0人	6人
運転手	0人	3人
合計	273人	186人

4. 高島市民病院会議・委員会組織

令和5年度



5. 役職員一覧

令和6年3月31日現在

役 職 名	氏 名
病院事業管理者	高 山 博 史
病院長・医療安全部長	武 田 佳 久
副院長・診療部長	岡 本 剛
副院長・感染防止対策部長	永 江 徹 也
医療技術部長	中 井 正 紀
薬局長	木 下 貴 長
放射線室技師長	齊 藤 満
中央検査室技師長	中 島 正 次
リハビリテーション室技師長	清 水 一 美
臨床工学室技師長	長 濱 崇
看護部長	福 田 直 美
副看護部長	岡 田 裕 子
副看護部長・地域医療連携室長・患者相談支援室長	末 武 美 里
外来診療看護師長	水 谷 清 美
透析室看護師長	齊 藤 育 代
手術室・中央材料室看護師長	山 極 恵 子
3階東病棟看護師長	木 村 薫
4階東病棟看護師長	生 駒 晶 子
4階南病棟看護師長	土 肥 志のぶ
5階東病棟看護師長	木 下 宏 恵
5階南病棟看護師長	黒 丸 昌 美
事務部長	長谷川 善 一
事務部次長	奥 野 直 久
経営統括課長	一 井 恒 伸
病院総務課長	中 村 孝
医事課長	柳 森 和 人
健診室長	澤 田 さよ子
地域医療支援部長	伊 東 正 文
入退院支援室長	北 野 栄美子
朽木診療所長	堤 美紗子
朽木診療所看護師長	日 置 千津子

6. 常勤医師一覧

令和6年3月31日現在

役職名	氏名
病院事業管理者（血液内科）	高山 博史
病院長（消化器外科）	武田 佳久
副院長（整形外科）	岡本 剛
副院長（腎臓内科）	永江 徹也
循環器内科科長	杉原 秀樹
循環器内科副科長	谷口 晋
循環器内科医長	福沢 綾子
循環器内科医長	高橋 宏明
消化器内科副医長	内田 和也
呼吸器内科部長	重森 度
総合診療科科長	伊東 正文
総合診療科医長	堤 美紗子
総合診療科副医長	小嶋 克
総合診療科副医長	金岡 智也
総合診療科医師	田渕 友理
小児科科長	安藤 武
小児科部長	大音 泰介
消化器外科科長	中島 研郎
消化器外科部長	渡邊 武志
消化器外科医長	高橋 有和
消化器外科医長	倉田 佳彦
整形外科副医長	牛山 依玲奈
整形外科医師	森山 広太郎
脳神経外科医師	市川 正春
泌尿器科科長	水流 輝彦
産婦人科医長	花田 哲郎
歯科・歯科口腔外科副医長	徳持 翔太
歯科・歯科口腔外科医師	七島 慧一郎
放射線科科長	木上 裕輔
麻酔科科長	川人 道夫
臨床研修医	木檜 周
臨床研修医	宇野 亮
臨床研修医	田中 洋子
臨床研修医	高鳥 裕也
臨床研修医	安井 大貴

R5年度 各種行事・講演会・研修会・研修会・教室等開催 状況 (看護部)

令和5年4月3日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
新人教育研修	4月1日～	看護部・医療技術部 新人 研修医	別紙参照	新人教育プログラム参照	新人教育プログラム実績参照
プリセプター・サポーター研修	4月1日～	プリセプター サポーター	別紙参照	新人教育担当者等	プリセプター・サポーター学習支援計画・実績参照
看護週間	5月11日・12日	外来患者と看護職員	外来受診患者約500名	看護職員(担当5名)	ポスター掲示(23名)とティッシュ配り
看護部の方針	5月17日・18・19日	看護師全員	143名	看護部長・各部署師長	看護部 各部署の方針
ラダーⅤ研修	5月17日	ラダーⅤ対象看護師	7名	末武美里、村田裕子	オンデマンド研修 103 困難事例を支援する 事例検討会を学ぶ
ラダーⅡ-1研修	5月18日	2年目看護師	6名	宇田洋海、宮田麻里	教育目標と年間計画の説明 看護倫理について ナラティブについて
ラダーⅡ-2研修	5月18日	3年目看護師	8名	宇田洋海、宮田麻里	ラダー研修の目的目標の共有、ケーススタディー
ラダーⅣ研修	6月5日	ラダーⅣ対象者	16名	山本知世、川原春香	年間教育計画の説明
ラダーⅢ研修	6月7・8・9日	ラダーⅢ対象者	76名	齋藤育代、山口真有美、中村大介	年間教育計画の説明、小集団、事例検討、困難事例 例検討について
ラダーⅤ研修	6月21日	ラダーⅤ対象者	8名	末武美里、村田裕子	オンデマンド研修 103 困難事例を支援する 事例検討会を学ぶ
マネジメントラダーⅠ 師長・師長補佐・主任 同研修会	6月21日	主任	8名	末武美里、西川真名美	オンデマンド研修 139 地域及び自組織のアセス メントに向けた調整力の育成
ラダーⅡ-2研修	6月23日	師長・師長補佐、主任	31名	福田直美	オンデマンド研修 108 タスクシフト/シェアとは
ラダーⅢ-2研修	7月3日	3年目看護師	8名	宮田麻里	ACP研修 臨床倫理の4分割
看護補助者研修	7月5日	ラダーⅢ対象者	20名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急 場面の対応
ラダーⅢ-3研修	7月13、27日	ラダーⅢ-3対象者	13名	清家美香 感染制御実践看護師	看護補助者業務における感染防止の基礎知識 手指衛生の実習
ラダーⅢ-1研修	7月14日	ラダーⅢ-1対象者	17名	齋藤育代	オンデマンド研修 134 ケアの受け手の自己 決定を支える他職種の間連携
			8名	山口真有美	看護に生かすリダーシップを学ぶ ～看護実践能力を学ぶ～

ラダーⅢ-2研修	7月19日	ラダーⅢ-2対象者	12名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急 場面の対応
ラダーⅤ研修	7月19日	ラダーⅤ対象者	8名	末武美里、村田裕子	マンダラート法学習会
ラダーⅡ-1研修 ACP研修	7月27日	2年目看護師	6名	宇田洋海 宮田麻里	実践編・コミュニケーションの基本
実習指導者研修会	7月31日、8月1日	指導に携わる看護師	15名	西川慶介	Z世代の理解と指導支援の仕方を考える
ラダーⅢ-2研修	8月3日	ラダーⅢ-2対象者	17名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急 場面の対応
ラダーⅣ研修	8月7・21・28日	ラダーⅣ対象者	16名	看護師長補佐	オンデマンド 138 地域での療養生活と看取りを実現す るための最適な看護介入とQOLの維持向上
ケーススタディ指導者研	8月9日	指導に携わる看護師	6名	小川智子	ケーススタディを指導するために必要なポイントや 論文の書き方
ラダーⅢ-3研修	8月10日、9月7日	ラダーⅢ対象者	17名	斉藤育代	オンデマンド研修 134 ケアの受け手の自己 決定を支える他職種の間連携
ラダーⅢ-1研修	8月16日	ラダーⅢ-1対象者	5名	山口真有美	オンデマンド研修 127 ケアの改善のための エビデンスの活用
ラダーⅤ研修	8月16日	ラダーⅤ対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	マンダラート法の展開 労務管理の基礎知識伝達 講習
看護部防災訓練(部署別)	8月18日	ラダーⅣ対象者	7名	補佐会・山本知世・川原春香	各部署の初動を検証する(場所:5南)
師長・師長補佐・主任 合同研修会	8月25日	師長・師長補佐・主任	31名	福田直美	業務改善 データを読み各部署の問題を洗い出す
ラダーⅢ-1研修	8月31日 9月20日	ラダーⅢ-1対象者	11名	山口真有美	オンデマンド研修 127 ケアの改善のための エビデンスの活用
ラダーⅢ-2研修	9月1・13日	ラダーⅢ-2対象者	8名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急 場面の対応
ラダーⅡ-2研修	9月4日	卒後3年目看護師	8名	緩和ケア認定看護師:天野明美 担当:宮田麻里	全人的苦痛の理解
ラダーⅡ-1研修	9月14日	ラダーⅡ-1対象	6名	宇田洋海 宮田麻里	2年目看護師間で看護を語る
看護補助者研修	10月11・21・23・ 26・27日	看護補助者	13名	早藤、薬師川、宮田、山本	医療制度の概要及び病院の機能と組織を理解する 看護補助者の業務を理解する 守秘義務、個人情報について
ラダーⅢ-1研修	10月13日	ラダーⅢ-1看護師	6名	山口真有美	オンデマンド研修 127 ケアの改善のための エビデンスの活用
ラダーⅤ研修	10月13日	ラダーⅤ対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	事例共有

ラダーII-1研修	10月27日	ラダーII-1	6名	宇田洋海 宮田麻里	オンデマンド研修124 標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント
師長・師長補佐・主任 合同研修会	10月27日	師長・師長補佐・主任	31名	福田直美	オンデマンド研修142 自部署や地域における看護ニーズの変化を予測した看護管理の実際
ラダーIII-1・2・3研修	11月2日 7日	ラダーIII-1・2・3	14名	天野明美(緩和認定看護師)	ACP研修 「意思決定、その時あなたはどうかかわりますか」
ラダーII-2研修	11月6日	卒後3年目看護師	8名	宮田麻里	ケーススタディーの最終確認 オンデマンド ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント
ラダーV研修	11月15日	ラダーV対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	看護倫理伝達講習
ラダーII-1研修	11月20日	卒後2年目看護師	6名	宇田洋海	ナラティブ発表のデモンストレーション
防災訓練(5東病棟)	11月24日	ラダーIV対象者	9名	看護部補佐会、山本知世、川原春香	各部署の初動を検証する(5東病棟) 防災マニュアルの整備と実動訓練
ラダーII-2研修	12月4日	卒後3年目対象	5名	宮田麻里	オンデマンド ケアの受け手の状況に応じたフィジカルアセスメント
看護補助者研修会	12月7日・15日	看護補助者	19名	看護師長補佐会・ラダーIV	認知症・せん妄ケア～カンファレンス・ダブルケア せん妄と認知症の違いを学び実践する
ラダーIII-3研修会	12月7日	ラダーIII-3対象看護師	3名	齋藤育代	オンデマンド研修124 標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント
ラダーIII-1研修会	12月11日	ラダーIII-1対象看護師	3名	山口真有美	オンデマンド研修 127 ケアの改善のためのエビデンスの活用
ラダーIII-3研修会	12月12日	ラダーIII-3対象看護師	4名	齋藤育代	オンデマンド研修124 標準的な看護計画に基づくフィジカルアセスメント
ラダーIII-2研修会	12月12日	ラダーIII-2対象看護師	16名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急場面の対応
ACP研修会	12月13日	看護師	18名	補佐会	ACP研修会 コミュニケーションスキル 言葉のキャッチボールをやってみよう
ラダーIII-1研修会	12月15日	ラダーIII-1対象看護師	2名	山口真有美	オンデマンド研修 127 ケアの改善のためのエビデンスの活用
ラダーII-1研修	12月18日	ラダーII-1対象看護師	6名	宇田洋海	ナラティブ発表に向けて「プレゼンテーション」についての勉強会
ラダーIII-2研修会	12月20日	ラダーIII-2対象看護師	10名	中村大介	オンデマンド研修 128 急変の予測と救命救急場面の対応
ラダーV研修	12月20日	ラダーV対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	中医協による診療報酬改定の動向について 有機的な 多職種間連携、教えることは学ぶこと伝達講習
師長・師長補佐・主任 合同研修会	12月22日	師長・師長補佐・主任	31名	4南病棟	伝え方について

認知症研修 (e-ラーニング含む)	1月12日	全看護師	156名	主任会	認知症の対応について 認知症ケア加算についての周知
ラダーV研修	1月17日	ラダーV対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	中医協による診療報酬改定の動向について
ケーススタディー発表会	2月1日	看護師	19名	宮田麻里	3年目看護師 ケーススタディー発表
様式9について(アーカイブ)	2月7日～14日	看護師長	13名	福田直美	様式9について学ぶ
ラダーIVまとめの会	2月15日	ラダーIV対象看護師	15名	山本知世、川原春香、補佐会	災害訓練チーム、補助者研修チームからそれぞれのまとめ 複合的な問題、多職種連携伝達講習
ラダーIII-1 リーダー研修	2月21日	看護師	5名	山口真有美	小集団活動発表 発表者22名
ラダーV研修	2月21日	ラダーV対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	事例報告(マンダラート法の展開)
ラダーIII-3 事例発表会	3月7日	ラダーIII-3看護師	13名	齋藤育代	事例発表
ラダーIII-2 事例発表会	3月8日	ラダーIII-2看護師	12名	中村大介	事例検討
ラダーV研修	3月13日	ラダーV対象看護師	8名	末武美里、村田裕子	1年間の松目
ラダーII-1 ナラティブ発表 表	3月19日	2年目看護師・看護師	15名	宇田洋海 宮田麻里	2年目 ナラティブ発表 1年間の看護観のまとめ
師長・師長補佐・主任 同会議	3月22日	師長・師長補佐・主任	31名	福田直美	1年間のまとめ
看護補助者との協働	10月16日～ 12月8日	看護師	40名	補佐会	オンデマンド 看護補助者との協働推進のために必要な知識、技術を理解 現場における役割分担や指示について

R5年度 各種行事・講演会・研修会・教室等開催 状況 (医療安全)

令和5年4月3日

新規採用職員研修	4月3日	看護部・医療技術部 新人 研修医	22名	医療安全(薬師川・村田)	医療安全について
チームSTEPS研修 e-ラーニング	9月30日～2月末	全職員	219名	リスクマネージャー会	チームSTEPSについて
医療安全 e-ラーニング研修	4月28日～ 11月30日	全職員	307名	医療安全推進室	患者誤認防止
医療安全 e-ラーニング研修	～11月30日	全職員	303名	医療安全推進室	医療機器の電気トラブル対策

急性期用NPPV用人工呼吸器 NK-V330研修会	10月1日～2月8日	関係部署職員	196名	医療機器安全管理委員会	急性呼吸不全のNPPV療法
		関係部署職員	185名	医療機器安全管理委員会	操作方法
		関係部署職員	182名	医療機器安全管理委員会	マスクフイティング
急性期用NPPV用人工呼吸器 NK-V330研修会	10月12日30日	関係部署職員	不明	医療機器安全管理委員会 日本光電 NPPV担当者	マスクフイティングと操作方法の実際
医療安全研修会	11月15日	看護師・医療技術部	18名	業者(大研)	吸引器の使用法
吸引器の使用法について E-ラーニング	11月17日～2月3日	看護師・医療技術部	154名	医療安全推進室	11月15日実施の動画配信
医療安全・感染防止対策研修会	12月1日	看護師	20名	医療安全推進室 感染防止対策室	翼状針・採血フォルダ研修
医療安全 CVポート研修	2月27日	医師・看護師	17名	業者	CVポートの説明
排尿障害のマネジメント	3月7・21日	看護師・医師・関連部署	42名	泌尿器科 水flow医師	排尿自立支援加算対象研修

R5年度 各種行事・講演会・研修会・教室等開催 状況 (感染)

令和5年4月3日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
手指消毒研修	6月14日	看護スタッフ	21名	看護部感染対策メンバー	手指消毒後の評価
第1回看護補助者研修	7月7日、13日	看護補助者	15名	清家、山本、早藤、宮田、薬師川	手指消毒実習
医療安全・感染防止対策研修会	12月1日	看護師	20名	医療安全推進室 感染防止対策室	翼状針・採血フォルダ研修
院内感染対策研修会	12月15日	全職員	145名	倉田先生	「知って得する感染症」について
院内感染対策研修会 e-ラーニング 1		全職員	194名	院内感染対策チーム	血液培養方法
院内感染対策研修会 e-ラーニング 2		全職員	187名	院内感染対策チーム	血液培養結果の見方
ハンドケア研修会	1月12・15・17・18・19・23日	看護師	24名	感染対策委員会	ハンドケア
令和5年度院内感染対策研修会	1月31日	全職員	94名	滋賀医科大学付属病院 感染制御部 部副部長 大澤真先生	ノロウイルス感染症について ～牡蠣はなぜ中るのか～
壁掛け吸引器説明会	2月26・28・29日	看護師 看護補助者	25名	感染防止対策室(業者)	壁掛け吸引器の取り扱い

R5年度 各種行事・講演会・研修会・研究会・教室等開催 状況 (委員会など)

令和5年4月3日

事業名	期日	対象者	受講者数	講師氏名	内容
新規採用研修研修	4月3日	看護部・医療技術部 新人 研修医	22名	新人採用プログラム参照	新規採用プログラム参照
びわ湖あさがおネット	7月7・13・14・18日	病院職員		渡邊温士	びわ湖あさがおネットID取得研修
やってみよう! カンファクターケア	7月6日	リハビリスタッフ、病棟ク ラーク、看護師	16名	主任会認知症チーム	認知症対応技術を学ぶ
セキュリティ研修会	7月7日	全職員		医療情報システム管理委員会	医療機関のサイバーセキュリティ対策の 実情と課題
トリアージ研修	8月29日・9月12日	全職員		救急・災害対策委員会	1次・2次トリアージ
管理職ハラスメント防止研修	10月3日	管理職		株式会社アイシーエル 大谷邦郎氏(オンライン 研修 ハイブリッド)	お互いの価値観を認め合うこと
院内総合防災訓練	10月29日	病院全職員	98名	救急・災害対策委員会	総合防災訓練
被ばく医療対応研修	11月1日～ 11月30日	全職員及び 委託職員		救急・災害対策委員会	2023-被ばく医療対応研修 e-ラーニング (原子力災害時の医療機関での初期対応)
心臓リハビリテーション研修会	11月21日	医師・看護師・ 医療技術部	36名	松村健司、木下正太	心臓リハビリテーション
被ばく医療対応研修	11月28日	全職員		救急・災害対策委員会	施設の養生と臨時の放射線管理区域の設置 防護衣着脱実習
令和5年度 ハラスメント防止研修	12月5・6日	高島市職員		株式会社アイシーエル 大谷邦郎氏(オンラインオンデマンド研修)	お互いの価値観を認め合うこと
BLS研修	12月19日	全職員		救急・災害対策委員会	BLS研修
高島市民病院 公開講座	2月17日	市民講座		高島市民病院外科科長 中島研郎	膵臓がんについて正しく知って正しく恐れよう
高島市民病院 公開講座	2月17日	市民講座		前川直美(がん化学療法認定看護師) 天野明美(緩和ケア認定看護師)	もし「がん」と診断されたら… 当院でできる治療・看護とその連携
令和5年高島市民病院 研究発表会	3月1日	全職員		研修委員会	院内研究発表会
地域医療連携推進法人 事務部会研修会	3月4日	地域医療連携推進 法人関係職員		(株)ニチイ学館 医療機関課 伊藤加王里	令和6年度 診療報酬改定説明会(テレビ会議シス テム)
令和6年度診療報酬改定説明会	3月8日	法人関係職員		ニチイ学館 伊藤加王里	ZOOMミーティング
令和6年度診療報酬改定説明会	3月22日	全職員		ニチイ学館	令和6年度診療報酬改定について

Ⅱ．活動状況

1. 院内各部署活動状況

循環器内科

科長	谷口 晋	部長	山路 正之
		医長	福沢 綾子
		医長	高橋 宏明
		医師	杉原 秀樹

当院の循環器内科は、湖西地方の中核病院として、急性心筋梗塞や不安定狭心症などの急性期疾患に対する診断とカテーテル治療、末梢動脈疾患に対するカテーテル診断と治療、不整脈疾患に対するペースメーカー治療、植込み型心電図記録計、簡易な電気生理学的検査、さらには高血圧や心不全などの慢性疾患にも幅広く対応しています。また、透析患者様の重要な治療としてシャント PTA 治療を行っています。

救急診療では、看護師、放射線科、臨床工学技師、臨床検査技師と連携し、緊急カテーテル検査、PCI、IABP、PCPS、体外ペーシングなどの検査と治療に迅速に対応しています。令和元年からは高度に石灰化した冠動脈病変の治療に有効なローブレーターという機器を使用することで、効果的かつ安全なカテーテル治療を提供しています。使用頻度の少ない PCPS につきましては、定期的に医療技術部、看護部と合同でシミュレーショントレーニングを行い、円滑な導入・運用に備えています。

心不全診療では、心臓サポートチーム（Cardiac Support Team（以下「CST」）でのカンファレンスを開催し、多職種連携チーム医療を推進しています。心不全対策（CST）委員会では、職員の資質向上のための院内勉強会を企画・開催しました。また、地域の他施設を対象とした CST に関する当院の取り組みの報告のための以下の会合・講演会に参加しました。

1) 令和 5 年 6 月 8 日 高島市医療連携ネットワーク運営協議会への話題提供「心不全のチーム医療・地域連携（つながり）について」、2) 令和 5 年 1 2 月 7 日 高島市医師会共催 高島市の心不全地域連携を考える会での報告「当院における心不全連携について」及びディスカッション「心不全病診連携について」

外来診療では、循環器疾患や CKD を中心に幅広い疾患の診療を行っており、心エコー、核医学検査、冠動脈 CT、ABI、下肢動静脈エコーなどの非侵襲的検査を通じて、早期診断と治療方針の決定を支援しています。また、高血圧や心臓病の患者様に対しては、管理栄養士、看護師、薬剤師と連携し、食事指導や服薬指導を行うことで生活習慣の改善を促進しています。

また、湖西地方での初めての心臓リハビリテーションの提供に向けて、循環器内科、医療技術部、看護部と合同でワーキンググループを設立し議論を重ねました。心臓リハビリテーションは心血管疾患患者様の QOL と長期予後の改善に豊富なエビデンスがあり、ガイドラインにおいても推奨されています。まずは当院の入院症例からの提供を令和 6 年度に予定していますが、より多くの患者様に提供できるように順次、体制を整えてまいります。

今後も湖西地方の循環器疾患患者様が安心して医療を受けられるよう、大学病院などの高次医療機関や、患者様の療養の関わっていただくかかりつけ医の先生方やそのほかの関係の皆様との連携を強化し、きめ細やかな診療に取り組んでまいります。

令和 5 年度業務実績

経胸壁心エコー	1432 件	トレッドミル検査	62 件
経食道心エコー	4 件	ホルター心電図検査	163 件
心臓カテーテル検査	152 件	心臓カテーテルインターベンション治療	66 件
心筋シンチ	20 件	末梢血管動脈拡張術	11 件
心臓 CT 検査	49 件	ペースメーカー手術	24 件
シャント PTA	9 件	体外式ペースメーカー	8 件

専門医資格など

- 谷口 晋 : 日本循環器学会 循環器専門医
日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
日本心血管インターベンション治療学会専門医
臨床研修副プログラム責任者
臨床研修指導医
- 山路 正之 : 医学博士
日本循環器学会 循環器専門医
日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
日本心血管インターベンション治療学会認定医
日本心臓リハビリテーション学会指導士
日本医師会健康スポーツ医
日本スポーツ協会公認スポーツドクター
- 福沢 綾子 : 臨床研修指導医
- 高橋 宏明 : 日本循環器学会 循環器専門医
日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医
日本心不全学会基本的心不全緩和ケアトレーニングコース修了
- 杉原 秀樹 : 医学博士
臨床研修指導医

消化器内科領域

科長 中島 研郎（外科科長と兼任）
内田 和也

令和5年4月末に長年にわたり科長をされていた上野哲先生が退職され、外科科長の中島が兼任科長となりました。従来通り京都大学医学部付属病院消化器内科教室からの非常勤医の協力のもと消化管疾患ならびに肝胆膵疾患の診療を行っております。

内視鏡部門では、健診としての上部内視鏡検査を含め患者様に苦痛の少ない検査を努めながら悪性疾患の早期発見に力を入れております。内視鏡治療が可能なものに関しては、内視鏡的に切除（ポリペクトミー、内視鏡的粘膜切除、内視鏡的粘膜下層剥離）も行っております。胆膵疾患に対する内視鏡検査・治療については非常勤医の協力のもと ERCP・EST などの胆管結石に対する処置、悪性胆道狭窄に対するステント留置を積極的に行っております。吐血等に対する緊急内視鏡も可能な限りで施行しております。

夜間休日対応についても可能なかぎり行っておりますが、スタッフ不在等のため対応困難な場合には速やかに他施設と連携を取り転医搬送して処置を受けていただけるよう対応しています。

肝疾患に関しては、ウイルス性肝炎に対する抗ウイルス療法をはじめ、各種肝疾患の診療を行っております。肝悪性腫瘍に関しては、放射線科と協力し血管塞栓療法も行っております。その他一般消化器疾患から炎症性腸疾患などの特殊な疾患の診療も行っております。

悪性疾患に対する化学療法についても、外科・外来化学療法室との連携のもと手術適応のない切除不能症例に対する治療を当科で行っています。本人家族には標準治療を提示したうえで本人の意志や体調を確認しながら日常生活の質を必要以上に落とさずに治療できるよう心がけています。

令和5年度には上部消化管内視鏡検査 1498 例、内視鏡的粘膜下層剥離 7 例、下部消化管内視鏡検査 286 例、大腸ポリペクトミー55 例、大腸処置（ステント留置・拡張等）26 例、内視鏡的逆行性膵胆管造影（胆道ドレナージ・砕石を含む）74 例、超音波内視鏡 5 例、胃瘻造設 11 例を施行しました。

常勤医スタッフの減員に伴い夜間休日の緊急対応ができない場合が増えまた予定検査処置件数も減少しましたが、来年度常勤医スタッフ増員の見込みでありできるだけ地域の患者様の検査処置を地域内で完結できるようより一層努めてまいります。

糖尿病・内分泌内科（外来診療）

（非常勤医師） 加藤 朋子 武居 晃平

糖尿病・内分泌内科の外来では、地域の中核病院として糖尿病・内分泌疾患の診療を行っております。

糖尿病の病型や病期を判断し、ライフスタイルや合併症を考慮した血糖コントロールを行い、増加する高齢者糖尿病に対し総合的な診療を心がけています。

日常生活を送りながら糖尿病とうまく付き合うためにインスリン治療、インクレチン製剤などの外来導入も積極的に行っています。また、手術前の血糖コントロールや他科入院中の糖尿病患者様の血糖管理も行なっています。インスリンポンプやCGM（持続血糖測定器）を希望される方は専門の施設と連携し紹介しております。

内分泌疾患は、甲状腺疾患を中心に、専門的な治療を大学病院等と連携して診療いたします。

（令和4年度より外来診療のみ）

腎臓内科

副院長・科長 永江 徹也

腎臓内科では主に外来および3階の血液浄化センターにて維持透析患者さんの診療を行っております。

外来では、軽微尿異常から末期腎不全までさまざまな腎疾患を扱い、病態によっては他科と連携し、早期診断、早期治療に留意しながら診療を行っております。腎不全では、その進行因子の除去と合併症対策を中心に外来管理を行っております。さらに末期腎不全における透析療法の新規導入、管理も行っております。

血液浄化センターではベッド数31床を有し、月・水・金（午前・午後）、火・木・土（午前）に外来通院患者様の血液透析に加え、特殊血液浄化法（持続的血液透析濾過、血漿交換療法、エンドトキシン吸着療法、LDLアフェレシス療法、白血球除去療法など）も行っております。令和5年は新規透析導入11人、維持透析管理人数は62人となっております。

・スタッフ

血液浄化センター長：医師1名、看護師長1名、看護師8名、臨床工学技士9名 合計19名

・血液浄化センター設備

ベッド数：31 透析装置31台 CHDF（持続緩徐式血液透析濾過）・PE（血漿交換）用装置：1台
内透析用個室：1ベッド

・透析日および体制

月曜日～土曜日

月・水・金は、13時30分～2部の透析を行っております。

	透析回数		
	(外来)	(入院)	(合計)
R4年	10,237	721	10,958
R5年	9,663	377	10,040

	慢性透析患者数（年度末）			透析回数／週		急性透析患者数
	(男性)	(女性)	(合計)	2回	3回	
R4年	44人	20人	64人	0人	64人	9人
R5年	40人	22人	62人	0人	62人	1人

	導入患者数			転出患者数		
	R4年	(院内) 14人	(転入) 2人	(合計) 16人	死亡 10人	転医 13人
R5年	(院内) 11人	(転入) 0人	(合計) 11人	死亡 8人	転医 8人	(合計) 23人 離脱 1人
	患者平均年齢 (年度末)			最高年齢	最小年齢	65歳以上比率
R4年	(男性) 66.7歳	(女性) 72.8歳	(全) 68.6歳	95.1歳	32.6歳	65.6%
R5年	(男性) 66.9歳	(女性) 68.6歳	(全) 68.6歳	89.3歳	33.6歳	68.6%
R2年全国	データなし	データなし	(全) 68.4歳			

透析期間 (年度末)		全国	当院	年度末糖尿病性腎症の占める割合 全国 39.1% 当院 40.6% 全国集計は わが国の慢性透析療法の現況より R1年(2019)12月31日現在 日本透析医学会の現況参照
	5年未満	47.6%	37.0%	
	5年以上	13.7%	35.4%	
	10年以上	27.6%	19.3%	
	20年以上	8.4%	8.0%	
	30年以上	2.3%	0%	
	40年以上	0.4%	0%	
	最長癒	51.4年	29年	

町別透析 患者数 (年度末)	マキノ	1人	通院介護状況 (年度末)		ご家族	介護サービス
	今津	12人		車椅子	6人	0人
	新旭	9人		付き添い	2人	1人
	安曇川	25人		玄関まで	3人	0人
	高島	10人		平成20年4月より歩行可能な患者の送迎バス運行開始		
	朽木	4人		送迎バス利用数：月・水・金 6人		
	大津市	1人		火・木・土 6人		
	その他	0人		合計 12人		

専門医資格など

永江 徹也 : 腎臓学会専門医、透析医学会透析専門医・指導医
内科学会総合内科専門医

呼吸器内科

科長	内田 泰樹	日本内科学会（認定内科医・指導医・総合内科専門医） 日本呼吸器学会（呼吸器専門医・呼吸器指導医） 日本呼吸器内視鏡学会（気管支鏡専門医・気管支鏡指導医） 日本結核・非結核性抗酸菌症学会（結核・抗酸菌症指導医・結核抗酸菌症認定医） 肺がん CT 検診認定医機構（肺がん CT 検診認定医師） 日本がん治療認定医機構（がん治療認定医） 日本医師会（認定産業医）
非常勤医師	重森 度 行村 瑠里子	日本内科学会（認定内科医・指導医・総合内科専門医） 日本医師会（認定産業医） 日本呼吸器学会（呼吸器専門医） 日本化学療法学会（抗菌化学療法認定医） ICD 制度協議会（インフェクションコントロールドクター）
	横江 真弥	日本内科学会（内科専門医） 日本呼吸器内視鏡学会（気管支鏡専門医） 日本呼吸器学会（呼吸器専門医）

感染症としては単なる肺炎だけでなく COVID-19、結核、肺非結核性抗酸菌症、肺真菌症まで幅広く診断治療行っております。特に肺非結核性抗酸菌症に関してはアリケイスなど治療経験豊富な施設です。慢性閉塞性肺疾患（COPD）や気管支喘息の診断治療、在宅酸素療法や、睡眠時無呼吸症候群に対する CPAP も行っております。また肺癌については画像診断を行い適切な施設への紹介を行っております。休止していた禁煙外来は禁煙パッチでの加療しております。

院外業績

講演会

2024 年 2 月 3 日 第 30 回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会呼吸器内視鏡セミナー
COPD に対する BLVR 治療 演者（セミナー講師） 内田泰樹

論文

- Association of gut microbiome with COPD in Japanese male residents: the SESSA study
Kawasima S, Uchida Y, et al. ERJ open research 10 (1) 2024 Jan
- Prophylactic treatment of dacomitinib-induced skin toxicities in epidermal growth factor receptor-mutated non-small-cell lung cancer: A multicenter, Phase II trial. Iwasaku M, Uchida Y, Cancer medicine June 2023
- Immune-related aseptic meningitis diagnosed by Cube FLAIR on enhanced magnetic resonance imaging for a lung cancer patient administered atezolizumab: A case report. Kuroda R, Uchida Y, et al. Respiratory medicine case report 2023
- Autobullectomy with COVID-19 in a patient with chronic obstructive pulmonary disease. Yokoe S, Uchida Y, et al. Respiratory medicine case report 2023

血液内科（外来診療）

病院事業管理者 高山 博史

■診療内容

赤血球系、白血球系、リンパ球系、血小板系の血液疾患のみならず、凝固・線溶系の異常症も含め、全ての血液疾患の診療を行っています。

■診療方針

外来診療：

外来化学療法、投薬、輸血などにより外来にて加療可能な疾患の全てに対応しています。

入院診療：

当院は、常勤の血液疾患専門医は不在のため、骨髄・幹細胞移植の適応と判断した場合は、主に京都大学医学部血液内科へ、多剤併用化学療法の適応と判断した場合は大津赤十字病院、滋賀県立総合病院、洛和会音羽病院などの京都大学医学部関連病院の血液内科へ紹介します。急性期の治療後の安定期になりましたら、外来診療は当院でも可能です。当院で入院診療が可能と判断した場合は、血液疾患専門常勤医が不在でも、当院の内科系常勤医が主治医となり、協力して診療します。

専門医資格等

高山 博史 : 日本血液学会 専門医・指導医、
日本内科学会 認定内科医

脳神経内科（外来診療）

非常勤医師 生野 真嗣

非常勤医師 友田 陽子

脳神経内科では主に脳や脊髄、末梢神経の病気の診療を行っています。代表的な病気は脳梗塞、てんかん、髄膜炎・脳炎、アルツハイマー型認知症、パーキンソン病、末梢神経障害です。特に脳梗塞は高齢社会において頻度が高く、地域に根ざした診療が必要とされる疾患です。当院では脳梗塞発症早期の入院治療とともに、他の医療機関とも連携した回復期リハビリ、そして後遺症に応じた在宅生活支援や再発予防のための外来診療を行っています。

診療体制としましては、当院には脳神経内科常勤医はおりませんが、非常勤の脳神経内科医により週2回の外来診療を行っております。また、入院加療が必要な場合も常勤医が必要に応じて非常勤医の病棟コンサルテーションを得ながら入院診療をしております。

専門的な評価・治療が必要な疾患に関しては、適宜脳神経内科常勤医のいる病院への紹介が可能であり、大津赤十字病院、滋賀医科大学医学部附属病院、滋賀県立総合病院、洛和会音羽病院等と連携しています。

総合診療科

科長	伊東 正文	医長	堤 美紗子
		副医長	金岡 智也
		医師	小嶋 克
		医師	田淵 由理

「原因不明の症状」や「受診する診療科が分からない」等の初期診療に対応するため、平成29年4月から新たに総合診療科を開設しました。総合診療科は、幅広い診療分野の患者様を担当しますが、必要に応じて各専門診療科につなぐことにより患者負担の軽減を図ります。また、通院が困難な方につきましては訪問診療も行います。

特殊外来として「心臓血管外科外来」（伊東正文科長が担当）を併設しております。足の表面の静脈(表在静脈)がふくらんでくる下肢静脈瘤や、動脈の老化である動脈硬化によって血液の流れが悪くなるために歩くと脚(特にふくらはぎ)が痛くなってくる閉塞性動脈硬化症、お腹や胸の奥にある大動脈と呼ばれる太い血管が瘤になる大動脈瘤など、心臓血管外科領域の病気の診察を行います。また他病院で心臓血管外科手術を受けられた方のフォローアップ(経過観察・術後管理)も行います。

堤医師は朽木診療所長として、へき地の地域医療に携わっています。

専門医資格等

伊東 正文	:	日本外科学会専門医 日本胸部外科学会認定医 臨床研修指導医 総合診療特任指導医
堤美紗子	:	内科学会認定医 日本プライマリケア連合学会 家庭医療専門医、認定医

精神科・神経科 (外来診療)

(非常勤医師)

月曜日	奥田 浩士	
火曜日	武本 一美	加藤 賢嗣 (隔週)
水曜日	小川 雄右	小関 隼人
木曜日	渡辺 範雄	
金曜日	村上 慎吾	

非常勤の精神科医7名で構成されています。令和6年4月から村上先生、5月から奥田先生が来て下さり、5月からは月曜日から金曜日までの週5日間、診療を行っています。

患者様の身体的、精神的側面を総合的に把握し、薬物療法を行います。

< 概要 >

当科は、18歳から90代の幅広い年齢層の患者様が受診されています。統合失調症、気分障害、不安障害、強迫性障害、発達障害、依存症、睡眠障害、知的障害、認知症等の診療を行っています。

< 対応 >

医師の判断に応じて、CT、MRI、脳波、検体検査、知能検査・各種心理検査を行っています。また、入院治療が必要な場合や高度な治療が必要な場合には、専門医療機関へ紹介しています。心理療法士は、患者様の環境調整を行っています。「高島子ども・若者支援地域協議会」、「高島市障がい者自立支援協議会 精神保健福祉部会」、「滋賀のみんなで作る地域精神保健医療福祉チーム(中核の人材育成)湖西圏域推進チーム会議」等に参加しております。

[精神保健指定医] (曜日順)

奥田浩士・武本 一美・加藤 賢嗣・小川 雄右・渡辺 範雄・村上 慎吾

小児科

科長 安藤 武 (令和3年(2021年)6月1日～)
部長 大音泰介 (令和元年(2019年)10月1日～)

当院小児科は、『高島市のこどもたち・地域のこどもたちの健康を守ること』を目指して診療を行っております。

医師

2022年度(令和4年度)から小児科は安藤・大音の常勤医師2名となり、少人数態勢となりました。このため、京都大学医学部小児科から派遣された非常勤医師に、月曜日午後金曜日午後・土曜日勤帯の小児科診療を行っていただきました。

臨床研修

当院小児科は日本小児科学会の専門医研修関連病院(京都大学医学部附属病院小児科の指定研修関連病院)として、小児科専門医研修に協力しております。また、当院所属の初期研修医や後期研修医の小児科臨床研修も行っています。

外来

小児科の外来は、医師・看護師・事務員のチームで診療しています。平日の午前中は毎日1診体制で診療しています。午後は予約制(安藤・大音の予約外来)で、気管支喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患・腎疾患・内分泌疾患などの慢性疾患の診療を定期的に行っています。また、乳児専門外来、各種予防接種外来、特殊外来も予約制で行っています。特殊外来としては、アレルギー専門外来を大音医師(2019年10月～)に、小児心臓専門外来を平田拓也先生(京都大学小児科、2016年4月～)に、小児神経専門外来を矢野直子先生(京都大学小児科、2019年4月～)に担当していただいています。

新型コロナウイルス感染症については、2020年1月以降 病院小児科外来への受診数はかなり減少しました。一方、発熱している小児には、感染防止に配慮しながら診療を行う必要があり、診察に時間と人手と感染防御用具をかける状況が続きました。当院小児科では2020年春から小児発熱外来を設置して小児発熱患者さんの診療と感染防止に取り組んできましたが、5類移行後も継続しています。

入院

小児科入院は通常は年間350～450症例前後ありますが、2021年度は242症例、2022年度は202例、2023年度は238症例に減少しました。入院治療は、4東病棟を中心とした看護スタッフ、他の診療科医師、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ職員、事務職員など多くのスタッフと協力しながら、小児科医師2名で診療しました。入院症例の多くは急性疾患で、気管支喘息発作、痙攣性疾患、新生児疾患、肺炎、扁桃炎、急性腸炎など、即日入院となる症例が多数を占めました。

入院症例の一部は、腎疾患などの慢性疾患で、学齢期の場合は学習面でのバックアップも必要となります。当院には高島小学校の病弱児学級があり、慢性疾患で入院された小学生の方は、院内学級で学習可能です。中学生に対しては病弱教育巡回指導システムがあります。また、情緒面でのバックアップのために、看護スタッフと協力して病棟クリスマス会や七夕会なども開いていましたが、2020年度以降は新型コロナウイルス感染予防の観点で中止しています。

また、当科では2017年11月から小児レスパイト入院を開始し、2023年度は25件の入院がありました(新型コロナウイルス感染症の影響で、2020年4月～5月はレスパイト入院の受け入れを中止しましたが、2020年6月から再開しました)。レスパイト入院については4南病棟の看護スタッフと協力して診療しました。

院外保健活動

小児科・安藤は、滋賀県小児在宅医療委員会委員、小児救急医療対策委員会委員(滋賀県医師会)、高島市立学校結核対策委員会委員、として院外保健活動を行っています。

他の医療機関との連携

開業医の先生方や他病院から当院小児科へご紹介いただきました患者様については、個人情報保護法のもと、迅速に診療情報を共有するようにしています。また、病状によっては三次医療機関との連携を密にし、充実した医療を行うように心がけています。

<小児科の入院・外来統計>

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
退院症例数	216例	242例	202例	238例
平均在院日数	5.3日	5.3日	4.6日	4.5日
1日平均入院患者数	3.2人	3.5人	2.6人	2.9人
夜間・休日の入院症例数	40例	52例	50人	57例
夜間・休日入院の割合	18.5%	21.5%	24.8%	23.95%
紹介患者入院数	16例	30例	22例	35例
救急車搬送入院数	6例	16例	24例	24例
転院患者数	4例	1例	0例	4例
院内死亡患者数	1例*	0例	0例	0例
外来患者数(延べ)	3859人 +予防接種	4773人 +予防接種	5977人 +予防接種	5742人 +予防接種
救急外来受診数(延べ)	1015人	766人	1370人	1275人
6才未満救急外来初診数	184人	272人	513人	505人

*2020年8月 髄芽腫のターミナルステージの男子が逝去された

2023年度(令和5年度)小児科退院患者様疾患分類(ICD-10類)

疾患名	ICD-10分類	退院症例数	平均在院日数
新生児疾患	P, D649, L279, 0680, R063, R068	28例	7.5日
X連鎖無ガンマーグロブリン血症	D800	11例	1.0日
感染症と推定される下痢・胃腸炎	A09	11例	3.0日
アナフィラキシー・食物アレルギー	T78	11例	1.5日
急性扁桃炎・咽頭扁桃炎・急性咽頭炎・急性喉頭炎など	J029, J038, J069	8例	4.0日
肺炎、気管支肺炎	J157, J180, J189, J690	11例	4.5日
心肺停止後虚血性脳症(※)	G934	3例	3.6日
細菌性腸管感染症	A020, A047, A049	4例	3.3日
慢性呼吸不全(※)	J9619	16例	5.0日
気管支喘息発作・気管支喘息重積状態	J46	7例	5.3日
ダンディ・ウォーカー症候群(※)	Q031	5例	2.8日
重症細菌感染症	A499	2例	7.5日
川崎病	M303	9例	8.7日
ウイルス性腸管感染症	A081	1例	10日
痙攣、痙攣重積	R56	4例	2.5日
肺炎球菌性敗血症	A403	0例	0日
急性気管支炎、急性細気管支炎	J209	3例	3.6日
上記以外		106例	4.2日
合計		239例	4.5日

上記のうち、レスパイト入院(※)は合計25例

専門医資格

安藤 武：平成14年(2002年)卒、臨床研修指導医

大音泰介：平成18年(2006年)卒、小児科学会認定専門医、医学博士、臨床研修指導医

外 科

病院長	武田 佳久	部長	渡邊 武志
科長	中島 研郎	医長	高橋 有和
		医長	倉田 佳彦
		非常勤(乳腺外科)	四元 文明

当科の扱う疾患としましては、消化器中心とした一般外科に対する治療を行っています。消化器癌の治療については、麻酔科、内科およびコメディカルと協力して高齢者や合併症を有する患者に対しても可及的根治術を目指しています。また、近年腹部手術の標準術式となっている腹腔鏡手術についても平成24年10月より導入、ヘルニアや胆石症、虫垂炎などの良性疾患はもちろんのこと、胃癌・大腸癌については腹腔鏡手術を第1選択とし症例に応じて開腹手術も行う方針としています。乳腺領域については週1回非常勤医師の診察で対応しています（下記参照）。

癌患者に対する化学療法は、消化器内科、化学療法認定看護師等と連携を取りながら胃癌、大腸癌を中心に、乳癌、膵癌、胆道癌などに対しても積極的に行っています。今年度は悪性中皮腫、十二指腸神経内分泌癌といった希少癌への治療経験もありました。さらにオプジーボをはじめとする免疫チェック阻害剤が各臓器癌に対する化学療法の標準治療として適応となってきたことにあわせ、令和6年1月より当院でも導入、その後症例が増加してきています。

癌患者においては、診断、手術・化学療法などの治療とともに末期癌に対する緩和ケアが重要ですが、緩和ケアチームと密な協力態勢を取りながら患者様に対してシームレスな治療対応が行えるよう務めています。また院内だけでなく県内の各ハイボリュームセンターをはじめ近隣医院も含む院外からも積極的に患者を受け入れ入院・通院での緩和ケアおよび在宅緩和ケアへの連携を積極的に行っています。

このように、手術のみならず多面的な治療を多職種が関わりながら提供することで、地域の患者様にできるだけ地域内で診断から治療・フォローまで完結できることをめざして満足していただけるような治療の提供を努めています。

食道領域

食道癌については術前化学療法・放射線療法等の集学的治療が中心となることもあり、当院で診断を行い治療方針を相談、必要に応じて他施設への紹介等を行っています。

胃癌

早期癌のみならず進行癌に対しても原則腹腔鏡下胃切除術を行っています。高度進行癌に対しては術前化学療法を行ったうえで根治手術を行う試みも行っています（今年度も1例あり）。

結腸・直腸癌

結腸・直腸癌に関しては腹腔鏡下結腸、直腸切除術を標準術式としています。特に直腸癌については狭い骨盤内で確実な視野のもと細かい操作が可能な腹腔鏡手術のメリットは大きく積極的に行っています。

膵・胆嚢胆道癌

膵癌手術症例は今年度はありませんでした。胆道領域については、胆嚢癌症例が1例ありました。またリンパ節転移を伴う十二指腸神経内分泌癌という希少癌に対して膵頭十二指腸節術を行った症例を1例経験しました。

肝臓癌

転移性肝臓癌に対する肝部分切除術を2例に行いました。

乳癌

毎週木曜日午前に乳腺外来を開設、非常勤の乳腺外科専門医による診察・治療を行っています。又、ドック検診や出張検診なども積極的に行っております。手術が必要な症例については、放射線治療を必要とする症例については他院へ紹介しておりますが、当院での手術が可能な症例について

は積極的に切除を行っております。また術後治療についてもできるだけ当院への通院治療で対応できるように務めています。さらに、切除不能・再発転移症例に対するホルモン療法、化学療法は化学療法認定看護師の協力のもと外来通院での治療を積極的に行っています。

胆石症

内科との協力により、総胆管結石に対しては内視鏡的切石術、胆嚢結石に対しては急性胆嚢炎症例でも腹腔鏡下胆嚢摘出術を標準術式として行っております。ただ高齢で重篤な併存症を抱える患者も多いため、高度炎症症例や全身状態不良例では経皮経肝的胆嚢ドレナージ (PTGBD) による急性炎症の鎮静化を図ったのちに安全な手術を行うなど柔軟な対応を行っています。

鼠径・大腿ヘルニア

現在術式の第一選択は腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術としており、症例により従来の前方アプローチ法、特に全身麻酔が困難な症例に対しては腰椎麻酔もしくは局所麻酔下での手術を行っています。

痔核・直腸脱

内痔核に対しては可及的に保存的治療を心掛けており、保存的加療が困難な場合に手術適応としております。直腸脱は高齢者に多い疾患ですが、全身麻酔が可能であれば再発の少ないとされる腹腔鏡下手術を積極的に行っており成績は良好です。手術侵襲を考慮して腰椎麻酔下の経肛門的手術を選択することもあります。

＜主な手術症例の推移＞ 令和3年度～令和5年度

	令和3年		令和4年		令和5年	
	症例数	鏡視下	症例数	鏡視下	症例数	鏡視下
全症例数	204		198		202	
全身麻酔	184		184		185	
内視鏡手術	100		134		145	
緊急手術	67		58		51	
食道						
胃切除術（悪性）	8	4	6	2	6	6
胃全摘術（悪性）	2		3	2	3	2
小腸切除術	6	1	1		9	5
結腸切除術（悪性）	17	8	17	14	21	15
直腸切除術（悪性）	10	6	6	4	7	7
直腸切断術（悪性）	5	2				
肝切除	1		4		1	
胆管・胆嚢切除	1				1	
膵頭十二指腸切除術			2		1	
膵体尾部切除術						
胆嚢摘出術（良性）	30	19	29	27	24	21
各種ヘルニア	53	36	51	40	57	46
へモ	3		1		2	
イレウス	14	1	9	2	7	1
虫垂炎	24	20	21	21	21	21
胃・十二指腸穿孔	6	3	2	2	4	4
ストマ作成	21	2	14	4	16	5
バイパス術	3		1	1	7	6
乳腺					3	

上記の通り、令和5年度の年間症例数は202例と昨年とほぼ同数でしたが、緊急手術症例の減少が続いています。内訳では腹腔鏡手術の割合がさらに増加し、各領域における標準術式となっています。

これらも緊急手術に対応できる体制の確立や、消化器内科や開業医と連携して各種癌の診断から手術を含む治療までが地域内で完結できるよう努めていきます。

学術活動

(全国学会)

令和5年11月10日

第78回日本大腸肛門病学会学術集会

横行結腸癌術後、副腎脾臓転移再発をきたした一例

渡邊武志ほか

令和5年11月18日

第85回日本臨床外科学会総会

難治性右胸水に対して胸腔—内頸静脈シャントを留置し胸水をコントロールした一例

高橋有和ほか

令和5年12月15日

第36回日本外科感染症学館総会学術集会

上部消化管穿孔緊急手術ごに発症した新型コロナ院内感染症の一例

渡邊武志ほか

令和5年7月14日

第78回日本消化器外科学会総会

胃原発扁平上皮癌の一例

高橋有和ほか

専門医資格

武田佳久	: 日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会指導医・専門医
中島研郎	日本外科学会専門医
渡邊武志	: 日本外科学会指導医・専門医 日本消化器外科学会専門医
高橋有和	日本外科学会専門医
倉田佳彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医

乳腺外科 (外来診療)

非常勤医師 四元 文明

乳腺専門医による診察、検査および手術を行っております。

診察、検査は視触診、マンモグラフィ、乳房超音波検査、乳房MRIを用いて行い、必要があれば針生検や穿刺吸引細胞診、異常乳頭分泌があれば分泌物の細胞診を行っております。

不幸にして乳癌であった場合には、当院または患者様の希望により京都大学病院や滋賀県立総合病院、大津赤十字病院にて乳癌手術を行っております。

ご本人、ご家族の希望により乳房再建術や遺伝子検査は、滋賀県立総合病院に紹介しています。

整形外科

副院長 岡本 剛
金山 依玲奈
森山 広太郎

令和5年度は整形外科医3人体制でした。整形外科全般の疾患、外傷に対して当科ですべて対応できる体制を整えています。特殊な専門性が要求される症例は専門の病院を紹介したりしています。外来は2診で行っています。初診はできるだけ紹介状持参をお願いしています。外来を縮小することにより説明に十分な時間がとれるようになり入院説明、手術説明を外来で行えるようになり入院期間の短縮につながっています。病状が安定した症例は逆紹介につとめています。湖西地域の先生方との症例検討会は、コロナで中断していましたが、令和5年度再開しました。次年度からも継続していきたいと考えています。

入院に関しては一部の疾患(大腿骨頸部骨折、人工関節、脊椎圧迫骨折)に対して入院期間の短縮、治療の一貫性を目的にクリニカルパスを導入し効果を上げています。保存的治療では安静による運動能力の低下を防ぐために積極的にリハビリを行い、ブロック療法や機能的装具を併用しADLの低下をきたさないように努力しています。

高齢者に多い大腿骨頸部骨折は手術後、回復期リハビリテーション病院への転院が主流になり早期に回復期リハビリに入れるように転院先と調整を行っています。

手術的治療では患者様のQOLを重視し、最小侵襲で手術が行えるように工夫しています。人工関節手術はクリーンルームで行っております。

整形外科全員で術前術後カンファレンスを行い、毎週月曜日には看護師、リハビリのスタッフとのリハビリカンファレンス、毎週火曜日には看護師との病棟カンファレンス、リハビリ、MSW含めた回診を行い、全員で情報を共有できる体制をとっています。

手術症例につきましては、平成28年は421件でした。

頸椎手術 8 腱板修復手術 1 胸腰椎手術 26 股関節人工骨頭置換術23 上肢骨折手術 100

人工股関節置換術18 下肢骨折手術112 人工膝関節置換術 11 手の外科 43

膝靭帯再建術 1 良性腫瘍手術 5半月板手術 6 等となっています。

専門医資格

岡本 剛 : 整形外科専門医 指導医

脳神経外科

スタッフ	市川 正春 (H7.1~)	日本脳神経外科学会専門医, 日本脳卒中学会専門医
	非常勤 北川 忠司	日本脳神経外科学会専門医, 日本麻酔学会専門医
	竹市 康裕	日本脳神経外科学会専門医, 日本脳卒中学会専門医
		日本脳神経血管内治療学会専門医

診療実績 (2023.1.1~2023.12.31)

外来

総数 2256 人、うち新患 396 人

入院

1.	脳血管障害		
	脳動脈瘤	1	
	AVM、血管奇形、CCF/dAVF		2
	脳内出血	21	
	脳梗塞	13	
	脳動脈閉塞/狭窄	3	
	その他	1	
2.	腫瘍		
	髄膜腫	0	
	神経膠腫	0	

	転移性脳腫瘍/その他	4	
3.	外傷		
	急性硬膜外/急性硬膜下血腫	3	
	慢性硬膜下血腫	20	
	脳挫傷/外傷性 SAH/その他		17
4.	水頭症	4	
	5. その他		3
	手術		
1.	開頭術		
	脳腫瘍摘出術	0	
	脳動脈瘤	0	
	AVM、血管奇形	0	
	脳内血腫除去	0	
	急性硬膜外/急性硬膜下血腫	0	
	減圧開頭	1	
2.	穿頭/定位脳手術		
	慢性硬膜下血腫	18	
	定位脳内血腫除去術	0	
	その他	3	
3.	血管内手術		
	動脈瘤コイル塞栓術	0	
	CAS/血管形成術	2	
	血栓回収	0	
	4. 水頭症手術		4
	5. 頭蓋形成術/その他		2

皮膚科（外来診療）

（非常勤医師）

平野 唯 小松 貴義

非常勤医師 2 名で診療しています。アトピー性皮膚炎・水虫・乾癬・蕁麻疹・掻痒症・皮膚がん・ヘルペスなどの感染症など多岐にわたる皮膚疾患を診療しております。また、総合病院の特徴を生かし、他科と密接に協力して治療を進めております。

泌尿器科

	日本泌尿器科学会	専門医・指導医
科長	水流輝彦	日本排尿機能学会 専門医
		日本泌尿器内視鏡学会 腹腔鏡技術認定医
		日本がん治療認定医機構 がん治療認定医

令和 5 年は 1 人体制での診療を行いました。

経尿道的手術を中心に悪性腫瘍や緊急を要する手術を行いました。近年泌尿器科手術は多くの疾患でロボット手術が標準術式となっていますが、当院で実施可能な手術を積極的に行いました。

外来診療は待ち時間が短くなるように内服薬で症状の落ち着いている方はご希望があれば地元かかりつけの先生に処方継続をお願いさせていただいておりますが、今後もよろしく願いいたします。

令和 6 年度は常勤医 2 人＋非常勤医 1 名での診療となります。対応できない疾患・処置、時間があるかもしれませんが、今後も引き続きよろしく願いいたします。

主な検査、処置、手術件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
前立腺針生検	28	24	29	34	20
尿管ステント留置・交換	10	48	51	37	28
腎瘻造設術	1	4	5	0	1
経尿道的膀胱腫瘍切除術	10	13	22	27	27
経尿道的尿管結石手術	0	8	9	6	17
経尿道的前立腺切除術	4	4	4	2	2
経尿道的前立腺吊上げ術	0	0	0	0	2
膀胱結石手術	0	5	5	5	1
腹腔鏡下腎摘除術	3	0	0	1	0
腹腔鏡下腎尿管摘除術	0	1	2	0	1
腹腔鏡下膀胱脱手術	0	1	0	0	0
内シャント	9	24	9	9	5
包皮環状切除	4	0	1	1	1
陰のう水腫根治術	0	1	1	0	0
ボツリヌス療法	0	1	0	0	0
高位精巣摘除術	1	0	1	1	0
精巣固定術	1	0	1	0	0
中部尿道スリング手術	0	0	1	1	0
その他	3	6	10	4	6

産婦人科

常勤医師 医長 山中 弘之(令和5年1月～令和5年6月)

田中 佑治(令和5年7月～令和6年1月)

花田 哲朗(令和6年2月～令和6年7月)

非常勤医師 天野 創、辻 俊一郎、米岡 完、菅田佳奈

常勤医師1名、非常勤医師4名で、夜間は滋賀医大から医師の派遣もしていただき分娩体制を維持しております。産科は比較的风险の少ない方の妊娠分娩管理を行っております。婦人科は外来では良性から悪性疾患の管理、手術は基本的に良性疾患に対する開腹・腹腔鏡・経膈手術を行っております。今後も滋賀医科大学と連携協力しながら高島地域の産婦人科診療を維持していきます。

診療実績

分娩と手術の内訳 (2023年4月～2024年3月の実績)

産科

分娩実績

分娩件数	106件
経膈分娩	88件
帝王切開	18件(予定 14件、緊急 4件)

手術

流産手術	5件
会陰裂傷縫合術	1件
子宮頸管縫縮術	1件

婦人科

開腹手術(帝王切開以外)

子宮全摘出術	4件
子宮筋腫核出術	1件

腹腔鏡下手術

卵巣手術	8件
------	----

子宮全摘術 5 件

腔式手術

子宮内膜全面搔爬術	0 件	子宮頸部円錐切除術	3 件
外陰切除術(悪性)	0 件	膣閉鎖術	1 件
内膜ポリープ切除	1 件	子宮脱	1 件
子宮鏡下子宮筋腫核出術	1 件		

専門医資格

村頭 温 : 日本産婦人科学会専門医
日本婦人科腫瘍学会専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
Da vinci/hinotori saurgical robot system certificate
日本ロボット外科学会 robo-Doc Pilot (国内B)
臨床研修指導医

眼 科

(非常勤医師)

中西 悠太 (月曜日) 緒方 真麻 (~2023.9 水曜日)
田宮 良輔 (金曜日・2023.10~水曜日)

当科では担当医師 1 名、看護師 1 名、視能訓練士 1 名の体制で月・水・金曜日に診療を行っています。午前是一般診療及び健診眼科項目業務、午後は予約検査を行っております。第 3 週の水曜日にはコンタクト外来も開設しています(令和 4 年 5 月から休止中)。平成 16 年度より常勤医不在により、非常勤医師による診療を行っております。

診療内容は白内障や緑内障、糖尿病網膜症などの一般診察に加え、必要に応じて網膜光凝固レーザー治療を行っています。当科で対応できない手術や検査については京都大学病院や大津日赤病院などへ紹介させていただいています。

耳鼻いんこう科 (外来診療)

(非常勤医師) 戸嶋 一郎 中村 圭吾

非常勤医師 2 名で診療しています。

耳疾患、鼻副鼻腔疾患、咽喉頭疾患、口腔疾患、唾液腺疾患、外傷などを扱っています。手術や入院治療が必要な場合は滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科など他施設へ紹介させていただきます。

難聴や顔面神経麻痺等での入院治療が必要な場合は、当院内科常勤医等と連携して治療いたします。

毎月第 1・3 木曜日午前 9 時~11 時に補聴器外来を開設しています。

歯科・歯科口腔外科

副医長 徳持 翔太 医師 七島 慧一郎
歯科衛生士 5名(常勤2名、非常勤3名)

歯科口腔外科は令和4年度より七島 Dr.が赴任、歯科衛生士2人が新たに入職し、歯科医師2人、歯科衛生士5名(常勤2名、非常勤3名)の体制で診療しています。また、令和3年度より常勤歯科医師3人から2人と減少しており現在もそのままの状態です。

より専門性の必要な症例は、京大より専門医を招聘し、当院で手術を行ったり専門領域の病院を紹介させて頂いています。現在京大病院から助教の渡邊 Dr.が月2回程手術および診療の補助に来て頂いております。

当科では顎顔面領域における顎骨腫瘍や埋伏智歯・智歯周囲炎、顎関節症、顎変形症などの硬組織疾患、口腔粘膜・舌腫瘍、唾液腺疾患などの軟組織疾患、睡眠時無呼吸症候群や唇顎口蓋裂など先天奇形患者の口腔内装置の作製、全身疾患や障害を持たれている患者の一般歯科治療などを行っております。また手術に恐怖心のある患者に対しては、静脈内鎮静を併用した手術を施行しております。歯科インプラント治療や前処置としての骨移植など保険適応外の手術も施行しております。

<口腔ケア>

歯科衛生士による口腔ケアを積極的に推進しております。

全身麻酔手術の前後では、原則的に全例で周術期口腔ケアを実施し、誤嚥性肺炎や摂食・嚥下障害、糖尿病、脳血管障害、人工呼吸管理中などの患者に対しては、専門的口腔ケアを実施し、病棟と連携を取りながら効率的な口腔ケアを行えるよう協力させて頂いております。また国民の8割は歯周病に罹患しているなか、かかりつけ歯科と連携をとりながら歯周病治療を行っています。

活動状況

<初診延べ患者数>	1180名
<外来患者数(初診・再診を含む)>	8659名
<入院患者数>	173名
<手術室利用手術件数>	197件
<全身麻酔下手術>	129件
<手術室利用局所麻酔下手術>	68件
<周術期口腔ケア依頼件数>	334件
<専門医>	徳持 翔太：日本口腔外科学会認定医
<認定施設>	日本口腔外科学会准研修施設

放射線科

科長 木上 裕輔 日本医学放射線学会 放射線診断専門医

放射線科は常勤医師1名、非常勤医師3名が在籍しており、画像診断センターにて医療技術部の診療放射線技師や看護部と協力しながら、各種画像診断とインターベンショナルラジオロジー(IVR:画像誘導下治療)を行っています。

当院の主な画像診断関連機器は、FPD一般撮影装置、マルチスライスCT(64列)、MRI装置(1.5テスラ)、超音波診断装置、ガンマカメラ(SPECT装置)、診断用X線TV装置、デジタル血管撮影装置、乳房X線撮影装置、歯科用パノラマ撮影装置、骨塩定量装置などです。

放射線科では、各診療科の先生方と緊密な連携をとって信頼性の高い画像診断を行うことを心がけています。それによって、病気の早期発見・早期治療を実現させて患者様の健康寿命増進のお役に立てることを目指しています。夜間休日などの診療時間外においても、遠隔での画像診断に可能な限り対応できるようシステムを構築しています。また、地域の開業医様や他の医療機関からの検

査依頼にも対応しており、地域医療へ貢献できるよう取り組んでいます。

当科の業務の多くは画像診断が占めますが、それ以外の業務として IVR も行っています。IVR は X 線透視画像や超音波画像を見ながら治療を行うもので、実施件数が多いものでは肝細胞癌に対する肝動脈化学塞栓療法 (TACE) が挙げられます。他にも、各種の経皮的なドレナージ術も行っています。これらの IVR は身体への負担が比較的安く術後の回復も早く見込めるなど、患者様にとってのメリットも多く、それらを実現できるよう当科では体制を整えています。

<全読影件数>

	CT	MR	RI	X 線 TV	マンモ	US	単純撮影	骨塩	IVR
令和 5 年度	8208	2161	106	754	719	2259	2738	18	6
令和 4 年度	7712	2139	128	815	766	2273	4055	10	10

<検診>

	MR	X 線 TV	マンモ	US	単純撮影
令和 5 年度	64	744	505	573	2341
令和 4 年度	68	805	534	551	3689

<病診連携>

	CT	MR	RI	US	単純撮影	骨塩
令和 5 年度	263	340	33	40	27	18
令和 4 年度	205	263	21	55	31	10

麻酔科

科長 川人 道夫 機構専門医 日本麻酔科学会指導医
 大学応援非常勤医師 週 5 名 (月曜、火曜・水曜・木曜)

令和 5 年度業務実績 (令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日)

麻酔科管理 654 例

麻酔法

全身麻酔…229 例

全身麻酔+硬麻、脊麻、伝麻等…294 例

脊髄くも膜下麻酔…111 例

脊硬麻…17 例

その他…3 例

科別

脳外科…6 例、外科…188 例、産婦人科…45 例、整形外科…224 例、泌尿器科…56 例、
 歯科口腔外科…129 例, その他…5 例

大学より和田先生、石原先生、閻先生、河野先生、森山先生の応援にて麻酔業務遂行

リハビリテーション室

技師長 清水 一美

リハビリテーション室では、理学療法・作業療法・言語療法を実施しています。

スタッフは、理学療法士 13 名、作業療法士 7 名、言語聴覚士 2 名、事務員 1 名の 23 名で、外来・入院患者様、及び在宅患者様（訪問リハビリテーションにて対応）に、リハビリテーションサービスを提供しています。

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）、廃用症候群リハビリテーション料（Ⅰ）、運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）、心大血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、がん患者リハビリテーション料を算定しています。

リハビリテーション実施過程においては、他職種とのカンファレンス等を行い、情報共有を深めると共に、必要に応じ、退院前に患者さまの家庭に訪問指導を行い、在宅生活への適応を高めていく事にも努めています。

地域においては、医療・保健・福祉・介護保険事業との連携に努めています。

理学療法、作業療法、言語療法の各部門における令和 5 年度業務実績については別項リハビリ統計を参照。

訪問リハビリテーション業務実績（令和 5 年度）

（方針）

- ・退院後の療養において、在宅での日常生活の自立支援と、機能維持・改善に必要な支援・援助を行います。
- ・利用者様の生活の質を考慮し、日常生活能力の維持・回復を図りつつ、利用者様及びご家族の方が、外部からの支援等により、住み慣れた地域社会で安心して生活出来るように支援・援助します。

（対象）

- ① 医療保険を利用している患者様、介護保険による介護認定をうけた利用者様の希望・選択によるもの
- ② 医療保険を利用している患者様、介護保険による介護認定をうけた利用者様に対し、介護支援専門員の助言等により、協議・検討され必要性がある方
- ③ 医師が通院・在宅生活を送られている利用者様に対し、当サービスの必要性があると判断する場合

訪問区域：	高島市内全域
訪問回数：	年間 513 回（月平均 42.75 回）
キャンセル数：	年間 74 回（月平均 6.17 回）
利用者数：	年間 147 人（月平均 12.25 人）
新規利用者数：	年間 0 人
中止、終了者数：	年間 2 人

地域リハビリテーション支援業務実績（令和 5 年度）

- ① 空き家活用事業 令和 5 年 4 月 11 日～令和 6 年 3 月 22 日（全 18 回）
社会福祉協議会主催の高島（街灯り）・朽木（くつつき）での空き家を利用した地域サロンへ参加。「受けるリハビリ」から「するリハビリ」への意識改革、主体的に運動を継続できる環境作りの提供
を目的に地域住民に体操や健康に関する講義を実施。

- ② 地域リハビリテーション支援事業 令和5年11月1日・16日（全2回）
住民に対する「高島あしたの体操」に関する指導・助言、その他の介護予防に関する体操や指導・助言を実施。

実績集

（学会発表等）

木下正太
令和5年8月31日
全国自治体病院学会主催 第61回全自治体病院学会
『入院中の食欲不振が COVID-19 患者の ADL に与える影響について』

小村尚也
令和5年11月5日
第55回滋賀県国保地域医療学会
パネルディスカッション
『地域共生社会の実現に向けての地域リハビリテーションの取り組み』

手術室・中央材料室

看護師長 山極 恵子

手術室

手術室は看護師10名で、診療科8科(外科・整形外科・脳神経外科・産婦人科・歯科口腔外科・泌尿器科・心臓血管外科・内科)の手術に対応しています。看護体制は、時間外及び休日は待機制をとり24時間緊急の手術、心臓カテーテル検査治療（1名緊急カメラ対応可能）に対応しています。

令和5年度の総手術件数は956件で、全身麻酔526件、腰椎麻酔212件、局所麻酔を含むその他の麻酔は218件でした。うち緊急手術は167件で全体の17.5%、全身麻酔は全体の55%でした。昨年より総手術件数は72件増加しました。COVID-19陽性者の手術も感染を広げることなく昨年の4件に続き、令和5年度は6件の緊急手術（婦人科1件、整形外科3件、外科1件、泌尿器科1件）を実施しました。

手術を安全に行うため、情報共有し手術前タイムアウトと執刀医タイムアウトは確実に実施、左右間違いや追加手術もれなどありません。また、医療機器・ガス・設備等の点検や修理、ホルムアルデヒド作業環境測定など継続しています。医療材料の管理は、見える収納・ラベリング・整理整頓、定数見直しなど行い期限切れの物品が出ないように経費節減に努力しています。

毎週火曜日（1～4例/回）実施される心臓カテーテル検査治療には、手術室看護師1名が外来看護師1名と対応、夜間休日の緊急心臓カテーテル検査治療には手術室看護師2名が対応しています。令和5年度は、昨年の101回より多く、緊急も含め延べ105回の心臓カテーテル検査治療の対応をしました。

患者様が安全・安心な手術、心臓カテーテルが受けられるよう知識・技術の向上を目指しています。

(1) 令和5年度 月別手術件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	17	14	15	19	20	15	17	18	15	15	17	12	194
整形外科	29	37	31	33	33	32	37	39	37	34	42	31	415
泌尿器科	7	4	6	5	5	6	4	6	5	5	6	3	62

産婦人科	7	3	5	1	3	3	6	4	3	4	4	8	51
脳神経外科	1	4	0	2	3	4	4	1	1	4	4	4	32
口腔外科	8	13	22	16	24	18	17	21	15	11	14	18	197
心臓血管外科	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
内科	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
合計	69	76	79	76	88	78	86	91	77	73	87	76	956

(2) 令和5年度 月別緊急手術対応

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
緊急手術	12	11	8	13	10	15	16	11	17	19	19	16	167
うち待機呼出	3	2	1	2	2	1	3	2	5	0	1	2	24

* 「緊急手術」とは当日申し込み手術のこと（待機呼出を含む）

* 「うち待機呼出」とは呼び出しを受けて緊急手術に対応したもの

中央材料室

看護補助者1人にて、手術室看護師と協力して業務を行っています。昨年のウオッシャー・デイスンフェクター2台更新に続きR5年度は高圧蒸気滅菌器2台更新しました。患者の安全確保のため、より安定した物品提供をめざし、医療機器、手術器械の洗浄、滅菌、管理業務を担っています。

(1) 令和5年度 滅菌機器運転回数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
オートクレーブ1	57	55	59	54	63	53	60	64	61	53	50	54	683
オートクレーブ2	53	58	58	50	59	53	53	54	58	53	60	49	658
ステラッド	19	24	19	19	20	19	23	19	22	18	19	18	239
合計	129	137	136	123	142	125	136	137	141	124	129	121	1580

薬剤センター

薬局長 木下 貴長

日々進歩していく医療の中で薬剤師は、「薬の専門家」として重要な役割を担っています。当院では宿日直を含む24時間体制で常勤薬剤師10名、非常勤薬剤師1名、薬剤助手2名で業務を行っており、これまでよりさらに安全で質の高い業務を展開できるよう取り組んでいます。

■調剤・注射業務

医師より発行された処方せんに基づき、用法用量・相互作用・アレルギー歴・薬歴・各種検査値などをチェックし、調剤を行っています。（当院では平成12年11月より院外処方せん発行しています）

■病棟業務

全病棟に担当薬剤師を配置し、服薬指導・持参薬の鑑別等に加え、投与される医薬品の妥当性の検討・必要時には医師への処方提案をおこなっています。入院患者様に安心・安全な入院生活を送っていただけるように適切な医薬品情報を提供しています。

■無菌調製業務

中心静脈栄養に用いる高カロリー輸液は、クリーンベンチ内で無菌調製を行っています。また、院内で使用される注射抗がん剤は、無菌的かつ曝露防止を目的とした安全キャビネット内で調製しています。患者様にとって安心・安全に化学療法を受けていただけるだけでなく、調製・実施するスタッフの曝露対策も確保しています。

■D I（医薬品情報）業務

医薬品情報の収集・整理・保管を行い、スタッフならびに患者様に情報を提供し、安全で適切な薬物療法の支援をしています。また、医薬品による有害事象が生じた際には独立行政法人医薬品医療機器総合機構に報告し、当院だけでなく治療を受ける全ての患者様の安全確保に貢献しています。

■薬品管理

医薬品の採用登録、発注・購入、病棟配置薬の管理、期限チェック、棚卸業務などを行い、院内医薬品すべての管理を行っています。また災害拠点病院として、非常時に必要な医薬品を正確かつ速やかに供給できるよう製薬会社や薬品卸との連携の強化を図っています。

■他の医療機関との連携

トレーシングレポート、疑義照会、その他問い合わせなどを通じて情報を共有しています。高島市内の各医療機関の薬剤部門との連携も始まり、地域連携を深めています。

■研修・教育

滋賀県病院薬剤師会の会員として、県内外の学会・研修会などに参加し、最新の医療や薬剤に関する情報収集を行っています。院内では、毎週火曜日にWeb勉強会を行っています。

高島市薬剤師会との合同研修会の開催、薬剤師会主催の研修会への積極的な参加も行っています。

また薬学部5年生を対象に、大学と連携して11週間にわたる薬学部実務実習生を年に3回受け入れており、薬剤師の育成にも力を注いでいます。

■チーム医療

化学療法、NST、褥瘡回診、院内感染対策、CST、緩和ケアなどのチーム医療へ参加し、薬剤の専門家として関わっています。

*今後も薬剤業務を充実させ、患者様に薬を通してよりよい関わりが持てるよう知識と技術を磨いていきます。

薬局業務状況

1. 外来処方箋調剤枚数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外来処方箋	3,925	3,964	4,025	4,101	4,232	3,819	3,961	3,785	4,083	3,953	3,521	3,887	47,256
院外枚数	3,589	3,550	3,746	3,671	3,768	3,467	3,601	3,476	3,636	3,402	3,203	3,558	42,667
院内枚数	336	414	279	430	464	352	360	309	447	551	318	329	4,589
院外発行%	91.4	89.6	93.1	893.5	89.0	90.8	90.9	91.9	89.1	86.1	91.0	91.5	90.3
外来注射	725	805	760	922	890	795	840	863	891	888	772	935	10,086

2. 入院処方箋枚数

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内服	2,338	2,499	2,615	2,458	2,525	2,656	2,445	2,530	2,826	2,491	2,448	2,692	30,523
注射	6,991	7,634	7,260	8,241	8,298	8,436	7,665	7,431	8,007	8,680	7,714	8,072	94,429

3. 無菌製剤処理業務（高カロリー輸液混合等）

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
処方箋枚数	142	46	47	44	73	57	74	76	35	124	146	213	1,077
調製数	30	0	20	33	50	31	37	25	19	62	75	63	445

4. 化学療法無菌製剤処理業務（抗悪性腫瘍剤混合等）

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
処方箋枚数	42	41	30	34	35	34	52	49	43	49	42	48	499
調製数	97	92	68	77	82	89	134	129	120	132	111	123	1,254

5. 服薬指導業務

令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
指導件数	149	146	178	203	189	121	138	158	182	129	95	142	1,830

放射線室

技師長	齊藤 満	アドバンスド放射線技師 臨床実習指導者
技師長補佐	川合 久和 井上 将行	超音波検査士、臨床実習指導者 放射線管理士、放射線機器管理士 医療画像情報精度管理士、医療情報技師
	兼田 加代	検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師 救急撮影認定技師、アドバンスド放射線技師
主任技師	村田 晶 吉田 枝里	シニア放射線技師 第1種放射線取扱主任者、作業環境測定士 検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師 超音波検査士
技師	西川 敬浩 兼先 勇佑 宇佐見 ゆか 松下 凌也	第1種放射線取扱主任者 検診マンモグラフィ撮影認定放射線技師
非常勤技師	澤田 宗次	

放射線室のスタッフは、医師1人（週3日非常勤医師各1人）、診療放射線技師10人、非常勤技師1人、看護師1人（内視鏡室、救急外来兼務）で日常の業務を行っています。放射線科医師は、常勤1人と非常勤3人で行っており、最近の読影件数の増加や夜間・休日・祝日の遠隔読影にも対応し常勤医師の負担が増えています。

日常の業務は、一般撮影・X線TV撮影・CT・MRI・RI・血管造影検査・超音波検査・骨塩定量測定・乳房撮影（3Dマンモグラフィ）・検診業務及び画像解析・画像入出力等を行っています。

放射線被曝医療研修や業務拡大による統一講習会（厚生労働省医政局認定）の参加

地域の二次救急医療を支える24時間体制には当直勤務で対応し、緊急の一般撮影・CT・MRI・超音波検査・血管撮影・X線TV撮影など幅広く検査を行っています。

担当以外の検査には担当者の呼び出しにより対応しています。

また、職場環境の安全確保や医療安全のためにも、核医学関係は毎月1回、X線関係は年に2回の放射線の漏洩線量の測定を法律に則り行っています。

日常業務の精度向上のため、様々な認定資格にも挑戦し、日々技術向上を目指しております。

学会等活動報告

厚生労働省告示第273号研修

厚生労働省医政局長より発出され、放射線技師の業務範囲の見直しに伴う告示研修 受講修了者8名

院内研究発表会優秀発表賞受賞

年間の業務量は以下のとおりです。

<令和5年度 放射線室業務実績>

検査種	令和3年度	令和4年度	令和5年度	前年度比較 (%)
CT検査	7,634	7,714	8,303	108%
MRI検査	2,222	2,124	2,177	102%
RI検査	171	128	106	83%
TV室撮影	1,093	1,056	998	95%
ポータブル	1,685	1,703	1,563	92%
血管造影	257	234	253	108%
骨塩定量測定	270	362	403	111%
手術室撮影	688	634	766	121%
単純撮影	18,276	19,043	20,277	106%
超音波検査	2,256	2,300	2,277	99%
乳房撮影	775	768	719	94%
検査全件数	35,572	36,308	37,996	105%

<令和5年度 月別検査件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT検査	640	687	651	659	741	657	760	710	694	693	667	744	8303
MRI検査	169	164	216	179	191	160	196	165	191	181	176	189	2177
RI検査	7	9	16	8	12	8	10	8	9	4	9	6	106
TV室撮影	58	94	90	62	47	94	111	103	104	82	92	61	998
ポータブル	112	104	139	134	128	141	115	131	141	165	125	128	1563
血管造影	21	20	28	15	23	20	20	24	16	25	21	20	253
骨塩定量測定	26	29	42	34	28	42	36	34	45	28	25	34	403
手術室撮影	60	57	62	65	72	55	71	73	63	61	73	54	766
単純撮影	1462	1668	1912	1908	1906	1682	1991	1637	1582	1499	1485	1545	20277
超音波検査	189	193	231	214	193	195	207	187	184	159	180	145	2277
読影依頼	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	6
乳房撮影	29	43	79	68	55	68	79	63	65	50	58	62	719
検査全件数	2791	3080	3475	3357	3413	3136	3604	3152	3111	2956	2920	3001	37996

<令和5年度 科別検査件数>

	CT	MRI	RI	TV	ポータブル	血管	骨塩	手術室	単純	US	乳房	合計
内科	4462	620	41	143	821	225	19	1	5398	677	0	12408
外科	658	79	5	139	586	18	20	360	1087	255	214	3424
整形外科	1433	463	1	38	100	1	251	366	6506	341	0	9501
脳神経外科	730	335	6	3	28	7	0	28	220	13	0	1343
泌尿器科	285	58	16	79	10	1	14	2	516	52	0	1033
耳鼻科	112	27	0	0	1	0	0	0	26	145	0	311
小児科	21	41	2	0	9	0	0	0	217	151	0	442
産婦人科	30	108	0	0	6	0	5	36	80	10	0	275
放射線科	263	340	33	0	0	0	22	0	27	40	0	725
皮膚科	6	4	0	0	0	0	0	0	11	3	0	24
眼科	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
精神科・神経科	5	23	2	0	0	0	0	0	3	0	0	33
歯科口腔外科	271	12	0	0	0	0	0	0	936	0	0	1219
心臓血管外科	8	0	0	0	0	0	0	0	10	2	0	20
透析室	13	3	0	0	1	0	1	0	756	15	0	789
健診センター	0	64	0	744	0	0	71	0	4484	573	505	6441

中央検査室

臨床検査担当医師	杉原 秀樹		
技師長	中島 正次		
臨床検査技師	常勤 10名	非常勤	1名

臨床検査センターでは、年間を通して常に正確性・精密性において信頼の高いデータを迅速に報告することを基本に業務を行っています。2023年度の外部精度管理では、日本医師会（参加項目修正点 98.9点）、日本臨床衛生検査技師会（A+B評価 98.4%）、滋賀県臨床検査技師会（A+B評価 100%）と優秀な成績でした。日本臨床衛生検査技師会の精度保証施設（「データが標準化され、かつ、精度が十分保証されていると評価出来る施設である」）に2017年4月1日より認証されており、また内部精度管理でも、各スタッフが日々のデータを厳しく管理し、精度の高いデータを報告しています。

新型コロナウイルスについてはピーク時と比べると陽性率も低下し落ち着いてきている印象ではありますが、今年度11月から抗原定性検査を導入し、これまでの抗原定量検査とPCR検査とともに継続して臨床に対応しました。全ての時間帯において抗原定性及び定量検査を随時で行う体制を継続しています。

- 検体検査** 終日4または5人の体制で業務を行っています。11月に尿定性・尿中有形成分分析装置（アークレイ社・シスメックス社）が機器更新され、これまで同様、正確性、感度の高い検査を継続実施しています。また、臨床からの要望で外部委託していた検査項目を院内実施に変更するなど治療に有用なデータを迅速に報告できるよう努めています。
- 病理検査** 終日1または2人の体制で業務を行っています。病理医2名に定期的にご来院いただき、確実な診断をしていただいています。さらに、滋賀県遠隔病理システムを利用した遠隔病理診断や意見コンサルテーションも行い、病理診断日数の短縮を心がけて対応しています。また、術中迅速診断を遠隔病理診断でも対応するなど、臨床からのご要望に対応できるよう努めています。
- 生理検査** 午前2または3人・午後4人（兼務3人）の体制で業務を行っています。心エコー検査・頸動脈エコー検査を実施可能な技師が2人おり、さらに2人技術習得中です。健診センターには午前中に2名の技師を派遣し、高島市職員・教職員の健診で午後実施の時は午後1名派遣しています。また、心臓リハビリ開始に伴い、心肺運動負荷試験（CPX）が実施できるようになりました。
- 感染情報** 院内感染対策チーム（ICT）を2名の技師が兼務しています。耐性菌検出を週報にて発行、年間を通じて当院で検出された細菌からアンチバイオグラムを作成、いずれも電子カルテの掲示板にある「感染情報レポ」にて掲示しています。院内ASTラウンドにも積極的に参加し、院内感染対策に関する活動を実施しています。また、JANIS（厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業）に参加しており、電子カルテの掲示板にある「JANIS還元情報」に特定の薬剤耐性菌・主要菌の分離状況（病棟別・材料別）や、全国の参加施設との分離菌・分離率の比較等を掲示しています。

○取得資格

中島正次 緊急検査技師 竹内優子 緊急検査技師 芝山智子 認定輸血検査技師／
認定血液検査技師 岡田めぐみ 心電図検定3級 村木雅哉 心電図検定2級
藤井莉奈 細胞検査士 藤田小登美 超音波検査士（心臓）／心電図検定1級

検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	11,883	13,370	13,133	14,055	14,962	13,033	14,965	12,845	13,455	12,936	12,492	13,124	160,253
血液	15,675	18,124	18,310	18,599	19,395	17,416	18,308	16,748	17,580	17,366	17,282	17,292	212,095
生化学	40,883	46,948	46,335	48,283	50,815	45,372	48,754	43,231	44,694	43,241	43,222	43,234	545,012
血清	3,747	3,764	4,324	4,246	4,070	4,000	4,152	3,780	3,622	3,412	3,839	3,691	46,647
細菌	1,197	1,381	1,328	1,142	1,224	1,497	1,706	1,339	1,072	1,246	1,213	1,338	15,683
病理 (細胞診)	192	173	200	236	178	231	217	199	225	192	199	202	2,444
生理	1,186	1,635	3,055	3,109	3,140	3,200	3,617	2,304	2,001	2,019	2,180	1,637	29,083
UCG	131	125	117	120	116	114	110	123	135	120	111	109	1,431
合計	74,894	85,520	86,802	89,790	93,900	84,863	91,829	80,569	82,784	80,532	80,538	80,627	1,012,648

新型コロナウイルス検査件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
抗原定性	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	118	385	424	296	307	1,530
抗原定量	474	399	365	444	503	468	369	267	210	188	267	241	4,195
PCR	35	7	3	4	4	4	1	1	3	2	4	5	73

臨床工学室

技師長 長濱 崇
 技師長補佐 棟田 敦
 主任臨床工学技士 北川 浩也 藤縄 大志 伊藤 悠平 船木 克哉
 臨床工学技士 足立 悠貴 水口 貴良 大平 光蘭

9名でローテーションしながら医療機器管理、人工透析、臨床支援業務をおこなっています。待機体制はありませんが、24時間オンコールで可能な限り対応しています。

	日常点検	定期点検	故障修理	院内修理	貸出件数	手術	血管造影	血液浄化	シャントエコー
2023年度	4329	2000	74	49	3333	215	180	8	79
2022年度	4150	1961	55	32	3658	193	157	66	51
2021年度	4664	1831	81	60	3448	139	144	26	43

【実績】(2023.04～2024.3※透析装置日常点検と人工呼吸器使用中点検を除く)

【人工透析・血液浄化】

安全で質の高い透析治療を提供するため、日常点検、定期点検を実施しています。装置を深く理解し患者様との架け橋になれるよう心がけています。透析用水清浄化の水質は良好で水質加算を取得しています。新型コロナウイルス感染症患者の治療を透析室で実施可能になったことで件数は減少しましたが、必要に応じて病棟透析を実施しています。難治性腹水症に腹水濾過濃縮再静注法を積極的に実施しています。

【医療機器管理】(2023.04～2024.3※透析装置日常点検と人工呼吸器使用中点検を除く)

管理登録機器 1401 台、年間点検件数 6329 件以上、医療機器導入時の研修や e ラーニング研修に尽力しています。

< 研修実績 >

PCPS トレーニング 2023 年度中 4 回
 医療機器の電気トラブル対策 2023/5 e ラーニング
 iHDF 療法と透析装置操作研修 2023/7
 除細動器操作研修 2023/7
 人工呼吸器研修 (NKV-330) 2022/10 e ラーニング

【臨床支援】

手術室では各科内視鏡下手術（腹部内視鏡・関節鏡下・産婦人科・泌尿器科）で関連機器の操作・点検・記録管理を行っています。心臓カテーテル業務では RFR・IVUS によって検査と治療を援助し、緊急時には IABP や PCPS の設定・操作、救急搬送を請け負っています。2023 年度からペースメーカー外来に関わり業者からのタスクシフトを試みています。

【学会・研修会などの活動】

第 63 回 全国国保地域医療学会 2022/10/6 発表（長濱）

栄養管理センター

主任管理栄養士 橋本 亜由子

栄養管理センターでは、管理栄養士 5 名で栄養管理業務と給食管理業務を行い、入院患者様の食事に対する調理業務は、給食委託業者に委託をしています。

入院患者様の栄養管理業務は、個々の栄養管理計画書を作成し、入院中の検査データの推移や喫食量を確認しながら、栄養状態を把握しモニタリングにより再評価を行っています。栄養状態改善を左右するのは適切な栄養量の摂取であり、個々の患者様に合わせた食事形態の工夫や食種の選択が重要です。

栄養指導業務は、外来での指導については外来スタッフと連携をとり、待ち時間の短縮に努めています。継続した指導では患者様との信頼関係を築くために原則、担当制にしています。入院時の指導は、患者様やご家族の希望を伺いベッドサイドに向向いての実施や病棟患者ラウンジでの実施、調理方法を指導する場合においては病棟患者ラウンジで行っています。

給食管理業務は、提供する食数の集計や食材の発注を行い、年 2 回の嗜好調査と年 2 回の自主検査を実施し、より安全で満足度の高い食事の提供に努めています。

NST（加算算定なし）、褥瘡回診、心不全対策（CST）カンファレンス、緩和ケアチーム、窒息誤嚥予防チーム、身体抑制最小化チーム、せん妄・転倒転落対策チームへの参画、院外活動として地域での医療・福祉の連携も積極的に取り組んでいます。

以下 業務実績を報告します。

〈食数および栄養指導件数〉

	一般食	特別食 (%)	合計	患者外	個別指導	集団指導
4 月	6367	4029 (38.8)	10396	360	60	中止
5 月	6258	5098 (44.9)	11356	372	62	
6 月	5973	4544 (43.2)	10517	360	47	
7 月	7082	4345 (38.0)	11427	372	54	
8 月	7163	4904 (40.6)	12067	372	52	
9 月	6844	4582 (40.1)	11426	360	42	
10 月	6821	4334 (38.9)	11155	372	47	
11 月	6198	4382 (41.4)	10580	360	41	
12 月	5971	4910 (45.1)	10881	372	51	
1 月	6957	5349 (43.5)	12306	372	35	
2 月	6709	4696 (41.2)	11405	348	50	
3 月	7494	5452 (42.1)	12946	372	37	
合計	79837	56625 (41.5)	136462	4392	578	

看護部

I. 組織（令和5年度）

看護部長 福田 直美
 看護部長代理 岡田 裕子（アドバンス助産師）
 副看護部長 末武 美里（認定看護管理者・地域医療連携室・患者相談支援室兼任）

2023.04.01 付

部 署	師 長	補 佐	主 任
3 東病棟	木村 薫	早藤 砂緒里	朝日 留美
4 東病棟	生駒 晶子	宮田 麻里	竹田 明美 河原田 勝也
4 南病棟	土肥志のぶ	山本 知世	郡 嘉代子
5 東病棟	木下 宏恵	宇田 洋海	久保田 真
5 南病棟	黒丸 昌美	中村 大介	川原 春香
透析室	斉藤 育代		安部 美津子
手術・中材室	山極恵子	山口 真有美	西川 真名美
外来	水谷 清美	前川 直美	村田 裕子
地域医療連携室	末武 美里		
入退院支援室	北野 栄美子		橋本 美咲
患者相談支援室	末武 美里（兼任）		
健診室	澤田 さよ子		
医療安全推進室		薬師川 ひとみ	
感染管理対策室			清家 美香

II. 看護部の理念と令和5年度看護部目標

理念：地域住民の安心・安全を守り、信頼される質の高い看護を提供します

令和5年度看護部重点目標

1. 安全で質の高い看護の提供
2. チーム力を高め働きやすい職場づくり
3. 病院経営への積極的参画
4. 地域との連携強化

III. 概要

(1) 看護師等の配置状況

一般病棟（3 東 4 東 5 東 5 南→一部新型コロナウイルス感染症入院対応）

急性期一般入院料 4 10：1

9月から一般病棟で夜間派遣看護補助者導入

地域包括ケア病棟（4 南）

地域包括ケア病棟入院料 2 13：1

(2) 看護方式

固定チームナーシング＋受け持ち制 一部機能別看護を併用

(3) 看護関連の実習受け入れ

- ・滋賀県聖田看護専門学校：基礎看護学 成人看護学 老年看護学 小児看護学
母性看護学 統合
- ・華頂看護専門学校：母性看護学
- ・滋賀県立総合保健専門学校：母性看護学
- ・滋賀県立看護専門学校：母性看護学
- ・大阪保健福祉専門学校（通信）：小児看護学 母性看護学 基礎看護学

- ・大阪府病院協会看護専門学校 2年課程通信制 基礎看護学
 - ・日本医療学園付属東亜看護学院（通信課程）：成人看護学、小児看護学、老年看護学、母性看護学 看護の統合と実践
 - ・聖徳大学通信教育部：養護教諭実習
- (4) 「看護の心」普及活動
- ・「看護の日」イベントは感染対策のためティッシュペーパーの配布とポスター掲示実施
 - ・市内中学校、「職場体験学習」
 - ・高校生の一日看護体験（滋賀県看護協会 ナースセンター事業） 7月27日
 - ・看護の魅力配達事業（安曇川高校）（滋賀県看護協会 ナースセンター事業）
 - ・病院見学受け入れは 3名実施
 - ・安曇川高校キャリア形成支援事業の協力
 - ・Work Life Story EXPO 2023（高島市 市民協働課）
- (5) 地域活動
- 2023 びわ湖高島栗マラソン
高島 U-15 HANDBOLL CUP 2023
講師の派遣（老人会、各事業所、自治区の出前講座、市民公開講座、市内介護施設
高等学校性教育、ELNEC-J コアカリキュラム教育）など
- (6) その他
- 令和6年能登半島地震における災害支援
DMAT 派遣 1月4日～1月6日 小林由佳 橋本祐樹
1月31～2月3日 宇田洋海 橋本祐樹
災害派遣ナース派遣 1月9日～1月12日（珠洲市総合病院）末武美里 安部美津子
1月24日～1月27日（輪島高校避難所）中村大介 西川慶輔
2月8日～2月11日（輪島高校避難所） 土肥志のぶ

IV. 看護部教育活動

- (1) 令和5年度 看護部教育目的
- 1) 地域住民の生活を見据えた質の高い看護実践能力を養う
 - 2) 専門職業人として研鑽に励み、能力開発・向上に努める姿勢を養う
- (2) 教育目標
- 1) 地域住民の生活と保健・医療・福祉をつなぐ質の高い看護能力を養う
 - 2) 看護職としての倫理的感性および判断力を養う
 - 3) 看護実践を支える管理能力、活用できる研究能力を養う

※ 別項業績集参照

- ・令和5年度 看護部院外発表一覧、および講習会受講・資格取得状況
- ・令和5年度 新人看護職員教育プログラム

令和5年度 院外発表一覧

演題：食欲不振を有した新型コロナ感染症患者への早期介入の必要性について

発表者：中村大介

第61回 全国自治体病院学会（北海道）

令和5年8月31日

演題：心臓サポートチームの活動と地域のつながり

～地域で生活する心不全患者の切れ目のないケアを目指して～

発表者：宇田洋海

第55回 滋賀県国保地域医療学会

令和5年11月5日

演題：心不全のチーム医療・地域連携（つながり）について

発表者：宇田洋海・谷口晋

第62回 高島市医療連携ネットワーク

令和5年6月18日

当院における心不全連携について

発表者：宇田洋海

高島市の心不全 地域連携を考える会

令和 5 年 12 月 7 日

演題：独居高齢がん患者の治療継続のための多職種連携

発表者：前川直美

第 33 回 日本がん看護学会学術集会

令和 6 年 2 月 24 日

演題：せん妄・転倒転落対策チームの活動報告

発表者：岡田裕子

高島市民病院 院内研究発表会

令和 6 年 3 月 1 日

演題：整形外科患者への看護の取り組み

発表者：高木祐輔・平井美江

高島市民病院 院内研究発表会

令和 6 年 3 月 1 日

演題：ABC 検診実施結果とその後 ～共済健診を通して見えてきたこと～

発表者：澤田さよ子

高島市民病院 院内研究発表会

令和 6 年 3 月 1 日

演題：心臓病サポートチーム（CST）の活動と地域連携について

発表者：饗庭友里子

第 7 地区支部 看護研究発表会

令和 6 年 3 月 2 日

演題：高齢者患者の不安に寄り添った退院支援の実践 ～病棟看護師の役割について～

発表者：木津真咲

第 7 地区支部 看護研究発表会

令和 6 年 3 月 2 日

演題：糖尿内科算定バッチリ隊 外来医事業務を担当する委託・派遣職員と協働！
診療報酬算定フローチャートの作成とコストナビゲーション育成の取り組み

発表者：村田裕子

第 41 回滋賀県インスリン治療懇話会

令和 6 年 3 月 23 日

<執筆>

糖尿病ケア[®] 春季増刊号

糖尿病看護 はじめてナビ メディカ出版

糖尿病合併症 糖尿病性腎症

村田裕子

<研修会受講・資格取得状況>

ファーストレベル 山本知世 久保田真

臨床実習指導者講習会 朝日留美 谷井峰子

看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 木村薫 宮田麻里

厚生労働省の定める看護職員認知症対応力向上研修 重田早紀 田村恵利 平井美江

認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修 安部美津子 郡嘉代子

重症度、医療・看護必要度評価者研修 小嶋緑 田中一美

新人看護職員支援者研修 研修責任者研修 竹田明美

令和 5 年度入退院支援看護師養成研修 橋本美咲

令和5年小児在宅移行支援指導育成研修 滋賀県看護協会 高岡絵里奈
 日本医療機能評価機構 JQ 医療安全管理者養成研修 生駒晶子 木下宏恵
 令和5年度 第9回 DMAT 隊員養成研修 村田拓夢
 令和5年度 近畿ブロック DMAT 技能維持・ロジスティクス研修 小林由佳
 医療メディエーター養成講座 導入・基礎編 天野明美
 CDEJ 糖尿用療養指導士 日本糖尿病療養指導士認定 村田裕子
 特定行為研修 荒川貴一
 2023年度がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2) 末武美里
 新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業
 滋賀県災害支援ナース養成研修 小林由佳 中村大介
 臨床研究の基礎知識講座 村田裕子
 思春期保健相談士 早瀬美歩
 ELNEC-J コアカリキュラム看護師育成プログラム終了 宮田麻里
 第15回下部尿路症状の排尿ケア講習会 朝日留美
 第2回排尿機能回復に向けた治療とケア講座 岡田裕子
 循環器病予防療養指導士 村田裕子
 腎臓リハビリテーションガイドライン講習会 安部美津子
 脳卒中相談窓口多職種講習会 橋本美咲

<授賞>

- ・ 滋賀県看護協会会長表彰 木村薫
- ・ 日本糖尿病教育・看護学会奨励賞 村田裕子

医療安全部

部長：武田 佳久（病院長、医療安全部部長）
 構成員：薬師川 ひとみ（専従医療安全管理者）
 村田 晶（主任放射線技師、兼務医療安全管理者）
 伊東 正文（地域医療支援部部長、地域医療支援部代表）
 福田 直美（看護部長、看護部代表）
 中井 正紀（医療技術部長、医療技術部代表）
 長谷川 善一（事務部長、事務部代表）

1. 業務基準

- (1) 各部門における医療安全対策の実施状況の評価に基づき、医療安全確保のための業務改善計画書を作成し、それに基づく医療安全対策の実施状況及び評価結果を記録する。
- (2) 医療安全管理委員会との連携状況、院内研修の実績、患者等の相談件数及び相談内容、相談後の取り扱い、その他の医療安全管理者の活動実績を記録する。
- (3) 医療安全対策に係る取り組みの評価等を行うカンファレンスを週1回程度開催し、医療安全管理委員会の構成員及び必要に応じて各部門の医療安全管理の担当者等と協議、検討する。

【業務内容】

- ・ 報告されたインシデント・アクシデントレポートの受理・管理
- ・ インシデント・アクシデントレポートの分析、改善策の検討、必要に応じて業務改善計画書の作成
- ・ システムの見直しやシステムの構築
- ・ 各部署における安全管理に関わる指導・助言・相談
- ・ 医療事故防止や医療安全推進等の安全管理に関わる調査活動
- ・ 医療安全に関する職員教育などの医療安全に関する業務
- ・ 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成・保管、その他委員会の庶務に関すること
- ・ 医療安全カンファレンスの開催(原則として毎月曜日)

・医療安全地域連携加算に関する相互ラウンド

2. 医療安全管理者の業務内容

- (1) 医療安全部の業務に関する企画立案及び評価を行う
- (2) 定期的に院内を巡回し、各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策を推進する
- (3) リスクマネージャーへの支援を行う
- (4) 医療安全対策の体制確保のため各部門との調整を行う
- (5) 医療安全対策に係る体制を確保するための職員研修を企画・実施する
- (6) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全対策に係る患者様・ご家族の相談に適切に応じる体制を支援する

3. 医療安全カンファレンスの開催状況と内容

令和5年度の開催状況(毎月曜日週1回程度、合計44回開催)

- ・令和4年度の医療安全研修会の受講状況と受講率の報告
- ・医療事故調査委員会の開催と調査報告
- ・報告書確認対策チームの活動開始について
- ・再入院・再手術の報告
- ・インシデント・アクシデント事例の報告、検討
- ・組織横断的な調整とその報告
- ・苦情・問い合わせ・等の報告と共有方法について検討
- ・マニュアルの改正についての検討
- ・研修会の開催企画、承認、評価
- ・データ分析の報告
- ・院内死亡事例の報告、検討
- ・医療安全推進週間の取り組みについての報告
- ・医療事故調査・支援センターからの提言の報告、配布について検討
- ・近畿厚生局立入検査、適時調査等で指摘された点の改善についての報告
- ・院内死亡事例の報告方法について
- ・医療安全対策地域連携について
- ・イントラリポスが輸液ポンプによる管理が必須なのかなどの検討について
- ・当院における「予期せぬ死亡事例」への対応について
- ・院内で発生した予期せぬ死亡対応フローチャートについて
- ・検査申し送り票の見直しと変更について
- ・透析室での有毒ガス(塩素ガス)発生のリスク調査について
- ・報告書確認対策チームからの報告(見落とし事例について)
- ・吸引器の接続に関する研修の開催について
- ・透析用洗浄液の変更について
- ・翼状針・採血ホルダー研修
- ・ペースメーカーのリコールについて
- ・身体抑制マニュアルの改訂について
- ・保健所立ち入り検査個別 指導事項について
- ・転倒転落後対策確認ラウンド開始について

4. 改善計画書の立案及び評価

医療安全に関わる改善事項を計画書として立案し評価する。

- ・医療安全マニュアルの改訂
 - 「アレルギー注意情報」の電子カルテの記載の改訂
 - 「医薬品安全使用のための業務手順書」の改訂
- ・末梢ルートロック方法(手順の見直し、研修を主任会へ依頼)
- ・院内で発生した予期せぬ死亡対応フローチャートと「捕捉」の作成
- ・検査申し送り票の見直し
- ・検体ラベルの取り扱いについて

- ・輸血同意書についての取り決め事項の改訂の依頼
- ・せん妄アセスメントシートの見直し

5. 院内ラウンドの実施

医療安全管理者の院内ラウンド
 医療安全部構成員の院内ラウンド

6. 医療安全情報の発行

医療安全情報配布 2回
 気づき新聞の発行(リスクマネージャー会) 12回

7. リスクマネージャー会および医療安全管理委員会等の開催

毎月、第4水曜日に開催(合計12回開催)
 各小グループのミーティング(不定期開催)

8. 院内研修会

新規採用職員対象研修	2回開催
医療安全管理委員会主催研修会	2回開催
医療機器安全管理委員会主催研修会	5回開催
放射線障害防止委員会主催研修	1回開催
報告書確認対策チーム主催研修	1回開催
透析機器安全管理委員会主催研修	1回開催
医療安全推進室主催研修	4回開催
医療安全推進室・感染防止対策室主催研修	1回開催

9. その他

令和4年度のインシデント・アクシデント数の集計

(1) 事故の危険度(レベル)×概要(ポジティブ含む)

概要×レベル	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3a	レベル 3b	レベル 4a, 4b	レベル 5	合計
薬剤	33	84	12	1	3	0	0	133
輸血	0	0	0	0	0	0	0	0
治療・処置	11	19	11	4	1	0	0	46
ドレーン・チューブ	6	15	14	14	1	0	0	50
検査	17	65	17	2	0	0	0	101
療養上の世話	4	37	4	12	0	0	0	57
医療機器等	9	12	5	1	0	0	0	27
転倒転落	0	155	71	25	4	0	0	255
その他	21	25	8	6	3	0	0	64
合計	101	412	142	65	12	0	0	733

(2) 事故の危険度（レベル）×発生月別

発生月×レベル	レベル 0	レベル 1	レベル 2	レベル 3a	レベル 3b	レベル 4a, 4b	レベル 5	合計
4月	8	27	10	4	0	0	0	49
5月	9	36	14	7	0	0	0	66
6月	12	36	12	5	1	0	0	66
7月	12	29	16	10	0	0	0	67
8月	10	36	9	5	0	0	0	60
9月	9	29	12	4	1	0	0	55
10月	8	27	10	2	2	0	0	50
11月	2	29	15	6	1	0	0	53
12月	7	36	12	7	2	0	0	64
1月	10	42	11	6	3	0	0	72
2月	7	44	9	5	0	0	0	65
3月	7	41	12	4	2	0	0	66
合計	101	412	142	65	12	0	1	733

感染防止対策室

室長：永江 徹也（高島市民病院長、感染防止対策室長）

構成員：重森 度（呼吸器医師）

清家 美香（感染防止対策室専従、感染制御実践看護師）

今井 幹子（薬剤センター）

中島 正次（臨床検査センター）

川島 枝梨菜（医事課）

令和3年6月に病院内の感染対策管理のため感染防止対策室が設置されました。また、高島地域の中核病院としての感染症対応の役割を果たすため、令和3年7月より感染防止対策加算1を取得、令和4年度の診療報酬改定により、マキノ病院・今津病院及び高島市医師会・高島保健所と連携をはかり、高島地域における感染症対策ネットワークを構築しています。

1. 業務内容

- 1) 院内サーベイランス業務
- 2) 病棟ラウンド
- 3) 抗菌薬の使用状況確認
- 4) 感染対策マニュアルの作成及び監査、改定
- 5) 院内感染防止のために必要な職員教育を行うこと
- 6) 病院各部門との連携
- 7) 高島医師会・高島保健所との連携

2. 合同カンファレンスの企画・開催

診療報酬で定められている年4回のカンファレンス実施に向けて、高島医師会と高島保健所とともに会議開催や今後の方針についての対応を協議しました。

3. 院内感染対策向上加算施設との感染症対策訓練

11月9日 N95 マスクフィッティングテストを実施しました。（参加者 23 名）

4. 看護部教育研修

各部署との連携して研修会を実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
7	7	看護補助者	手指消毒実習	補佐会・清家	15
	13				
12	1	全看護師	翼状針・採血フォルダー及び採血時の手指消毒のタイミングについて	医療安全推進室・清家	20

吸引器新規導入のための研修会を実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
2	26・28・29	全看護師	壁掛け吸引器の取り扱い	清家	25

5. 院内実習前感染対策研修会の開催

職場体験をする学生に向けて、感染対策についてをテーマに研修会を実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
6	19	高島学園 8 年生	職場体験をする前に～今からできる感染対策～	清家	4
10	23	湖西中学校 2 年生	職場体験をする前に～今からできる感染対策～	清家	2
1	31	安曇川高校 2 年生	インターンシップ 感染対策	清家	1

6. 湖西地域・感染症対策地域ネットワーク事業の実施

マキノ病院、今津病院の感染担当看護師、高島保健所の感染対策担当保健師とともに感染症対策

地域ネットワークの立ち上げに向けての検討会議を実施しました。介護施設への出前講座や研修を企画・実施しました。

会議

	日時	場所	内容	参加者
第1回	5月11日	高島市民病院	情報交換、今年度の研修について	清家
第2回	8月17日	高島保健所	情報交換、研修会の内容について検討及び役割分担	清家
第3回	10月13日	高島保健所	情報交換、研修会の資料提供及び流れの確認	清家
第4回	11月9日	今津病院	情報交換、出前講座の内容と担当について	清家
第5回	2月8日	高島市民病院	情報交換、今年度の振り返り、来年度の計画について	清家

湖西地域感染症対策研修会（計2回）

	月	日	場所	内容	担当者	参加者
第1回	10	27	高島保健所	「ノロウイルス対策～施設内感染対策マニュアルを見直してみよう～」講義、マニュアル作成	高島保健所、清家	10
第2回	2	17	高島保健所	「ノロウイルス対策～施設内感染対策マニュアルを見直してみよう～」演習	高島保健所、清家	10

出前講座

月	日	場所	内容	担当者	参加人数
11	22	特別養護老人ホーム	感染対策の基本と手洗い実習（外国人施設職員向け）	清家	6

7. 看護協会より依頼

感染制御ネットワーク事業の一環として、介護施設への研修を行いました。

月	日	場所	内容	担当者	参加人数
10	26	特別養護老人ホーム	介護施設における感染対策について	清家	13

地域医療支援部

1、地域医療連携室 看護師3名（2名兼務） 事務員2名 室長 末武 美里

地域医療支援病院としての地域医療の中心的役割を担う

かかりつけ医制度が始まって8年が経過し、令和5年度の平均紹介率は77%・逆紹介率104%と目標数値は達成できた。今年度は、エントランスホールの開業医の紹介パンフレットを刷新して運用をすることにした。開放型病床の稼働率は30%、訪問診療は4回であった。前方連携である転院調整は、転入58件（昨年度54件）、転出7件であった。感染対策として行っていた入院前のコロナの検査は必須ではなくなったが、水際対策として問診を行う業務は継続して実施している。

毎年10月に実施している診療所から診療依頼の外来予約までに要した時間の調査では、平均19分（昨年15分）であった。予約の取りにくい精神科と神経内科では市内の精神科のクリニックでも受診患者が増え新患の受け入れが困難な状況がある。クリニックの状況を確認するなど連携しながら紹介をしている。

2、入退院支援室 看護師3名（1名兼務）MSW4名（1名兼務） 室長 北野 栄美子

入院退院支援体制の強化と充実

令和4年度の地域包括ケア病棟の診療報酬の改定に伴い、令和5年6月より入退院支援加算2（190点）から入退院支援加算1（700点）に変更となった。病棟からの退院支援計画書の提出が1,723件あり、そのうち入退院支援加算2は140件（4月～5月）、入退院支援加算1は865件（6月～3月）を取得した。

COVID-19が5類となり面会制限が緩和されたこともあり、積極的に療養先の方向性カンファレ

ンスや退院前カンファレンスを行い197件実施した。(2022年度 167件)

今年度は新たにMSWを2名迎え病棟の退院支援を担当し、多職種カンファレンスや脳外、整形外科カンファレンスにも参加し多職種の方より指導も頂いている。今後も大切に育てていきたい。

3、患者相談支援室 看護師2名(1名兼務) MSW2名(1名兼務) 室長 末武 美里

相談支援体制の充実

8月から育休明けのMSWが復帰したタイミングで、外来相談業務を開設した。外来や救急外来からの相談に対応できるようにマニュアルやフローチャートを作成した。転入調整の患者の家族との入院前面談の実施や地域の事業所からの依頼への対応などを行っている。毎月1回ミーティングを行いメンバー間で情報共有や対策を話し合っている。

その他

2月17日市民公開講座を開催

《テーマ》

—「膵臓がん」について正しく知って正しく恐れよう— 演者 外科 中島先生、

—当院でできる治療・看護等の紹介— がん化学認定看護師前川 NS・緩和ケア認定看護師天野 NS

参加者：38名

《研修受講 資格》

がん相談員基礎講座受講 末武 入退院支援看護師養成研修 橋本

健診室

室長 澤田 さよ子

健診室は、高島市民や高島で働く方々の保健・医療のニーズに応じていくとともに、自身の健康状態を知り、病気を引き起こす可能性のある危険因子を早い段階で見つける予防医療の役割を担っています。

令和5年度の健診体制は、新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられたことから、経鼻内視鏡や呼吸機能検査を再開することができ、受診者の皆様のご希望にそえることができました。しかしながら感染がなくなったわけではないので、日々感染予防を念頭におきながら業務に努めました。

当健診センターでの受け入れ人数は健診内容により限られることから、受診者数を増やすことには限界があります。そのため、それぞれの受診者のご希望にできるだけ添えるようオプション内容の検討や特殊健診の対応などをし、受診単価を上げられるよう引き続き取り組むことにより、受診件数・収入額は前年度より増加しました。また、企業への案内パンフレット送付時にはオプション案内を同封するとともに、例年の受診者数や内視鏡の予約状況などをお知らせすることで、年度初めの閑散期の受診件数増加に努めました。人間ドックの受診件数も少しずつ増加しており、増収につながっています。

胃がん検診において、胃透視の検査説明および同意書がないため作成しました。事前に手順及びリスクを知っていただくことは安全にスムーズに検査が進められ、リスク回避にも役立ちます。

今後も受診者様が安心して安全に健診を受けることができるよう、また次年度以降も当健診室を利用して頂けるようプライバシーに配慮し、きめ細やかで丁寧な対応を心掛けていきます。

病院総務課

課長 中村 孝

病院総務課は、職員の人事、給与、福利厚生、庶務を主とする総務事務のほか、管理運営会議その他の各種会議の管理や、公用車の管理運用、院内託児所・病児保育室の運営、病院の防災・危機管理等々、幅広い業務を所管しています。常に他の部署との連携を密にして、病院経営が円滑に行われることを念頭に事務に取り組んでいます。

<主な取り組み内容>

- ・医師、看護師および薬剤師確保の取り組み
看護師および薬剤師確保のため、修学資金制度を活用し、年間を通じ人材確保に取り組みました。特に、看護師確保対策として、看護大学、専門学校の訪問、実習の受け入れ、専門学校への講師派遣等を精力的に行い、年度中採用および令和6年4月採用の看護師・助産師14人を確保しました。
- ・研修医確保の取り組み
臨床研修病院合同説明会（オンライン開催）への参加や、随時実施している病院見学希望者の受け入れ等により研修医確保に取り組み、令和6年度4月採用の臨床研修医3人を確保しました。
- ・災害時の適切な対応に向けての取り組み
災害時の職員用非常用飲料水・食料の備蓄について、令和4年度から4年計画で整備することとし、今年度の1年分を整備しました。

所掌事務

- ・職員の人事、給与および勤務条件に関すること。
- ・職員の保健衛生および安全管理に関すること。
- ・職員の研修に関すること。
- ・職員の福利厚生に関すること。
- ・臨床研修医等の研修の受入れに関すること。
- ・公務災害の手続に関すること
- ・市町村職員共済組合に関すること。
- ・職員組合に関すること。
- ・文書の收受、発送および保管に関すること。
- ・文書法規に関すること。
- ・公印の保管に関すること。
- ・管理運営会議その他の各種会議に関すること。
- ・総合案内に関すること。
- ・自動車の管理運用に関すること。
- ・寝具および洗濯業務に関すること。
- ・図書に関すること。
- ・院内託児所業務に関すること。
- ・病児保育業務に関すること。
- ・病院の防災および危機管理に関すること。
- ・他課に属さない事務に関すること。

経営統括課

課長 一井 恒伸

経営統括課は、医療機器や診療材料の購入、病院ホームページの管理、広報紙の発行、病院施設の維持管理のほか、予算・決算などの財務会計を所管し、経営の効率化と持続可能な病院運営の確立に取り組んでいます。

令和5年度は、新たに心臓リハビリシステムの導入や内視鏡システムを更新するなど、安心・安全の医療提供体制を確保するため、計画的に医療機器を整備しました。

また、本棟外壁改修工事や非常用発電設備のオーバーホールなど新病院開設後11年が経過した施設や装置の適正な維持管理に努めました。

その他、物価高騰など厳しい外部環境の中、病院経営の健全化を図るため、令和6年度から令和9年度を計画期間とする「高島市民病院経営強化プラン」の策定に取り組みました。

<主な取り組み内容>

- ・ 計画的な医療機器の整備
- ・ 適切な施設の維持管理
- ・ 高島市民病院経営強化プラン（令和6年度～令和9年度）の策定

所掌事務

- ・ 病院事業に係る企画および調整に関すること。
- ・ 総合調整および他機関との連絡調整に関すること。
- ・ 医療機器の整備および購入に関すること。
- ・ 不用物品の処分に関すること。
- ・ 調査、統計および広報に関すること。
- ・ その他企画、広報に関すること。
- ・ 警備取締りに関すること。
- ・ 電話交換業務に関すること。
- ・ 土地、建物および宿舍の維持管理に関すること。
- ・ 土地、施設の管理、整備および営繕に関すること。
- ・ 施設の整備および維持管理に関すること。
- ・ 清掃に関すること。
- ・ 医療廃棄物等廃棄物の処理に関すること。
- ・ 宿舍への入退居等に関すること。
- ・ 駐車場の管理に関すること。
- ・ 院内の売店運営に関すること。
- ・ 医薬品およびその他の物品の購入および検収に関すること。
- ・ 医薬品およびその他の物品の出納および保管に関すること。
- ・ 物品倉庫の管理に関すること。
- ・ 病院事業の予算および決算に関すること。
- ・ 公金の収納または支払に関すること。
- ・ 公金の保管に関すること。
- ・ 窓口の現金収納事務に関すること。
- ・ 財務諸表の作成に関すること。
- ・ 企業債および一時借入金に関すること。
- ・ 資金計画および財政計画に関すること。
- ・ 出納取扱金融機関に関すること。
- ・ 資産管理に関すること。
- ・ その他財務会計に関すること。

医事課

課長 柳森 和人

医事課の業務は受付・案内業務、病院収入の源である診療費の計算・保険請求業務、施設基準に関する業務、債権管理業務、また、貴重な診療情報を扱う業務としてシステムおよびカルテの管理業務、診療情報の開示業務、がん登録業務、診療統計業務と多岐にわたります。

令和5年度の主な取り組みとしましては、DPC対象病院としての取り組み、保険請求業務および未収金管理業務について適正に行いました。

また、令和6年度の診療報酬改定への対応として、説明会等に積極的に参加し情報収集に努め、院内での説明会の開催や電子カルテ掲示板等を活用して院内周知に努めました。

<主な取り組み内容>

・DPC対象病院としての取り組み

DPC対象病院として平成28年度より運用を開始し、日々の業務として診療内容とコーディングの整合性の確認やDPC点数と出来高請求の比較を実施しました。

また、適宜抽出した症例の診療内容とコーディングについて、DPCとコーディング委員会ならびに医療総合検討会において協議・検討し、コーディングの適正化を図りました。

・保険請求業務

医事業務の中心となる保険請求業務では、レセプト査定額の削減と請求漏れを防止するため、審査機関からの審査結果を分析し、その内容を関係者に周知しています。令和5年度は査定率0.2%以内の目標に対しまして、入院0.53%、外来0.10%という結果になりました。

・未収金管理業務

当課と総合受付、計算、会計窓口ならびに入院担当が連携することで、いち早く支払困難な患者と接触し、支払相談を実施するなど未収金の発生防止に努めてきました。また過年度の回収困難な未収金について、回収業務の委託契約を締結している法律事務所との連携により、収納実績に効果が出ています。

<新たな施設基準届出>

- ・排尿自立支援加算
- ・外来排尿自立指導料
- ・BRCA1/2遺伝子検査
- ・心大血管疾患リハビリテーション料（I）
- ・緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
- ・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）
- ・乳癌センチネルリンパ節生検加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）

所掌事務

- ・診療報酬請求の分析と管理に関すること
- ・医療事務委託業者の管理および指導に関すること
- ・レセプトオンライン請求に関すること
- ・へき地診療に関すること
- ・朽木診療所に関すること
- ・医業未収金に関すること
- ・妊婦健診・予防接種等の請求に関すること
- ・DPC対象病院に関すること
- ・感染症サーベイランスに関すること
- ・感染症の届出に関すること
- ・助産施設の届出に関すること
- ・診療録の開示に関すること
- ・医療情報システムの管理に関すること
- ・診療データに関すること

- ・病歴管理に関すること
- ・院内がん登録に関すること
- ・診療統計に関すること
- ・施設基準その他の許認可等に関すること

朽木診療所

所長 西田 早矢

朽木診療所は、国民健康保険高島市朽木診療所として、主に朽木地域における総合診療を担ってまいりました。平成 29 年 4 月からは高島市民病院朽木診療所として引き続き地域医療を提供しています。

朽木診療所では、外来(僻地)診療、訪問診療、往診が主な業務です。朽木地域には調剤薬局がないため、内服薬の処方院内で賄っています。また、地域の保健・福祉の関係機関と連携し、予防医療や健康増進に向けた取り組みにも参画しています。

今後も地域住民の健康を支えていけるよう取り組んでまいります。

[令和 5 年度 診療実績]

○外来延患者数	:	4,493 人
○往診・訪問診療	:	120 件
○在宅看取	:	5 件
○施設看取	:	0 件
○特定健診	:	43 件
○大腸がん検診	:	9 件
○予防接種	:	合計 720 件
(内訳)		
・小児各種予防接種		31 件
・インフルエンザ		
一般(小児含む)		15 件
高齢者		276 件
・コロナワクチン		377 件
・肺炎球菌ワクチン		12 件
・その他予防接種		9 件
○各種検査	:	合計 271 件
(内訳)		
・レントゲン撮影		148 件
・心電図		90 件
・腹部エコー		20 件
・心エコー		0 件
・胃カメラ		13 件

2. 委員会活動状況

経営改善推進本部兼管理運営会議

委員長 武田 佳久

委員 高山 博史 岡本 剛 永江 徹也 杉原 秀樹 伊東 正文 安藤 武 中島 研郎
水流 輝彦 川人 道夫 木上 裕輔 福田 直美 岡田 裕子 末武 美里 中井 正紀
長谷川 善一 奥野 直久 井上 昌司

目的

- (1) 病院の管理運営基本方針に関する決定
- (2) 病院の主要施策及び主要事業の計画・調整に関する決定
- (3) 病院管理運営の基幹的制度の制定及び改廃に関する決定
- (4) 管理運営会議で決定した事項ならびに重要な事業の執行状況に関すること
- (5) 会議・委員会報告の決定・承認に関すること
- (6) その他病院の管理運営上病院長が必要と認めること

協議事項等

- ・管理運営会議等の日程について
- ・各種会議・委員会の見直しおよび名簿の作成について
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う特殊勤務手当の取り扱いについて
- ・令和5年8月以降のオンライン診療について
- ・「びわ湖あさがおネット」ID取得研修会について
- ・入院患者の確保の状況について
- ・今後の病院経営・運営体制について
- ・高島市病院事業企業職員の特殊勤務手当支給の取り扱いについて
- ・入院患者の増加に向けた提案について
- ・オンライン診療に係る調査結果について
- ・高島市民病院経営強化プラン（素案）について
- ・年末年始の診療体制について
- ・院内研究発表会について
- ・コロナワクチンについて
- ・仕事始め式について
- ・能登半島地震における災害支援状況について
- ・令和6年度高島市病院事業会計予算について
- ・開業医等への訪問について

人権推進・倫理委員会

委員長 武田 佳久

委員 永江 徹也 福田 直美 末武 美里 齊藤 満 中島 正次 西村 朋美 長谷川 善一
奥野 直久 中村 孝 大塚 初美 森脇 博(院外委員)

目的

- (1) 差別のない明るい職場作りを構築するための基本となる施策に関すること
- (2) 人権問題に関すること
- (3) 倫理に関すること
- (4) 人権学習会に関すること
- (5) その他委員会が必要と認める事項

協議事項等

- ・食欲不振を有した新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者への早期介入の必要性について
- ・滋賀県内の前立腺癌診断契機に関する多施設共同調査（2022年診断例）

医療安全管理委員会

委員長 武田 佳久

委員 永江 徹也 木上 裕輔 福田 直美 末武 美里 中井 正紀 齋藤 満 長谷川 善一
高橋 有和 奥野 直久 藤縄 大志 長濱 崇 清家 美香 村田 晶 薬師川 ひとみ

リスクマネージャー

谷口 晋 朝日 留美 竹田 明美 郡 嘉代子 久保田 真 中村 大介 枝 大介
安部 美津子 水谷 清美 奥谷 豊弘 竹本 久代 高木 美由紀 竹林 亜弥香
宇佐見 ゆか 藤縄 大志 芝山 智子 足立 昌人 村田 晶 薬師川 ひとみ

透析機器安全管理委員会

永江 徹也 長濱 崇 藤縄 大志 安部 美津子 村田 晶

医療機器安全管理委員会

高橋 宏明 長濱 崇 竹本 久代 中島 正次 齋藤 満 薬師川ひとみ
村田 晶

医薬品安全管理委員会

永江 徹也 中井 正紀 高木 美由紀 竹田 明美 薬師川 ひとみ 村田 晶

放射線障害防止委員会

木上 裕輔 齋藤 満 井上 将行 水谷 清美 薬師川 ひとみ 村田 晶
一井 恒伸 衣川 はるか

報告書確認対策チーム

武田 佳久 木上 裕輔 井上 将行 秋永 佳那 薬師川 ひとみ 村田 晶

目的

- (1) 医療安全管理委員会の開催および運営
- (2) 医療に係る安全確保を目的とした報告で得られた事例の発生原因、再発防止対策の検討および職員への周知
- (3) 院内の医療事故防止活動および医療安全に関する職員研修の企画立案
- (4) その他、医療安全の確保に関する事項

協議事項等

- ・ リスクマネージャー会議の報告
- ・ 月別事故報告のまとめ
- ・ 令和4年度の事故報告のまとめ
- ・ 委員会内規の改訂
- ・ 令和5年度 年間計画
- ・ 令和5年度 医療安全研修会（eラーニング）の実施、受講率の集計
- ・ 医療安全マニュアルの改正
- ・ 医療安全ラウンドの実施と結果報告、検討
- ・ 医療巡視の実施と結果報告、検討
- ・ ポジティブインシデントの報告
- ・ 医療安全推進週間の取り組みの検討
- ・ 患者間違い事例の共有、対策の検討
- ・ インシデント・アクシデントの個別分析の報告、検討
- ・ 令和5年度の医療安全研修会の企画、検討
- ・ 医療安全情報の共有
- ・ 医療機器安全管理委員会報告
- ・ 透析機器安全管理委員会報告
- ・ 医薬品安全管理委員会報告
- ・ 放射線障害防止委員会報告
- ・ 報告書確認対策チーム報告
- ・ 医療安全管理者研修の受講について、診療部・看護部・リハビリテーション室・薬局・臨床工学室・中央検査室・放射線室・栄養管理室より合計11名受講
- ・ 院外研修の案内

- ・せん妄・転倒転落対策チーム結成
- ・摂食・嚥下チームの結成

【透析機器安全管理委員会】

開催 月 1 回
 活動内容 透析液清浄化管理報告、学習会の開催（院内研修会参照）など

【医療機器安全管理委員会】

開催 月 1 回
 活動内容 厚生労働省通達の自主回収の報告や各部署からの日常点検報告
 学習会の開催（院内研修会参照）など

【医薬品安全管理委員会】

開催 年 2 回
 活動内容 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成
 学習会の開催など

【放射線障害防止委員会】

開催 年 1 回
 活動内容 診療用放射線に関する情報収集、放射線診療従事者への伝達および病院管理者等への報告
 診療用放射線の利用に係る完全な管理のための研修の実施など

【報告書確認対策チーム】

開催 月 1 回
 活動内容 各部門における報告書管理の実施状況の評価など
 報告書管理を目的とした院内研修の実施

院内研修会

【医療安全研修会一覧：eラーニング】

日程	内容	参加数
2023年4月28日～ 11月30日	「患者誤認防止研修」	307名
2023年5月22日～ 12月31日	「医療機器の電気トラブル対策」	303名
2023年9月30日～ 2024年2月29日	「チームSTEPPS研修」	219名
2023年10月1日～ 2024年2月8日	「NPPV① 急性呼吸不全のNPPV療法」	196名
	「NPPV② 操作方法」	185名
	「NPPV③ マスクフィッティング」	182名
2024年1月22日～ 3月26日	「新規導入される輸液ポンプについて」	138名

2024年1月22日～ 3月26日	「 当院の血液浄化について 」	149名
2023年11月17日～ 2024年2月8日 2023年11月15日（集合研 修）	「 吸引機の使用法 」	154名 18名
2024年3月7日、21日 （集合研修）	「 排尿障害マネジメント 」	42名
2024年2月27日（集合研 修）	「 CVポート研修 」	17名

【診療用放射線に係わる安全管理のための職員研修：eラーニング】

日程	内容	参加数
2024年2月6日～3月26日	「 診療用放射線の安全管理 」	124名

【報告書確認対策に係わる安全管理のための職員研修：eラーニング】

日程	内容	参加数
2024年2月6日～3月26日	「 報告書確認対策 」	125名

その他

【感染防止対策室・医療安全推進室】

日程	内容	参加数
2023年12月1日 （集合研修）	「 翼状針・採血フォルダ研修 」	20名

【新規採用職員対象医療安全研修】

日程	内容	参加数
2023年4月3日	新規採用職員オリエンテーション	22名
2022年4月4日	看護部新人看護職員研修	16名

救急医療対策・災害対策委員会

委員長 伊東 正文

委員 谷口 晋 福沢 綾子 倉田 佳彦 梅本 啓央 小島 克 木下 貴長 井上 将行
 船木 克哉 竹内 優子 橋本 一希 上原 珠美 山口真有美 宇田 洋海 兼先 真理
 橋本 祐樹 井出 啓輔 西川 慶輔 村田 拓夢 長谷川善一 中村 孝 横辻 敦子
 渡邊 温士 松井 宏彰 奥谷 豊弘

目的

- (1) 救急医療体制に関する調査研修
- (2) 救急医療に伴う医療体制・医療機器等の調整・改善に関すること
- (3) 防災計画の策定及び改廃に関すること
- (4) 災害時の診療体制の整備、方針に関すること
- (5) 防災諸規定の整備に関すること
- (6) 防災設備の改善及び強化に関すること
- (7) 防災訓練に関すること
- (8) 防災教育及び広報に関すること

協議事項等

- ・ 令和5年度救急、災害対策各種訓練、研修の担当者割り当てとスケジュールについて
- ・ 患者用備蓄食品購入計画＋職員用備蓄食品購入計画について
- ・ 災害備蓄倉庫の整備点検について
- ・ 総合防災訓練の実施について

令和5年度 各種研修会等活動実績

研修等の名称	対象者	日程	参加者
BLS 研修①	新任職員	4月	19人
病院での災害医療を学ぼう (トリアージタグ記入方法)	全職員	8月29日、9月12日	67人
1次・2次トリアージ研修			
搬送訓練＋避難経路訓練	全職員	10月5日	22人
備蓄倉庫の備品点検	担当委員	9月15日、10月24日	委員4人
総合防災訓練	全職員	10月29日	97人
消防訓練（通報、初期消火、避難訓練）	全職員	11月22日	24人
被ばく医療対応研修 ・ 医療機関での初期対応についての研修動画視聴 ・ 養生実習 ・ 防護衣着脱実習	全職員	11月1日～11月30日	107人
		11月28日	19人
		11月29日	18人
BLS 研修②	全職員	12月11日	24人
避難訓練	院内託児所・関係部署	3月21日	10人

※ 災対本部机上訓練等については、資料配布(対象者22人)を行い研修、訓練とした。

労働安全衛生委員会

委員長 渡邊 武志

委員 武田 佳久 永江 徹也 岡本 剛 杉原 秀樹 小嶋 克 福田 直美 齊藤 育代
井上 将行 北川 浩也 濱田 薫子 岡田 めぐみ 上田 彩希 柳森 和人 中村 孝
横辻 敦子 衣川 はるか

目的

- (1) 職員の健康障害を防止するための基本となるべき対策に関すること
- (2) 職員の健康保持増進を図るための基本となるべき対策に関すること
- (3) 労働災害の原因・再発防止で衛生に関すること
- (4) 衛生教育の計画作成・実施
- (5) 定期健康診断の結果およびその結果に対する対策に関すること
- (6) 健康障害防止に関すること
- (7) その他委員会が必要と認めたこと

協議事項等

- ・委員会内規確認・副委員長の選出について
- ・労務災害、汚染事故報告
- ・HB ワクチン・麻疹ワクチンの接種について
- ・院内巡視の実施
- ・職員の時間外勤務状況
- ・ストレスチェック実施について
- ・ストレスチェックの実施方法の変更について
- ・職員満足度調査の実施について
- ・職員インフルエンザ予防接種について
- ・外部被ばく線量の管理状況報告について
- ・組合代表からの報告について
- ・労働基準監督署による電離放射線量測定についての調査の実施について
- ・職員の喫煙状況について
- ・職員の禁煙外来の受診勧奨について
- ・病院外施設における汚染事故発生時の対応について

院内感染対策委員会 (ICC)

委員長 永江 徹也

委員 武田 佳久 重森 度 長谷川 善一 福田 直美 木下 貴長 中島 正次 岡田 裕子
木村 薫 生駒 晶子 土肥 志のぶ 木下 宏恵 黒丸 昌美 山極 恵子 齊藤 育代
水谷 清美 家守 秀和 橋本 亜由子 清家 美香

目的

- (1) 院内感染対策指針及びマニュアルの承認
- (2) 院内感染の発生を未然に防止する予防対策に関すること
- (3) 院内感染が発生した場合における救急対策に関すること
- (4) 院内感染に関連し職員の健康管理に関すること
- (5) 院内感染防止のために必要な職員教育を行うこと
- (6) その他委員会が必要と認めること

協議事項

- ・院内感染の発生状況
- ・病棟別感染状況
- ・抗菌薬の使用状況

- ・院内ラウンドの報告
- ・研修会について
- ・マニュアルの改訂
- ・新型コロナウイルス感染対策本部からの検討と報告

研修会開催

- ・下記のテーマで実施

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
4	3	新入職者	新入職者オリエンテーション	清家	23
	4	新人看護職員	感染症対策について	清家・林	17
12	15	全職員	知って得する感染症	倉田医師	160 (43)
1	31	全職員	ノロウイルス感染症について	大澤・清家	94 (102)

() 内はハイブリッドを含んだ当日参加人数

ICT：院内感染対策チーム

医師：重森 度、大澤 真（滋賀医科大学附属病院感染制御部）

看護師：福田 直美、木下 宏恵、黒丸 昌美、清家 美香

検査技師：中島 正次、藤井 莉奈

薬剤師：今井 幹子

事務：川島 枝梨菜

ICTは院長直属の組織として組織横断的に活動を行い、感染対策を推進する中心的役割を果たします。

院内感染対策の中心的役割を担う必要があり、当院の場合、ICDをリーダーとし、看護部長・看護師長、薬剤師、臨床検査技師、事務、感染管理認定看護師、感染防止対策室看護師で構成されています。

令和4年度より、感染防止対策向上加算における連携病院である滋賀医科大学附属病院 感染制御部より非常勤医師が着任され、当院の感染対策について助言をいただいています。

業務内容

- 1) 年間計画の立案、実施、評価
- 2) サーベイランス業務（院内感染の現状把握）
- 3) 病棟ラウンド（病院環境の汚染状況把握、感染症発生時の対応）
- 4) 抗菌薬使用状況の確認
- 5) 感染対策マニュアルの作成および監査、改訂
- 6) 教育（少なくとも年2回程度研修）
- 7) 病院各部門との連携

病院連携

高島地域における感染対策向上加算に登録されている医療機関、高島医師会及び高島保健所とともに年4回の合同カンファレンスを実施しました。また、感染対策向上加算による地域連携加算として滋賀医科大学医学部附属病院との相互ラウンドを実施しました。

- ・感染対策向上加算 合同カンファレンス

各施設における「薬剤耐性菌報告」、「抗菌薬使用状況」、「手指消毒使用量」をそれぞれ報告、感染症対策にまつわる検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じて、Webによるカンファレンスを行いました。

日時	場所	参加者
5月11日	高島市民病院 大会議室	重森 度、藤井 莉奈、今井 幹子、清家 美香
8月10日	マキノ病院 会議室	倉田 佳彦、中島 正次、今井 幹子、清家 美香
11月9日	今津病院 会議室	倉田 佳彦、中島 正次、藤井 莉奈、今井 幹子、清家 美香
2月8日	高島市民病院 大会議室	中島 正次、今井 幹子、清家 美香

- ・感染防止対策地域連携病院 感染相互ラウンド

感染防止対策地域連携施設である滋賀医科大学医学部附属病院と相互に1-1連携医療機関ラウンドを実施しました。

日時	場所	参加者
11月1日	高島市民病院	倉田 佳彦、中島 正次、藤井 莉奈、今井 幹子、清家 美香
12月6日	滋賀医科大学医学部附属病院	重森 度、中島 正次、藤井 莉奈、今井 幹子、清家 美香

研修

院内感染対策委員会とともに研修会を実施しました。令和5年度はICD及び滋賀医科大学附属病院感染制御部からの非常勤医師に講師を依頼し、年2回全職員参加が義務つけられている研修会を実施しました。感染対策のため会場参加人数を制限していたため、会場とWEBのハイブリット形式での研修開催としました。

(研修内容については、院内感染対策委員会に表記)

AST：抗菌薬適正使用チーム

医師：倉田 佳彦、重森 度、大澤 真（滋賀医科大学附属病院感染制御部）

看護師：清家 美香

検査技師：中島 正次、藤井 莉奈

薬剤師：今井 幹子

令和4年度より感染対策向上加算1施設において、AST活動が必須となりました。前年度よりAST活動を行っていましたが、正式にチームを発足しラウンドを行うこととなりました。

個々の患者に対して主治医が抗菌薬を使用する際、最大限の治療効果を導くと同時に、有害事象をできるだけ最小限にとどめ、早期に感染症診療が治療できる（最適化する）様に協調的支援を行います。

業務内容

- 1) 早期モニタリング
- 2) 定期モニタリング（AST ラウンド）
- 3) 抗菌薬適正使用マニュアルの作成、定期的な改訂
- 4) 院内採用抗菌薬の定期的な見直し
- 5) 抗菌薬適正使用にまつわる研修の実施

・ラウンド実績（月別 ラウンド実施患者数）

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介入人数(継続含む)	18	22	26	19	38	16	24	26	16	24	20	14	263

研修

抗菌薬適正使用にまつわる研修会を企画、実施しました。

月	日	対象	テーマ	担当者	参加人数
1月	6日から	全職員	血液培養方法について	Eラーニング	190
3月	31日	全職員	血液培養結果の見方	Eラーニング	184

褥瘡対策委員会

委員長 梅本啓央

委員 伊東 正文 梅本啓央 中島研郎 荒川 貴一 木原 裕美 早藤徳子 福島ひな子
北野真由 沢井莉奈 池田省一郎 森江 三千秋 梅村美佐希 本間莉奈 木村 薫

目的

- (1) 褥瘡発生危険因子と発生状況の把握
- (2) 褥瘡予防及び対策に関すること スキンケアに関すること
- (3) その他委員会の目的達成に必要なこと

活動内容

- (1) 褥瘡対策委員会は別に定める様式による報告を求め、次の事項について企画・立案・調査・審議をする。
 - ・褥瘡リスク患者のアセスメントとケア計画に関する事項
 - ・褥瘡が発生した患者様に対する診療計画に関する事項
 - ・褥瘡及び合併する感染予防の実施・監視・報告に関する事項
 - ・診療報酬点数上の管理、体圧分散寝具の購入、管理に関する事項
 - ・褥瘡予防に係る情報に関する事項
 - ・栄養アセスメントに関する事項
 - ・
- (2) 月1回定例会議を開催し、問題点の明確化と早急な対応を行う。
- (3) 褥瘡リスク患者のアセスメント、ケア計画、院内褥瘡計画の実態調査を行い、褥瘡保有率、褥瘡発生率と発生部位を明らかにし、発生原因を追及して、褥瘡発生予防に取り組む。
- (4) 月1回褥瘡回診を行っていたが10月より毎週月曜日外科 Dr が協力していただけるようになり、褥瘡への取り組みが強化できた。
- (5) 体交枕、三角枕の更新、下肢枕の新規購入により褥瘡発生予防のための物品整備を行った

開催状況

- ・委員会開催回数 12回
- ・褥瘡回診月1回程度開催（10月より毎週月曜日）
- ・褥瘡発生時カンファレンス適宜開催

年間推定褥瘡発生率：3.5% 年間有病率平均：6.4%

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
発生率	5.2	8.2	3.0	4.1	2.4	2.0	3.9	2.5	3.3	2.9	3.0	2.5
有病率	9.7	14.6	4.6	4.7	6.0	5.3	6.5	3.1	4.6	6.0	4.8	3.5

栄養管理・NST委員会

委員長 高橋 有和

委員 杉原 秀樹 徳持 翔太 金岡 智也 田淵 友理
越野さおり 保木 砂樹 西川 慶輔 松本茉莉花 和久野祥子 森脇 絢也
濱田 薫子 家守 秀和 村木 雅哉 棟方 佐織 橋本亜由子 竹林亜弥香

目的

- (1) 入院時食事療養の充実に関すること
- (2) 栄養管理の充実に関すること
- (3) 栄養アセスメントに関すること
- (4) 栄養管理の施行管理に関すること
- (5) その他、委員会の目的達成に必要なこと

開催状況

- ・委員会：毎月1回（入院時食事療養小委員会 3回/年）
- ・NST ラウンド：毎週1回（月曜日14：30より）※NST 加算算定なし

NST ラウンドの報告

介入患者数 62名（男性33名・女性29名）
平均年齢 82.5歳
平均介入回数 4回

入院時食事療養小委員会報告

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う食事提供方法の検討
配膳車の更新
委託給食業者と栄養管理室の給食会議の発足

研修会

令和5年11月6日 「配合経腸用液イノラスについて」（対象：委員会構成員）

治験委員会

委員長 渡邊 武志
委員 武田 佳久 安藤 武 水流 輝彦 永江 徹也 福田 直美 中島 正次
柳森 和人 中野 信男 木下 貴長

R5年度は委員会開催なし

新規医療技術・医療機器・診療材料検討委員会

委員長 水流 輝彦
委員 渡邊 武志 福沢 綾子 重森 度 末武 美里 山極 恵子 川合 久和 太田 裕子
棟田 敦 中井 正紀 柳森 和人 一井 恒伸 辻 愛美 松井 宏彰

目的

- (1) 当院にとって新規の医療技術・医療機器・診療材料について、診療面・看護面・医療技術面・経営面から当院への導入の可否を検討
- (2) 新規医療機器・診療材料の購入に関する審議
- (3) 医療機器・診療材料の有効利用、整備および管理に関すること
- (4) その他医療機器・診療材料に関して必要な事項

協議事項等

- ・令和6年度整備医療機器について
各部署からの要求について審議
令和6年度に整備が必要と考える機器を意見書としてまとめる
- ・令和6年度整備医療機器の決定にかかる今後の予定
- ・医療機器の機種選定について

薬事・輸血委員会

委員長 永江 徹也

委員 大音 泰介 花田 哲郎（山中 弘之・田中 佑治） 木下 貴長 木下 宏恵
生駒 晶子 山口 真有美 柳森 和人 芝山 智子 中島 正次

目的

- (1) 医薬品の採否に関する事
- (2) 医薬品の処方、調剤、補給、製剤に関する事
- (3) ワクチンの保管・管理に関する事
- (4) 輸血業務・血液製剤投与が安全・適正・円滑に行われているか定期的に点検し指導する
- (5) 必要に応じて業務・マニュアルの見直しをする
- (6) 輸血・血液製剤投与事故発生時に適切な対応をするように援助する
- (7) その他、委員会の目的達成に必要な事項

協議事項等

- ・ 医薬品、ワクチンに関する報告
- ・ 採用依頼、患者指定、院外登録、採用区分変更等の承認
- ・ 血液製剤の廃棄・キャンセルの報告
- ・ 血液製剤（RBC, FFP, 血小板）の廃棄率について
- ・ 血漿製剤・アルブミン製剤の適正使用について
- ・ マニュアルの改訂に関する検討
- ・ 血液製剤の在庫数の検討

臨床検査適正化委員会

委員長 高橋 宏明

委員 杉原 秀樹 水谷 清美 中島 正次 大橋 信也 竹内 優子

目的

- (1) 検体検査の精度管理に関する事
- (2) 精度管理事業への参画に関する事
- (3) 保険診療・安全管理の為に適正に臨床検査が実施されているかの確認と指導に関する事
- (4) その他必要な事項

協議事項等

- ・ 副委員長選出
- ・ ALP・TSH の IFCC へ完全移行
- ・ P-AMY 院内実施
- ・ IL-6 の外注委託
- ・ コロナ PCR の現状
- ・ ガストリン検査新規受託開始
- ・ QFT 採血時間
- ・ 血液製剤の院内在庫数
- ・ 遊離 B-HCG 受託再開
- ・ トロポニン I 報告値の上限
- ・ コロナ抗原定性試薬の検討
- ・ コロナ抗原・インフルエンザ抗原定性検査開始
- ・ 尿定性・尿中有形成分分析装置の更新

- ・C-ペプチドの出検方法
- ・タスクシフト講習会受講完了者
- ・細菌培養感受性試験の薬剤変更
- ・令和6年度整備予定医療機器
- ・検査室内人事
- ・血液培養院内実施に伴う検討
- ・フェリチン測定機器変更に伴う検討
- ・CA125 院内実施に伴う検討
- ・サーベイ実施結果
- ・機器保守点検

臨床研修委員会

委員長 高橋 有和

委員 武田 佳久 岡本 剛 市川 正春 永江 徹也 谷口 晋 川人 道夫 伊東 正文
安藤 武 水流 輝彦 福田 直美 中井 正紀 中村 孝 衣川 はるか

目的

- (1) 臨床研修管理に関すること
- (2) 臨床研修プログラム作成、改善に関すること
- (3) 臨床研修医の評価、修了認定に関すること
- (4) 協力型研修病院および協力と施設との連絡調整
- (5) 滋賀医科大学等からの学外実習受け入れについて
- (6) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・臨床研修プログラム(令和6年度採用版)について
- ・在籍臨床研修医のスケジュールおよび研修状況について
- ・令和6年度採用臨床研修医の募集開始について
- ・令和6年度採用臨床研修医の応募状況について
- ・令和6年度採用臨床研修医の内定者について
- ・令和7年度臨床研修医の募集定員について
- ・C P Cの開催について
- ・病院見学の状況について
- ・臨床研修医の処遇について
- ・ローテーションの見直しについて
- ・卒後臨床研修プログラム責任者講習会の修了について
- ・レジナビ2024オンラインへの参加について
- ・臨床研修病院としての課題について
- ・臨床研修委員会への臨床研修医の参加について

委員会実績

- ・レジナビオンライン滋賀2023・・・令和5年6月10日 オンラインにて合同説明会実施
高橋Dr、田中研修医、高鳥研修医、衣川参加
- ・滋賀県地域医療フォーラム・・・令和6年3月9日 オンラインにて合同説明会実施
谷口Dr、木檜研修医、衣川参加
- ・医大生病院見学対応・・・滋賀医科大学医学部、大阪医科薬科大学医学部、大阪大学医学部、福井大学医学部 計7名
医学生・卒業生病院見学の受け入れ

臨床研修管理委員会

委員長 高橋 有和

委員 武田 佳久 永江 徹也 岡本 剛 伊東 正文 谷口 晋 水流 輝彦 堤 美紗子
安藤 武 長谷川 善一 衣川 はるか

(協力型病院等より) 森田 豊 栗本 藤基 石田 展弥 藤田 浩平 村上 節 中村 芳美

目的

- (1) 研修プログラムの作成、変更に係る統括管理
- (2) 研修医の採用、中断、終了に係る統括管理
- (3) 指導医の研修指導進捗状況の把握、評価
- (4) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・臨床研修医 1 年目・2 年目の研修スケジュールについて
- ・令和 5 年度における臨床研修プログラム実施状況について
- ・臨床病理検討会 (C P C) の実施状況について
- ・令和 6 年 4 月 1 日採用の臨床研修医の状況について
- ・令和 5 年度臨床研修費等補助金について
- ・臨床研修医 2 年目研修医の総括評価・修了判定について
- ・令和 6 年 4 月 1 日採用の臨床研修医の採用状況について
- ・令和 6 年度研修開始の臨床研修医の 4 月からの研修内容について
- ・令和 7 年度募集臨床研修プログラムについてと募集定員について

専門研修プログラム管理委員会

委員長 伊東 正文

委員 武田 佳久 谷口 晋 大音 泰介 中井 正紀 末武 美里 中村 孝 衣川 はるか
(協力病院より) 下戸 学

目的

- (1) 専門研修プログラムの作成に係る統括管理
- (2) 専門研修プログラムの更新に係る審議
- (3) 研修記録、統括的評価に基づく専門医認定申請のための終了判定
- (4) 次年度の専攻医受け入れ数の決定
- (5) 次年度の専門研修プログラム応募者の採否決定
- (6) 各専門研修施設の指導報告
- (7) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・高島市民病院総合診療専門研修プログラムについて
- ・令和 6 年度採用専攻医について

地域連携・入院調整委員会

委員長 伊東 正文

委員 末武 美里 木村 薫 生駒 晶子 土肥 志のぶ 木下 宏恵 黒丸 昌美 遠藤 成美
田中 郁子 清水 一美 川島 枝梨菜 高木 美由紀 藤本 栄江 北野 栄美子

目的

- (1) 長期入院患者及び長期入院が予測される患者の把握と対策
- (2) 在院日数の適正化への企画・調整
- (3) 満床の場合の応需対策、空床の場合の患者確保対策等病床の有効な運用
- (4) 地域連携に関すること
- (5) 地域包括ケア病棟に関すること
- (6) 地域医療支援病院に関すること
- (7) 介護老人保健施設に関すること
- (7) その他地域連携の推進に必要なこと

協議事項等

- ・ 入退院支援加算 1 の算定要件について
- ・ 入退院支援ルール、フィードバック報告書について
- ・ 在宅療養後方支援病院の登録について
- ・ 入退院コーナーの表示や整理券配布について
- ・ 酸素使用中患者の転院時の移動手段について
- ・ 介護老人保健施設入所調整時の内服薬について

ホームページ・広報・図書委員会

委員長 一井 恒伸

委員 高橋 宏明 倉田 佳彦 富田 智子 川合 久和 田中 伸明 足立 悠貴 横辻 敦子
衣川はるか 大辻 陸人

目的

- (1) ホームページの管理、維持、更新に関すること
- (2) 出版物・広報誌・年報等の企画立案・情報収集・情報整理および原稿収集に関すること
- (3) 地域住民および患者様への広報に関すること
- (4) 院内広報誌の発行に関すること
- (5) 図書室に関する運営および図書の購入計画・整理に関すること
- (6) その他委員会の目的達成に必要なとする事項

協議事項等

- ・ 職員向け広報紙「ひろば」の発行（年 2 回：6 月、1 月）
- ・ 高島市広報誌「広報たかしま」について
- ・ 今年度の活動予定について
- ・ 図書の年間購読について
- ・ 広報活動についての報告

委員会実績

- ・ 患者様向け広報「びょういんだより」の発行→1 階総合案内に配置(高島市役所へも配布)：年 12 回
- ・ 高島市発行広報誌「広報たかしま」へ原稿提供：年 12 回
- ・ 院内向け広報誌「ひろば」の発行：年 2 回
- ・ ホームページの検討・作成・更新：随時
- ・ 院内購入図書の検討：年 1 回

患者サービス改善委員会

委員長 徳持 翔太
委員 橋本 美咲 村田 裕子 梅村 美佐希 兼先 勇佑 吉田 圭佑 安井 公望
渡邊 温士 辻 愛美 柳川 環実 中村 昌弘 奥谷 豊弘

目的

- (1) 意見箱に関する事
- (2) 苦情に関する事
- (3) 療養環境整備に関する事
- (4) 患者サービス改善に関する事
- (5) その他患者中心医療の推進に関する事

協議事項等

- ・ 委員会の運営について
- ・ 副委員長の選任について
- ・ 患者満足度調査について

委員会実績

10月18日～20日 患者さま満足度調査実施（入院・外来）

個人情報保護委員会

委員長 木上 裕輔
委員 谷口 晋 末武 美里 黒丸 昌美 清水 一美 柳川 環実 志村 一人 中村 昌弘
鳥本 菜々子 大橋 信也

目的

- (1) 個人情報保護法に基づく方針に基づく個人情報保護に関する事
- (2) 個人情報保護規程に基づく個人情報保護に関する事
- (3) その他個人情報保護に関する事

手術室運営・医療ガス管理委員会

委員長 川人 道夫
委員 岡本 剛 伊東 正文 中島 研郎 花田 哲朗 水流 輝彦 徳持 翔太 木村 薫
河原田 勝也 宇田 洋海 宮川 晃也 伊藤 悠平 秋永 佳那 松井 宏彰 山極 恵子

目的

- (1) 手術に関して診療部門および看護部門や医療技術部門との連携・調整に関する事
- (2) 医療ガス・薬品等手術に関する管理及び安全確保に関する事

協議事項等

- ・ 手術実績報告
- ・ 麻酔科体制について
- ・ 滋賀医大麻酔科対応時の運用について
- ・ 基本の麻酔科枠の制定について
- ・ 手術スケジュールの調整について

- ・アクシデント・インシデント報告と対応
- ・医療ガス等点検の確認
- ・設備・機器等の保守、点検、修理、更新、新規購入について
- ・手術室麻薬運用マニュアルについて
- ・手術室の清潔管理、安全管理、感染対策について
- ・救急救命士の気管内挿管実習の受け入れについて

放射線障害防止委員会

委員長 木上裕輔

委員 薬師川ひとみ、水谷清美、齋藤満、村田晶、一井恒伸、衣川はるか、井上将行

目的

委員会は次の各号に掲げる項目を目的とし運営する。

1. 放射線安全対策に係る調査、研究に関すること
2. 放射線安全対策に係る教育、指導、訓練に関すること
3. 放射線安全対策関係法令に基づく運用審議に関すること
4. その他委員会が必要と認めたこと

委員会活動（協議事項等）

- 以下の各種線量計の校正、点検実施（2023年7月31日～2023年11月6日実施）
 - α/β線用シンチレーションサーベイメーター
 - γ線用シンチレーションサーベイメーター
 - GMサーベイメーター
 - 電離箱サーベイメーター
 - 原子力災害関連の各種測定器
- 漏洩線量測定実施
 - 1回目・・2023年5月18日～7月3日の期間に実施
 - 2回目・・2023年11月14日～12月25日の期間に実施
- 診療用放射線による医療被ばくの線量評価について
 - 据置型デジタル式血管撮影用X線透視診断装置、全身用X線CT診断装置、診療用放射性同位元素について、診断参考レベルを用いて線量評価を実施
- 「放射線診療に従事する者に対する診療用放射線の利用に係る安全管理の為の研修」実施
 - 対象：放射線業務従事者を含む全職員
 - 方法：eラーニング研修
 - 期間：2024年2月6日（火）～3月25日（月）
 - 総受講者数 124名
 - 受講者／放射線業務従事者 63名／85名 受講率 74%
- 「高島市民病院診療用放射線の安全利用規則」の制定
 - 施行日は2024（令和6）年1月1日

研修委員会

委員長 福沢 綾子 副委員長 木上 裕輔
委員 川人 道夫 松村 健司 村田 晶 岡田めぐみ 横田美菜子 水口 貴良 宮川 晃也
生駒 晶子 早藤砂緒里 奥野 直久 志村 一人 奥村 志保 岡田 佑子 中村 孝
横辻 敦子

目的

- (1) 院内の全職員に共通して考えられる教育・研修の計画に関する事
- (2) 各部門の教育・研修の統括に関する事
- (3) 研修会の結果・評価に関する事
- (4) 海外研修の基準・実施要項の策定および研修者の選考に関する事
- (5) その他、委員会の目的達成に必要なとする事項

協議事項等

- ・ 副委員長の選出
- ・ 今年度の活動について
- ・ 画像カンファレンスについて
- ・ 合同症例検討会について
- ・ 院内研究発表会について
- ・ 院内研究発表会での委員役割分担

合同症例検討会・救急症例検討会・画像カンファレンスの開催

2か月に1回奇数月第4木曜日に開催

開催日

- ・ 令和5年5月25日（木）
令和4年11月～5年2月までの死亡症例2例、救急症例2例について検証
画像カンファレンス：頭部CT/MRIで遭遇する正常異形
参加人数 28名
- ・ 令和5年8月24日（木）
令和5年3月～6月の死亡症例1例、救急症例1例について検証
参加人数 25名
- ・ 令和5年9月28日（木）
令和5年7月～8月の死亡症例1例、救急症例3例について検証
画像カンファレンス：CTでみられるアーチファクト
参加人数 22名
- ・ 令和5年11月30日
令和5年9月～10月の死亡症例1例、救急症例1例について検証
参加人数 17名
- ・ 令和6年1月25日
令和5年11月～12月の死亡症例2例、救急症例1例について検証
画像カンファレンス：メッケル憩室
参加人数 25名
- ・ 令和6年3月28日
令和6年1月～2月の死亡症例1例、救急症例2例について検証
参加人数 19名

令和5年度院内研究発表会の開催

令和6年3月1日（金） 15：00～17：45

参加人数 62名
演題 (発表順)

- ①『活動報告～整形外科患者への看護の取り組み～』
4 東病棟 高木 祐輔・平井 美江
- ②『せん妄・転倒転落対策チームの活動報告』
せん妄・転倒転落対策チーム 副看護部長 岡田 裕子
- ③『ABC 検診実施結果とその後～共済健診を通して見えてきたこと～』
検診センター 看護師長 澤田 さよ子
- ④『湖西圏域における栄養士の地域連携について』
栄養管理室 管理栄養士 竹林 亜弥香
- ⑤『当院における画像診断報告書の確認状況について』
画像診断センター 診療放射線技師長補佐 井上 将行
- ⑥『アシクロビル投与による腎障害および脳症を来した1例』
臨床研修医 田中 洋子
- ⑦『静脈路確保に影響を与える因子と成功率からみる今後の取り組みについて』
高島市北部消防署 多胡 暁

最優秀賞：井上将行

病院機能評価委員会

委員長	安藤 武							
委員	徳持 翔太	福田 直美	岡田 裕子	水谷 清美	土肥志のぶ	黒丸 昌美	木村 薫	
	斉藤 育代	山極 恵子	生駒 晶子	木下 宏恵	薬師川ひとみ	清家 美香	橋本亜由子	
	今井 幹子	家守 秀知	村木 雅哉	兼田 加代	長濱 崇	大塚 初美	奥野 直久	
	一井 恒伸	柳森 和人	中村 孝	松井 宏彰	大橋 信也	大辻 陸人		

目的

- (1) 病院機能評価認定取得に関する事
- (2) 病院機能評価認定更新に関する事
- (3) 病院機能評価審査項目に関し、院内改善必要事項に関する事
- (4) その他委員会の目的達成に必要なとする事項

協議事項等

- ・ 総合マニュアルの見直しについて
- ・ 自己評価調査票について
- ・ サーベイヤ派遣およびその結果について
- ・ 受審に向けた準備およびスケジュールについて
- ・ 訪問審査後の振り返りについて
- ・ 訪問審査後の中間報告の対応について

クリニカルパス委員会

委員長 中島 研郎

委員 谷口 晋 大音 泰介 梅本 啓央 徳持 翔太 山本 知世 村田 裕子 中村 郷樹
藤野 将稔 西川 真名美 光谷 俊祐 飛弾理沙 安井 公望 濱田 薫子 深江 奈菜美
大塚 初美 川島 枝梨菜 山本 成美

目的

- (1) クリニカルパスの作成・運営
- (2) 地域連携パスの運営に関する事
- (3) その他委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・パス未評価リストについて
- ・パスの適用率について
- ・パスの見直し、新規作成について
- ・パスの変更について
- ・患者用パスについて
- ・パスマニュアルの見直しについて
- ・パス中の先発薬品から後発薬品への変更について
- ・病院機能評価診査項目に関し改善点などの検討

保険診療会議

委員長 杉原 秀樹

委員 岡本 剛 福沢 綾子 宮田 麻里 村田 裕子 藤井 莉奈 今井 幹子 齊藤 満
橋本 亜由子 森江 三千秋 柳森 和人 川島 枝梨菜 松井 宏彰 奥谷 豊弘

目的

- (1) 保険診療にかかる運用・請求・指導・基準の確認に関する事
- (2) 請求漏れ防止対策に関する事
- (3) 保険診療の研修に関する事
- (4) 保険診療に係る調査および情報提供に関する事（施設基準・請求漏れ・査定減対策を含む）
- (5) その他保険診療に関する事

協議事項等

- ・レセプト査定について
- ・保険診療に関する研修会について

研修会

保険診療研修会

日時：令和5年11月5日（水）17：00～

場所：大会議室

内容：DPC（包括医療費支払い制度）に関する研修会

対象：全職員

保険診療研修会

日時：令和6年3月22日（金）17：00～

場所：大会議室

内容：令和6年度診療報酬改定説明会

対象：全職員

健診委員会

委員長 高山 博史

委員 杉原 秀樹 伊東 正文 花田 哲郎 澤田 さよ子 水谷 清美 宮川 晃也 岡田 めぐみ
川合 久和 足立 昌人 長谷川善一 横辻 敦子 中村 昌弘

目的

- (1) 人間ドック・生活習慣病予防健診等に関すること
- (2) 特定健診等に関すること
- (3) 市町村職員共済組合健診に関すること
- (4) 学校教職員健診に関すること
- (5) 健診センターの運営に関すること
- (6) その他健診事業に関すること

協議事項

- ・令和4年度、5年度上半期健診実績報告
- ・各種割引の一部見直しならびに期間限定割引について
- ・診療報酬改定に併せた料金改定について
- ・協会けんぽの付加健診対象年齢拡大に伴う腹部エコー検査枠の追加について
- ・オプション検査の腫瘍マーカー料金セット化について
- ・ペーパーレス化に向けてオンライン化を目的とした機器更新について
- ・子宮頸がん検診における経膈エコーの有料化について

業務改善委員会

委員長 岡本 剛

委員 武田 佳久 永江 徹也 伊東 正文 水流 輝彦 安藤 武 谷口 晋 岡田 裕子
澤田 さよ子 清水 一美 齊藤 満 太田 裕子 中井 正紀 木下 貴長 長濱 崇
長谷川善一 奥野 直久 辻 愛美 衣川はるか

目的

- (1) 医師および看護師の負担軽減に関すること
- (2) 職員の処遇改善に関すること
- (3) 職種間の役割分担に関すること
- (4) その他、委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・病院勤務医および看護職員の負担軽減と処遇改善に関する計画の令和5年度の取り組みについて
- ・委員会内規について
- ・「負担軽減と処遇改善」に関する職員アンケートの実施について

医療情報システム運営委員会

委員長 谷口 晋

委員 武田 佳久 末武 美里 薬師川ひとみ 木下 宏恵 中村 大介 高岡 忠 西村 明美
川合 久和 柳森 和人 松井 宏彰 山口 静夫 村木 雅哉 木本 鉄也 棟田 敦
大橋 信也

目的

- (1) 診療情報の利用規則などの検討に関すること
- (2) 医療情報システムの新規企画、開発または重要な既存システムの変更・更新に係る審議に関すること
- (3) 大規模な医療情報システムの変更等による運用の検討および調整に関すること
- (4) 医療情報システムへの新たなソフトのインストールに係る審議に関すること
- (5) 情報セキュリティに係る重要な事項の審議に関すること
- (6) 緊急時対応計画の策定および見直しに関すること
- (7) ネットワークおよび情報システムのセキュリティ対策に係る監査に関すること
- (8) その他医療情報システムに係る検討事項

協議事項等

- ・電子処方箋について
- ・バックアップセキュリティについて
- ・医事6桁対応について
- ・院内インターネットセキュリティについて
- ・診療報酬改定について
- ・オンライン資格確認について
- ・第2医局・新医療安全室ネットワーク工事について
- ・診断書作成支援システムの更新について
- ・その他

委員会実績

- ・2023年4月3日 電子カルテ・セキュリティ新人研修
- ・2024年3月21日 診断書作成支援システム更新
- ・2024年3月26日 健診・救急オンライン資格確認端末追加整備
- ・2024年3月29日 訪問看護ステーション電子カルテ配備

化学療法委員会

委員長 水流 輝彦

委員 中島 研郎 渡邊 武志 高橋 有和 倉田 佳彦 内田 和也 前川 直美
山崎 恵 沢井 莉奈 栗本 あきつ 水田 朱香 橋本 亜由子 木下 貴長

協議事項等

- ・レジメンについて（新規登録、薬剤変更など）
- ・外来腫瘍化学療法加算について
- ・がん患者指導管理料について
- ・研修会について
- ・がんセンターボードについて
- ・抗がん剤過敏症について
- ・抗がん剤ばく露対策について
- ・血管外薬剤漏出時の対応について
- ・化学療法室運用マニュアルについて

研修会

令和5年12月14日 抗がん剤曝露対策の基礎について
講師 前川 がん化学療法看護認定 Ns
参加 14名

高島市民病院公開講座

令和6年2月17日 膵臓がんについて
講師 中島 Dr
前川 がん化学療法看護認定 Ns
参加 38名

ハラスメント委員会

委員長 武田 佳久
委員 岡本 剛 永江 徹也 福田 直美 中井 正紀 長谷川 善一 奥野 直久 中村 孝

目的

- (1) ハラスメント防止に関する情報の収集・提供、啓発活動に関すること
- (2) ハラスメントに関する相談または苦情等の適切な処理
- (3) その他委員会の目的達成に必要とする事項

協議事項等

- ・ 協議案件なし

DPCコーディング委員会

委員長 武田 佳久
委員 安藤 武 高山 博史 岡本 剛 杉原 秀樹 水流 輝彦 生駒 晶子 中村 大介
今井 幹子 岡田 めぐみ 齊藤 満 川島 枝梨菜 大橋 信也 八木 美幸

目的

- (1) 診断群分類の適切なコーディングに関すること
- (2) 標準的な診断および治療方法の周知
- (3) 適切なコーディングを行うための診療分析および改善に関すること
- (4) 診断群分類の適切なコーディングに関する講習会の開催に関すること
- (5) その他 DPC に関し必要と認められる事項

協議事項等

- ・ 副委員長の選出について
- ・ 適切な DPC コーディングについて
- ・ ニチイ分析報告について
- ・ 令和6年度医療機関別係数について

病院まつり実行委員会

委員長	武田 佳久						
委員	徳持 翔太	澤田さよ子	矢部 杏奈	森 里緒菜	宮田 麻里	藤原みな美	朝川愛加里
	藤本 莉央	高岡 忠	岸田 恵	池田省一郎	兼先 勇佑	梅村美佐希	遠藤 成美
	辻 愛美	志村 一人	奥村 志穂	岡田 侑子			

目的

- (1) 病院まつりの企画・開催に関すること
- (2) その他病院まつりに関すること

協議事項等

- ・病院まつりの開催可否について

令和5年度はコロナウイルスの感染防止の観点から病院まつりの開催なし

地域がん診療病院運営委員会

委員長	中島 研郎						
委員	水流 輝彦	末武 美里	木下 宏恵	前川 直美	木下 貴長	清水 一美	柳森 和人
	大橋 信也	渡邊 温士					

目的

- (1) 地域がん診療病院の運営全般に関すること
- (2) 地域がん診療に関する研修企画に関すること（患者、家族、地域住民他）
- (3) 大津赤十字病院とのグループ連携に関すること
- (4) 開業医とのがん診療連携に関すること
- (5) がん登録に関すること
- (6) その他地域がん診療に関すること

協議事項等

- ・今年度の活動状況・予定について
- ・がん診療拠点病院等の更新指定の状況について
- ・滋賀県がん診療連携協議会活動状況について
- ・滋賀県がん患者団体連絡協議会発足15周年記念講演会について
- ・令和5年度滋賀県がん医療フォーラムについて
- ・高島市民病院公開講座について

委員会実績

- ・がんサロン「ほっと湖西」の開催（毎月第2火曜日）
- ・8/26 滋賀県がん患者団体連絡協議会発足15周年記念講演会へ座長派遣（武田佳久病院長）
- ・市内中学生を対象としたがん教育の開催（11/6 安曇川中 97名、11/20 高島中 47名）
- ・11/13 市内医療従事者対象 CV ポート研修 29名
- ・12/14 院内がん研修「暴露対策について」15名
- ・2/10 令和5年度滋賀県がん医療フォーラム 6名参加
- ・2/17 高島市民病院公開講座「膵臓がん」について正しく知って正しく恐れよう」中島研郎
「当院でできる治療・看護等の紹介」前川直美、天野明美 38名
- ・2/27 院内がん研修「CV ポート」17名

緩和ケアチーム

リーダー	高橋 有和					
委員	内田 和也	武本一美	高木美由紀	大塚 初美	坂尻 領伍	藤森雄一
	西田典子/ 上田彩希	竹林亜弥香	高岡 絵里奈	吉澤 由樹	重田 早希	吉廣 直子
	大橋 絵理奈	天野 明美				

実績

1) 会議（第4火曜日）16時～17時

- ・事例検討 外来患者情報共有
- ・緩和ケアに関する研修の伝達
- ・協議事項
 - ・緩和ケアチームマニュアルについて
 - ・外来緩和ケア問診表について
 - ・疼痛評価シート導入について

2) 緩和ケアチームラウンドの開催 第1、2、3、(5) 火曜日 15時より実施

- ・対象：緩和ケアチーム介入依頼患者及び麻薬使用中の患者

チーム介入依頼数	21件（内：非がん2名）	実際介入数	57件	カンファレンス件数	105件
----------	--------------	-------	-----	-----------	------

- ・本年度も心不全末期による呼吸困難、倦怠感、下肢閉塞性動脈硬化症による痛み緩和などの相談があった。

研修参加

- ・滋賀県緩和ケア診療部会主催「緩和ケアチーム研修会」
- ・ELNEC-J 研修参加 当院2名

高島市民公開講座 ＊詳細は化学療法委員会実績参照下さい

令和6年2月17日 講師：緩和ケア認定看護師

母親教室

1. 教室の概要

1) 母親教室中期

- ・開催：毎月第2水曜日 13時30分から15時。
- ・対象：妊娠初期から妊娠27週までの妊婦とその家族。
- ・内容：管理栄養士による妊娠中の栄養について。

助産師による乳房ケアと妊婦体操、産褥期の母と子の準備。妊娠中の異常とその対応について。

2) 母親教室後期

- ・開催：毎月第4水曜日 13時30分から15時。
- ・対象：妊娠28週以降の妊婦とその家族。
- ・内容：助産師による入院の時期と入院方法

分娩の経過と過ごし方（呼吸法と補助動作など）、入院中の生活について。
病棟見学

*令和5年度は新型コロナウイルス感染症のため集団指導は中止している為、健診後助産師が個別指導を行い対応している。

*立ち会い分娩についても中止している。

産後ケア外来

開催日：木曜日午後

目的：出産後の女性に対し、しんしんのケアや育児等の相談支援を行う高島市産後ケア事業を実施することにより、地域で安心して子育てを開始し、子どもの健やかな成長発達を視することを目的とする。

事業内容：通所サービスによる提供

主に乳房管理および授乳指導（乳房マッサージを含む）

チケットサービスの利用 5名

アドバンス助産師による管理が必要な場合は集中的にケアを行っている

今後宿泊サービスも導入していく予定。

ストーマ外来

ストーマ外来担当看護師

第1週	宮田麻里
第2週	早藤徳子
第3週	宇田洋海
第4週	山本知世
第5週	山本知世

毎週月曜日午前中 3 枠をストーマ外来とする。

令和 5 年度は 24 名の患者に対しストーマケアを実施した。

【目標】

- ・ストーマ保有者が普通の生活の維持のため、個別的に専門的なケアを提供し、QOLを維持し、住み慣れた環境で安心して生活できるよう支援する。
- ・スキントラブルに悩む患者様の治療環境を整えるケア提供を行う。

【ストーマ外来の実際】

- ・退院後の定期検診
- ・正しい装具の交換方法
- ・体型の変化、生活の変化に応じたケア
- ・ストーマのトラブルやストーマ周囲皮膚のトラブルの解決
- ・新しい装具の情報提供
- ・生活指導
- ・社会保障の手続き
- ・施設入居、訪問看護利用者の場合、担当者へのアドバイスや相談に応じる

【令和 5 年度実績】

他院からの紹介：0 件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	5 件	6 件	9 件	4 件	4 件	6 件	8 件	5 件	9 件	4 件	10 件	14 件	84 件
実人数	5 人	6 人	9 人	4 人	4 人	6 人	8 人	5 人	9 人	4 人	10 人	14 人	84 人

禁煙外来

医師	重森 度
看護師	水谷 清美
看護師	小川 智子
看護師	西村 智明
薬剤師	木下 貴長
薬剤師	今井 幹子

対象患者：禁煙外来を予約し、以下の要件を満たす喫煙者

- ・3 ヶ月（初回/2 週間後/4 週間後/8 週間後/12 週間後）継続受診できること
- ・直ぐに禁煙しようと考えていること
- ・TDS（ニコチン依存症のスクリーニングテスト）が 5 点以上でニコチン依存症と診断されていること
- ・ブリンクマン指数（喫煙年数×1 日の喫煙本数）が 200 以上であること
- ・禁煙治療を受けることを文書により同意していること

方法：個別指導

場所：Aブロック

日時：毎金曜日（13時～ 合計2人程度）

令和5年度カウンセリング実施件数：0件 禁煙外来受診者：0人

薬剤供給不可のため中止となっていたが、薬剤をニコチネルパッチに変更した。
R6年4月より禁煙外来が実施できるように活動を開始した。

糖尿病教室

感染対策のため本年度は中止となりました。

心臓病教室

感染対策のため本年度は中止となりました。

透析食事療養教室

感染対策のため本年度は中止となりました。

4. 業績集

呼吸器内科

講演会

2024年2月3日 第30回日本呼吸器内視鏡学会近畿支部会呼吸器内視鏡セミナー
COPDに対するBLVR治療 演者（セミナー講師） 内田泰樹

論文

- ・ Association of gut microbiome with COPD in Japanese male residents: the SESSA study
Kawasima S, Uchida Y, et al. ERJ open research 10 (1) 2024 Jan
- ・ Prophylactic treatment of dacomitinib-induced skin toxicities in epidermal growth factor receptor-mutated non-small-cell lung cancer: A multicenter, Phase II trial. Iwasaku M, Uchida Y, Cancer medicine June 2023
- ・ Immune-related aseptic meningitis diagnosed by Cube FLAIR on enhanced magnetic resonance imaging for a lung cancer patient administered atezolizumab: A case report. Kuroda R, Uchida Y, et al. Respiratory medicine case report 2023
- ・ Autobullectomy with COVID-19 in a patient with chronic obstructive pulmonary disease. Yokoe S, Uchida Y, et al. Respiratory medicine case report 2023

外科

演題：横行結腸癌術後、副腎脾臓転移再発をきたした一例

発表者：渡邊武志ほか

第78回日本大腸肛門病学会学術集会

令和5年11月10日

演題：難治性右胸水に対して胸腔一内頸静脈シャントを留置し胸水をコントロールした一例

発表者：高橋有和ほか

第85回日本臨床外科学会総会

令和5年11月18日

演題：上部消化管穿孔緊急手術ごに発症した新型コロナ院内感染症の一例

発表者：渡邊武志ほか

第36回日本外科感染症学館総会学術集会

令和5年12月15日

演題：胃原発扁平上皮癌の一例

発表者：高橋有和ほか

第78回日本消化器外科学会総会

令和5年7月14日

リハビリテーション室

演題：全国自治体病院学会主催 第 61 回全自治体病院学会

発表者：木下正太

『入院中の食欲不振が COVID-19 患者の ADL に与える影響について』 令和 5 年 8 月 31 日

演題：『地域共生社会の実現に向けての地域リハビリテーションの取り組み』

発表者：小村尚也

第 55 回滋賀県国保地域医療学会

令和 5 年 11 月 5 日

放射線室

厚生労働省告示第 273 号研修

厚生労働省医政局長より発出され、放射線技師の業務範囲の見直しに伴う告示研修 受講修了者 8 名
院内研究発表会優秀発表賞受賞

臨床工学室

第 63 回 全国国保地域医療学会

2022/10/6 発表（長濱）

看護部

演題：食欲不振を有した新型コロナウイルス感染症患者への早期介入の必要性について

発表者：中村大介

第 61 回 全国自治体病院学会（北海道）

令和 5 年 8 月 31 日

演題：心臓サポートチームの活動と地域のつながり

～地域で生活する心不全患者の切れ目のないケアを目指して～

発表者：宇田洋海

第 55 回 滋賀県国保地域医療学会

令和 5 年 11 月 5 日

演題：心不全のチーム医療・地域連携（つながり）について

発表者：宇田洋海・谷口晋

第 62 回 高島市医療連携ネットワーク

令和 5 年 6 月 18 日

当院における心不全連携について

発表者：宇田洋海

高島市の心不全 地域連携を考える会

令和 5 年 12 月 7 日

演題：独居高齢がん患者の治療継続のための多職種連携

発表者：前川直美

第 33 回 日本がん看護学会学術集会

令和 6 年 2 月 24 日

演題：せん妄・転倒転落対策チームの活動報告

発表者：岡田裕子

高島市民病院 院内研究発表会 令和6年3月1日

演題：整形外科患者への看護の取り組み

発表者：高木祐輔・平井美江

高島市民病院 院内研究発表会 令和6年3月1日

演題：ABC 検診実施結果とその後 ～共済健診を通して見えてきたこと～

発表者：澤田さよ子

高島市民病院 院内研究発表会 令和6年3月1日

演題：心臓病サポートチーム（CST）の活動と地域連携について

発表者：饗庭友里子

第7地区支部 看護研究発表会 令和6年3月2日

演題：高齢者患者の不安に寄り添った退院支援の実践 ～病棟看護師の役割について～

発表者：木津真咲

第7地区支部 看護研究発表会 令和6年3月2日

演題：糖尿内科算定バッチリ隊 外来医事業務を担当する委託・派遣職員と協働！

診療報酬算定フローチャートの作成とコストナビゲーション育成の取り組み

発表者：村田裕子

第41回滋賀県インスリン治療懇話会 令和6年3月23日

<執筆>

糖尿病ケア[Ⓞ] 春季増刊号

糖尿病看護 はじめてナビ メディカ出版

糖尿病合併症 糖尿病性腎症 村田裕子

<研修会受講・資格取得状況>

ファーストレベル 山本知世 久保田真

臨床実習指導者講習会 朝日留美 谷井峰子

看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 木村薫 宮田麻里

厚生労働省の定める看護職員認知症対応力向上研修 重田早紀 田村恵利 平井美江

認知症高齢者の看護実践に必要な知識の研修 安部美津子 郡嘉代子

重症度、医療・看護必要度評価者研修 小嶋緑 田中一美

新人看護職員支援者研修 研修責任者研修 竹田明美

令和5年度入退院支援看護師養成研修 橋本美咲

令和5年小児在宅移行支援指導育成研修 滋賀県看護協会 高岡絵里奈

日本医療機能評価機構 JQ 医療安全管理者養成研修 生駒晶子 木下宏恵

令和5年度 第9回DMAT 隊員養成研修 村田拓夢

令和5年度 近畿ブロック DMAT 技能維持・ロジスティクス研修 小林由佳

医療メディエーター養成講座 導入・基礎編 天野明美
CDEJ 糖尿用療養指導士 日本糖尿病療養指導士認定 村田裕子
特定行為研修 荒川貴一
2023年度がん相談支援センター相談員基礎研修(1)(2) 末武美里
新型コロナなど新興感染症等に係る看護職員等確保事業
滋賀県災害支援ナース養成研修 小林由佳 中村大介
臨床研究の基礎知識講座 村田裕子
思春期保健相談士 早瀬美歩
ELNEC-J コアカリキュラム看護師育成プログラム終了 宮田麻里
第15回下部尿路症状の排尿ケア講習会 朝日留美
第2回排尿機能回復に向けた治療とケア講座 岡田裕子
循環器病予防療養指導士 村田裕子
腎臓リハビリテーションガイドライン講習会 安部美津子
脳卒中相談窓口多職種講習会 橋本美咲

<授賞>

- ・滋賀県看護協会会長表彰 木村薫
- ・日本糖尿病教育・看護学会奨励賞 村田裕子

令和5年度(2023) 高島市民病院 新人看護職員教育プログラム

開催日	時間	研修会名	研修内容	担当	参加者	ねらい
4月3日(月)	8:30 ~ 17:15	新採用者 全体オリエンテーション ※詳細は別紙	オリエンテーション 辞令交付 事務的手続き 病院概要 院内案内 院内感染対策	総務課スタッフ 看護部 師長会	看護師8	・病院全体の概要を知る 当院の職員としての誇りを持ち、意欲を高めることができる ・社会人としての責任や自覚を持つ ・サービス業としての接客・コミュニケーション技術について理解する
		電子カルテについて ※全新規職員対象	電子カルテについて	武田病院長		看護師8
4月4日(火)	8:30 ~ 10:00	看護部について キャリアパスについて 看護協会について	看護部の概要 看護部の教育計画	福田看護部長	看護師8	・看護部についての理解を深める ・看護協会について知る
		10:10 ~ 12:10	感染症対策について	院内感染症対策の実際 スタンダードプリコーション		〇清家・倉田
	13:10 ~ 14:10	院内案内		〇清家・竹本	看護師8 医師2	・院内の設備の場所がわかる
	14:20 ~ 16:00	医療安全について	医療事故防止対策 医療安全マニュアルの活用方法	〇水谷・郡	看護師8 医療技術2 地連1 医師2	・当院における医療安全対策の概要を知る
	16:00 ~ 17:15	新人看護職員研修について		〇生駒・宮田	看護師8	・新人看護職員教育プログラムの内容がわかる
4月5日(水)	8:30 ~ 12:30	看護技術研修 スキンケア・排泄ケア	陰部洗浄・おむつ交換 洗腸・バルンカテーテル留置	〇荒川 山本知・久保田	看護師8 医師2	・スキンケアの基礎知識・技術について学ぶ ・排泄ケアについて知識・技術を習得する
	13:30 ~ 17:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	谷井・朝日	看護師3	・電子カルテの基本と記載方法について学ぶ
4月6日(木)	8:30 ~ 12:30	酸素吸入 吸引	酸素吸入の種類・取扱い 吸引のメカニズム・手順	〇朝日・永田 宇田	看護師8 既卒2 医師2	・呼吸・整理を理解し、エビデンスに基づいた正しい酸素療法、吸引、吸入技術を習得する
	13:30 ~ 17:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	荒川・川原	看護師2	・電子カルテの基本と記載方法について学ぶ
4月7日(金)	8:30 ~ 12:30	リハビリテーションについて 摂食・嚥下研修 ポディメカニクス・移乗	嚥下のしくみ、誤嚥について 安全な移乗について	家守ST 小村PT・田中PT 〇山日	看護師8 医療技術1 医師2	・当院のリハビリテーションの紹介 ・摂食嚥下障害と症状について学ぶ ・介助者の負担軽減と安全な移乗について学ぶ
	13:30 ~ 17:15	電子カルテについて	電子カルテの基本操作	西川慶・谷	看護師2	・電子カルテの基本と記載方法について学ぶ
4月10日(月)	8:30 ~ 17:15	技術演習	採血・筋肉注射・皮下注射 留置針の取り扱い 穿刺点滴ルートの準備	〇河原田・西川真 村田裕・安部 高岡・朝川	看護師8 既卒1 医師2	・安全な取り扱いと清潔操作について学ぶ ・当院の採血・注射備品にふれ、その方法を学ぶ ・血管の模型を使用し、留置針の静脈穿刺を実践
4月11日(火)	8:30 ~ 10:30	薬剤の基礎知識 医療機器	輸液について 輸液ポンプ・シリンジポンプ	〇川原・沢井	看護師8 既卒1 医師2	・輸液製剤の種類とその特徴について理解する ・ポンプの種類がわかり、取り扱い方法を学ぶ
	10:40 ~ 12:30	コミュニケーション	事例検討	〇竹田・栗津	看護師8 医療技術1 医師2	・事例検討しコミュニケーション能力を高める
	13:30 ~ 17:15	急変時の対応について	BLS	〇小林・中村恵 西川慶・竹田	看護師8 既卒2 医療技術2 地連1 医師2	・急変時の対応について学ぶ
4月14日(金)	16:15 ~ 17:15	看護記録	看護記録	〇早藤・谷	看護師8 既卒1	・当院の看護記録について学ぶ
4月21日(金)	16:15 ~ 17:15	心電図の基本	モニターの基本操作	〇中村大・北野真	看護師8 既卒3 医療技術1 医師2	・心電図の基本知識を習得
4月28日(金)	16:15 ~ 17:15	看取りのケア	エンゼルケア	〇梅村・天野	看護師8 医師2	・看取りの看護について理解を深める
5月10日(水)	16:30 ~ 17:15	オンデマンド研修	組織における看護師の役割	新人教育委員会	看護師8	・社会人としての心構えや看護師としての心構えおよび果たすべき役割について学ぶ
5月22日(月)	16:30 ~ 17:15	リフレッシュ研修		西田心理療法士	看護師8 医療技術4 医師2	・今の自分のメンタルの状態を把握する ・相談先を把握する
6月7日(水)	16:00 ~ 17:15	看護必要度について	基礎知識	〇小川・山極	看護師8 既卒2	・看護必要度について理解を深める
6月12日(月)		新卒看護職員交流会		滋賀県看護協会	看護師8	・県内の新人看護職員と交流を深める
7月5日(水)	16:30 ~ 17:15	新人職員交流会	カンファタブル・ケア	新人教育委員会	看護師8 地連1 医療技術5	・同期職員の交流を深める ・カンファタブル・ケアとは何かを知る
7月10日(月)~8月18日(金)		ローテーション研修(1)	救急外来		看護師8	・詳細はローテーション計画表に沿って実施
7月10日(月)~8月17日(木)		心理療法士面談	西田心理療法士と個別面談	西田心理療法士	看護師8	・日頃言えない悩みや思いを表出する機会となる
8月2日(水)	16:30 ~ 17:15	新人職員交流会	自分や相手のもつ「価値観」に触れる	新人教育委員会	看護師8 地連1 医療技術5	・同期職員の交流を深める ・価値観を共有し、自他を認める機会になる
9月6日(水)	16:30 ~ 17:15	新人職員交流会	チームビルディング	新人教育委員会	看護師7 地連1 医療技術5	・同期職員の交流を深める ・チームで協力、意見を出し合えることの大切さを体感する
11月6日(月)~12月8日(金)		ローテーション研修(2)	手術室		看護師8	・詳細はローテーション計画表に沿って実施
10月4日(水)	14:00 ~ 15:00	半年を終えて	看護補助者との協働	新人教育委員会 補佐会	看護師8	・研修を受け、看護師の役割、責任を再認識する。 ・2年目へのモチベーションの向上をはかる
10月13日(金)	16:15 ~ 17:15	地域を知る(観光プラザ)	接遇について	滋賀県看護協会 第7地区支部	看護師8	・接遇のスキルを学ぶ ・第7地区の新人看護職員の交流を深める
11月6日(月)	16:30 ~ 17:15	リフレッシュ研修	ヒーローインタビュー	西田心理療法士	看護師8 地連1 医療技術3	・同期職員の交流を深める ・自他の職業や役割の魅力を再発見する
2月1日(木)	14:00 ~ 15:00	ラダーII-2事例検討会	ケーススタディー発表会	ラダーII担当者		・先輩看護師の発表を聞き看護の理解を深める
2月7日(水)	16:30 ~ 17:15	オンデマンド研修	倫理綱領と看護業務基準	新人教育委員会	看護師8	・法令等、倫理、業務基準は、看護職として社会的な責務を果たすうえでの拠りどころであることを理解する
3月6日(水)	16:30 ~ 17:15	新人職員交流会	2年目として頑張りたいこと	新人教育委員会	看護師7 地連1 医療技術5	・同期職員の交流を深める ・2年目へのモチベーションの向上をはかる
1月19日(金)	13:30 ~ 14:30	ラダーII-1事例検討会	ナラティブ発表	ラダーII担当者		・先輩看護師の発表を聞き看護の理解を深める
3月22日(金)	16:30 ~ 17:15	まとめの会	1年間のまとめ	新人教育委員会	看護師8	・1年間の振り返りを共有する
オンデマンド研修	・チーム医療の構成員である看護師として果たすべき役割 ・日常生活場面で理解する看護職の倫理綱領と看護業務基準			日本看護協会	看護師8 看護師8	・協働する力 ・意思決定を支える力



令和5年度(2023)プリセプター・サポーター学習支援計画

開催日	時間	プリセプター	サポーター	参加者	ねらい
5月15日(月)	16:30 ~ 17:15	プリセプター・サポーター研修 教育ガイドのオリエンテーション／自己紹介／「指導者としての心構え」			当院の新人看護職員教育ガイドについて知る プリセプター・サポーターとしての1年の流れがわかる
6月6、7、26日	9:20 ~ 12:30	プリセプター研修～新人と共に成長する指導者を目指して～ 研修参加者：プリセプター			成人学習者の効果的な指導のあり方がわかる 新人看護職員のメンタルサポート体制のあり方がわかる 自己の強みと課題が明確にできる
6月15日(木)	9:20 ~ 16:30	ファンリテーションスキルを学ぼう(基礎編) 研修参加者：5東小林		滋賀県看護協会	ファンリテーションスキルの効果と概要が理解できる カンファレンスなどで活用できるスキルを学ぶ スキルを実践で活かすことができる
7月26日(水)	16:30 ~ 17:15	プリセプター研修の振り返り 座談会		看護師7名	研修を振り返り、学びを共有する 新人看護職員サポーターにおいての喜びや悩みを共有する
8月16日(水)	16:30 ~ 17:15		「ファンリテーションスキルを学ぼう」(基礎編)伝達講習&座談会	看護師7名	研修の内容を共有し、サポーター方法を考える 新人看護職員サポーターにおいての喜びや悩みを共有する
8月23日(水)	9:20 ~ 16:30	心理的安全性の高い職場づくりを目指す 研修参加者：4南西川		滋賀県看護協会	心理的安全性に関する基礎知識が理解できる 心理的安全性がチーム医療にもたらす効果を理解できる 心理的安全性を高めるための自己の行動が理解できる
9月20日(水)	16:30 ~ 17:15	プリセプター研修の伝達講習の準備 座談会		看護師7名	伝達講習の役割分担や伝達方法・内容を考える 新人看護職員サポーターにおいての喜びや悩みを共有する
10月18日(水)	16:30 ~ 17:15	プリセプター・サポーター研修 「心理的安全性の高い職場づくりを目指す」伝達講習		看護師15名	研修の内容を共有し、サポーター方法を考える
10月26日(木)	9:20 ~ 16:30	ファンリテーションスキルを学ぼう(応用編) 研修参加者：5東小林		滋賀県看護協会	組織やチームで広げるための準備ができる プログラムデザインについて知る 実施プログラムを考える
11月15日(水)	9:20 ~ 16:30	教えることは学ぶこと～共に成長する看護職を育成する～ 研修参加者：4東谷		滋賀県看護協会	専門職における教育のあり方や重要性を再考できる 効果的な指導のあり方が理解出来る 指導者(先輩)としての自己の課題を明確にする
12月20日(水)	16:30 ~ 17:15		「ファンリテーションスキルを学ぼう」(応用編)伝達講習&座談会	看護師9名	研修の内容を共有し、サポーター方法を考える 新人看護職員サポーターにおいての喜びや悩みを共有する
1月17日(水)		プリセプター伝達講習		2/5:15名 3/21:7名	研修での学びを発表する
2月21日(水)	16:30 ~ 17:15		「教えることは学ぶこと」伝達講習&座談会	看護師5名	研修の内容を共有し、新人指導方法を考える 新人看護職員サポーターにおいての喜びや悩みを共有する
3月21日(木)			まとめの会	看護師10名	1年を総括する

Ⅲ. 統計資料

1. 患者数

(1) 入院患者数集計表

	区分	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人	耳鼻科	神経科	皮膚科	泌尿器	眼科	脳外科	放射線	心血外	歯口外		計	日数
入院患者延数	4月	2,443	86	373	837	177	0	0	0	160	0	136	0	0	52		4,264	30
	5月	2,870	84	295	1,054	82	0	0	0	105	0	117	0	0	29		4,636	31
	6月	2,425	119	287	1,220	153	0	0	0	88	0	50	0	0	42		4,384	30
	7月	2,882	112	381	1,052	71	0	0	0	135	0	83	0	0	47		4,763	31
	8月	3,220	114	365	949	43	0	0	0	100	0	137	0	0	49		4,977	31
	9月	2,933	100	378	869	125	0	0	0	83	0	122	0	0	46		4,656	30
	10月	2,708	95	391	1,186	134	0	0	0	59	0	92	0	0	47		4,712	31
	11月	2,575	79	402	1,231	118	0	0	0	148	0	36	0	0	38		4,627	30
	12月	2,724	84	354	1,206	103	0	0	0	208	0	55	0	0	44		4,778	31
	1月	3,002	74	437	1,257	58	0	0	0	172	0	134	0	0	37		5,171	31
	2月	2,734	72	374	1,253	57	0	0	0	83	0	191	0	0	31		4,795	29
	3月	3,218	53	311	1,196	96	0	0	0	95	0	251	0	0	52		5,272	31
	計	33,734	1,072	4,348	13,310	1,217	0	0	0	1,436	0	1,404	0	0	514	0	57,035	366
前年度	増減	34,391	937	3,961	10,799	1,532	0	0	0	1,463	0	2,011	0	0	380		55,474	365
	比率	▲ 657	135	387	2,511	▲ 315	0	0	0	▲ 27	0	▲ 607	0	0	134	0	1,561	人
	比率	▲ 1.9	14.4	9.8	23.3	▲ 20.6	-	-	-	▲ 1.8	-	▲ 30.2	-	-	35.3	-	2.8	%
一日平均入院患者数	4月	81.4	2.9	12.4	27.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	4.5	0.0	0.0	1.7		142.1	1.0
	5月	92.6	2.7	9.5	34.0	2.6	0.0	0.0	0.0	3.4	0.0	3.8	0.0	0.0	0.9		149.5	1.0
	6月	80.8	4.0	9.6	40.7	5.1	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.7	0.0	0.0	1.4		146.1	1.0
	7月	93.0	3.6	12.3	33.9	2.3	0.0	0.0	0.0	4.4	0.0	2.7	0.0	0.0	1.5		153.6	1.0
	8月	103.9	3.7	11.8	30.6	1.4	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	4.4	0.0	0.0	1.6		160.5	1.0
	9月	97.8	3.3	12.6	29.0	4.2	0.0	0.0	0.0	2.8	0.0	4.1	0.0	0.0	1.5		155.2	1.0
	10月	87.4	3.1	12.6	38.3	4.3	0.0	0.0	0.0	1.9	0.0	3.0	0.0	0.0	1.5		152.0	1.0
	11月	85.8	2.6	13.4	41.0	3.9	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	1.2	0.0	0.0	1.3		154.2	1.0
	12月	87.9	2.7	11.4	38.9	3.3	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	1.8	0.0	0.0	1.4		154.1	1.0
	1月	96.8	2.4	14.1	40.5	1.9	0.0	0.0	0.0	5.5	0.0	4.3	0.0	0.0	1.2		166.8	1.0
	2月	94.3	2.5	12.9	43.2	2.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	6.6	0.0	0.0	1.1		165.3	1.0
	3月	103.8	1.7	10.0	38.6	3.1	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	8.1	0.0	0.0	1.7		170.1	1.0
	計	92.2	2.9	11.9	36.4	3.3	0.0	0.0	0.0	3.9	0.0	3.8	0.0	0.0	1.4	0.0	155.8	1.0
前年度	増減	94.2	2.6	10.9	29.6	4.2	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	5.5	0.0	0.0	1.0		152.0	1.0
	比率	▲ 2.0	0.3	1.0	6.8	▲ 0.9	0.0	0.0	0.0	▲ 0.1	0.0	▲ 1.7	0.0	0.0	0.4	0.0	3.8	人
	比率	▲ 2.1	11.5	9.2	23.0	▲ 21.4	-	-	-	▲ 2.5	-	▲ 30.9	-	-	40.0	-	2.5	%

(2) 外来患者数集計表

	区分	内科	小児科	外科	整形外科	産婦人	耳鼻科	神経科	皮膚科	泌尿器	眼科	脳外科	放射線	心血外	歯口外	朽木	計	日数
外来患者延数	4月	3,209	392	260	637	380	152	415	138	490	163	187	58	11	668	282	7,442	20
	5月	3,039	488	263	704	389	149	411	164	534	159	185	59	15	721	295	7,575	20
	6月	3,085	574	308	701	429	156	426	188	418	178	193	54	9	776	290	7,785	22
	7月	3,080	572	336	685	389	137	421	216	454	164	175	48	8	777	296	7,758	20
	8月	3,241	485	288	702	434	134	426	221	495	160	191	59	14	747	298	7,895	22
	9月	2,931	465	291	661	440	127	409	204	401	193	154	57	7	717	295	7,352	20
	10月	3,016	470	285	686	424	141	402	204	530	161	234	71	17	771	326	7,738	21
	11月	2,956	441	254	673	394	161	369	161	451	186	183	67	8	737	263	7,304	20
	12月	3,094	533	293	639	444	113	374	150	470	171	203	57	10	692	291	7,534	20
	1月	3,121	444	256	581	385	132	365	148	415	133	193	55	6	651	313	7,198	19
	2月	2,846	430	243	507	389	123	323	120	431	173	152	63	7	696	227	6,730	19
	3月	2,967	448	296	608	410	135	383	161	426	193	208	54	8	706	259	7,262	20
	計	36,585	5,742	3,373	7,784	4,907	1,660	4,724	2,075	5,515	2,034	2,258	702	120	8,659	3,435	89,573	243
前年度	増減	42,305	5,977	3,220	7,578	4,608	1,546	5,393	2,086	5,972	2,157	2,291	574	120	8,333	3,223	95,383	243
	比率	▲ 5,720	▲ 235	153	206	299	114	▲ 669	▲ 11	▲ 457	▲ 123	▲ 33	128	0	326	212	▲ 5,810	人
	比率	▲ 13.5	▲ 3.9	4.8	2.7	6.5	7.4	▲ 12.4	▲ 0.5	▲ 7.7	▲ 5.7	▲ 1.4	22.3	-	3.9	6.6	▲ 6.1	%
一日平均外来患者数	4月	160.5	19.6	13.0	31.9	19.0	7.6	20.8	6.9	24.5	8.2	9.4	2.9	0.6	33.4	14.1	372.1	1.0
	5月	152.0	24.4	13.2	35.2	19.5	7.5	20.6	8.2	26.7	8.0	9.3	3.0	0.8	36.1	14.8	378.8	1.0
	6月	140.2	26.1	14.0	31.9	19.5	7.1	19.4	8.5	19.0	8.1	8.8	2.5	0.4	35.3	13.2	353.9	1.0
	7月	154.0	28.6	16.8	34.3	19.5	6.9	21.1	10.8	22.7	8.2	8.8	2.4	0.4	38.9	14.8	387.9	1.0
	8月	147.3	22.0	13.1	31.9	19.7	6.1	19.4	10.0	22.5	7.3	8.7	2.7	0.6	34.0	13.5	358.9	1.0
	9月	146.6	23.3	14.6	33.1	22.0	6.4	20.5	10.2	20.1	9.7	7.7	2.9	0.4	35.9	14.8	367.6	1.0
	10月	143.6	22.4	13.6	32.7	20.2	6.7	19.1	9.7	25.2	7.7	11.1	3.4	0.8	36.7	15.5	368.5	1.0
	11月	147.8	22.1	12.7	33.7	19.7	8.1	18.5	8.1	22.6	9.3	9.2	3.4	0.4	36.9	13.2	365.2	1.0
	12月	154.7	26.7	14.7	32.0	22.2	5.7	18.7	7.5	23.5	8.6	10.2	2.9	0.5	34.6	14.6	376.7	1.0
	1月	164.3	23.4	13.5	30.6	20.3	6.9	19.2	7.8	21.8	7.0	10.2	2.9	0.3	34.3	16.5	378.8	1.0
	2月	149.8	22.6	12.8	26.7	20.5	6.5	17.0	6.3	22.7	9.1	8.0	3.3	0.4	36.6	11.9	354.2	1.0
	3月	148.4	22.4	14.8	30.4	20.5	6.8	19.2	8.1	21.3	9.7	10.4	2.7	0.4	35.3	13.0	363.1	1.0
	計	150.6	23.6	13.9	32.0	20.2	6.8	19.4	8.5	22.7	8.4	9.3	2.9	0.5	35.6	14.1	368.6	1.0
前年度	増減	174.1	24.6	13.3	31.2	19.0	6.4	22.2	8.6	24.6	8.9	9.4	2.4	0.5	34.3	13.3	392.5	1.0
	比率	▲ 23.5	▲ 1.0	0.6	0.8	1.2	0.4	▲ 2.8	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 0.5	▲ 0.1	0.5	0.0	1.3	0.8	▲ 23.9	人
	比率	▲ 13.5	▲ 4.1	4.5	2.6	6.3	6.3	▲ 12.6	▲ 1.2	▲ 7.7	▲ 5.6	▲ 1.1	20.8	-	3.8	6.0	▲ 6.1	%

2. 救急患者状況

(1) 旧町村別救急患者数

患者住所	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計				
	外来	入院																											
	令和5年度	令和4年度	令和3年度	令和5年度	令和4年度																								
高島町	54	8	72	8	44	12	70	8	59	11	63	12	75	20	55	9	77	11	76	15	59	13	66	13	770	140			
安曇川町	54	9	69	11	50	4	112	9	107	10	72	12	62	10	60	9	67	9	72	4	61	5	45	6	831	98			
	34	16	63	12	29	10	73	11	45	11	43	12	40	9	31	14	50	10	62	5	64	11	40	5	574	126			
新旭町	97	15	109	27	105	24	184	25	161	25	117	24	126	28	108	21	134	21	186	24	113	23	124	23	1,564	280			
	88	13	137	22	97	21	182	19	183	9	155	19	112	19	106	21	181	15	155	15	109	19	113	17	1,618	209			
	68	17	114	26	91	17	153	25	112	20	87	20	70	18	82	9	106	20	146	25	138	14	95	19	1,262	230			
今津町	84	18	101	15	92	21	127	17	112	15	97	19	91	11	89	18	136	26	161	15	89	16	97	20	1,276	211			
	71	14	94	11	71	17	186	8	144	13	101	24	110	14	83	20	126	22	152	15	73	22	113	14	1,324	194			
	75	14	83	15	69	15	98	12	107	14	73	13	94	14	65	17	76	20	106	15	72	13	85	17	1,003	179			
マキノ町	50	14	68	19	59	15	66	22	77	13	61	15	99	17	66	14	84	24	78	20	58	23	60	11	826	207			
	59	17	81	22	61	10	113	14	136	13	86	19	69	13	87	31	86	22	83	7	64	14	46	23	971	205			
	50	10	65	18	54	14	90	10	82	17	60	12	62	17	64	26	56	19	83	13	88	14	63	9	817	179			
朽木	21	4	28	5	17	4	29	10	20	11	36	7	24	3	16	9	24	6	28	6	10	5	18	9	271	79			
	26	7	21	2	21	4	35	5	32	10	33	7	27	7	34	7	39	8	32	5	13	5	16	3	329	70			
	12	3	18	3	18	5	28	6	26	6	22	4	15	2	21	6	19	10	22	10	48	7	28	3	277	65			
県内	13	5	22	5	4	4	14	5	15	3	8	7	8	3	10	5	12	5	19	5	9	1	12	1	146	49			
	10	4	18	3	12	2	20	3	19	5	15	1	11	2	12	2	19	2	10	3	8	5	3	1	157	33			
	3	2	12	4	9	2	11	2	19	3	10	1	8	1	10	3	6	0	7	2	15	3	16	3	126	26			
県外	21	1	20	3	15	1	25	3	35	3	19	1	29	8	21	3	26	1	38	0	17	5	24	3	290	32			
	18	3	29	5	14	1	34	9	42	5	14	5	26	3	26	4	26	3	29	3	18	0	20	4	296	45			
	18	10	24	5	13	4	30	2	33	5	14	3	18	3	18	3	18	4	18	1	31	4	17	4	252	48			
	23	3	49	1	30	4	41	5	82	11	46	3	39	3	26	2	29	1	29	5	23	2	15	5	432	45			
	25	3	43	2	40	2	52	2	64	3	28	3	35	3	20	1	30	1	34	1	18	1	15	3	404	25			
	17	3	37	2	27	1	42	4	48	3	37	2	26	3	24	0	19	0	39	0	22	0	20	0	358	18			
合計	363	68	469	83	366	85	556	95	561	92	447	88	491	93	391	81	522	95	615	90	378	88	416	85	5,575	1,043			
	351	70	492	78	366	61	734	69	727	68	504	90	452	71	428	95	574	82	567	53	364	71	371	71	5,930	879			
	277	75	416	85	310	68	525	72	472	79	346	67	333	67	315	78	350	83	483	71	478	66	364	60	4,669	871			

(2) 救急患者(時間内・時間外)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院	外来	入院
令和5年度	250	72	259	67	306	82	295	93	331	101	285	76	256	82	257	101	316	97	275	83	238	78	220	103	3,288	1,035
時間内	363	68	469	83	366	85	556	95	561	92	447	88	491	93	391	81	522	95	615	90	378	88	416	85	5,575	1,043
時間外	322	72	373	73	300	92	637	80	737	89	416	70	340	65	438	68	538	89	374	70	271	70	274	66	5,020	904
令和4年度	351	70	492	78	366	61	734	69	727	68	504	90	452	71	428	95	574	82	567	53	364	71	371	71	5,930	879
時間内	288	67	248	63	243	74	368	67	436	68	295	78	231	74	261	75	189	86	387	67	414	87	391	68	3,746	874
時間外	277	75	416	85	310	68	525	72	472	79	346	67	333	67	315	78	350	83	483	71	478	66	364	60	4,669	871
令和5年度	613	140	728	150	672	167	851	188	892	193	732	164	747	175	648	182	838	192	890	173	616	166	636	188	8,863	2,078
令和4年度	673	142	865	151	666	153	1,371	149	1,464	157	920	160	792	136	866	163	1,112	171	941	123	635	141	645	137	10,950	1,783
令和3年度	560	142	664	148	553	142	893	139	908	147	641	145	564	141	576	153	539	169	870	138	892	153	755	128	8,415	1,745

(3) 救急車による患者搬送件数(時間内・時間外)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外	時間内	時間外										
令和5年度	71	66	68	72	90	64	78	65	84	58	64	92	872													
時間内	101	122	114	137	165	125	139	107	131	119	115	118	1,493													
時間外	51	56	65	68	88	60	53	66	85	63	51	70	776													
令和4年度	95	126	101	131	179	136	148	114	128	124	111	94	1,487													
時間内	48	41	54	45	46	48	45	62	65	58	64	69	645													
時間外	106	106	107	117	117	96	98	122	126	135	114	93	1,337													
令和5年度	172	188	182	209	255	189	217	172	215	177	179	210	2,365													
令和4年度	146	182	166	199	267	196	201	180	213	187	162	164	2,263													
令和3年度	154	147	161	162	163	144	143	184	191	193	178	162	1,982													

(4) 交通事故による救急患者人数(時間内・時間外)

	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
	時間内	時間外																								
令和5年度	5	0	5	0	5	1	10	2	6	0	3	2	11	2	8	1	3	2	5	1	7	0	7	1	75	12
時間内	1	1	14	0	10	0	12	1	16	4	21	0	26	1	19	0	20	0	6	0	6	3	9	3	160	13
時間外	4	0	3	0	3	1	4	1	4	1	7	2	2	2	5	0	7	0	3	0	30	18	51	15	123	40
令和4年度	6	2	12	1	6	1	14	0	12	0	5	1	24	1	9	2	12	1	9	2	4	0	4	2	117	13
時間内	4	0	5	2	4	1	2	0	5	0	1	0	0	2	11	0	3	2	1	1	6	1	5	0	47	9
時間外	13	2	9	0	8	2	14	2	12	1	16	2	7	1	24	1	5	1	17	0	5	0	19	0	149	12
令和5年度	6	1	19	0	15	1	22	3	22	4	24	2	37	3	27	1	23	2	11	1	13	3	16	4	235	25
令和4年度	10	2	15	1	9	2	18	1	16	1	12	3	26	3	14	2	19	1	12	2	34	18	55	17	240	53
令和3年度	17	2	14	2	12	3	16	2	17	1	17	2	7	3	35	1	8	3	18	1	11	1	24	0	196	21

3. 診療科別退院延患者数・平均在院日数

	男	女	合計	構成比(%)	死亡(再掲)	平均在院日数
内 科	1,025	830	1,855	53.6%	192	18.0
精神神経科	0	0	0	0.0%	0	0.0
小 児 科	137	102	239	6.9%	0	4.5
外 科	209	103	312	9.0%	14	13.1
整形外科	196	307	503	14.5%	9	25.6
脳神経外科	61	33	94	2.7%	9	17.3
皮 膚 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
泌尿器科	103	22	125	3.6%	7	11.7
産婦人科	0	162	162	4.7%	0	7.5
眼 科	0	0	0	0.0%	0	0.0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0.0%	0	0.0
歯科口腔外科	85	89	174	5.0%	0	3.1
心臓血管外科	0	0	0	0.0%	0	0.0
全 科	1,816	1,648	3,464	100.0%	231	16.3

4. 疾病大分類別・診療科別・退院（転科含む）患者数

			総数	構成比 (%)	内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	産婦人科	歯科口腔外科
			計									
総数		計	3,462	100.0	1,853	239	312	503	94	125	162	174
		男	1,815	100.0	1,024	137	209	196	61	103	--	85
		女	1,647	100.0	829	102	103	307	33	22	162	89
構成比(%)		計	100.0	--	53.5	6.9	9.0	14.5	2.7	3.6	4.7	5.0
		男	100.0	--	56.4	7.5	11.5	10.8	3.4	5.7	--	4.7
		女	100.0	--	50.3	6.2	6.3	18.6	2.0	1.3	9.8	5.4
I	感染症及び寄生虫症	計	95	2.7	67	24	4	--	--	--	--	--
		男	49	2.7	33	14	2	--	--	--	--	--
		女	46	2.8	34	10	2	--	--	--	--	--
II	新生物<腫瘍>	計	396	11.4	171	3	118	2	3	74	24	1
		男	261	14.4	107	2	79	2	3	68	--	--
		女	135	8.2	64	1	39	--	--	6	24	1
III	血液及び造血系の疾患並びに免疫機構の障害	計	29	0.8	16	11	1	--	--	--	1	--
		男	17	0.9	5	11	1	--	--	--	--	--
		女	12	0.7	11	--	--	--	--	--	1	--
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	計	83	2.4	69	14	--	--	--	--	--	--
		男	39	2.1	34	5	--	--	--	--	--	--
		女	44	2.7	35	9	--	--	--	--	--	--
V	精神及び行動の障害	計	17	0.5	8	9	--	--	--	--	--	--
		男	13	0.7	5	8	--	--	--	--	--	--
		女	4	0.2	3	1	--	--	--	--	--	--
VI	神経系の疾患	計	79	2.3	55	17	--	3	4	--	--	--
		男	55	3.0	33	17	--	1	4	--	--	--
		女	24	1.5	22	--	--	2	--	--	--	--
VII	眼及び付属器の疾患	計	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--
		男	1	0.1	1	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
VIII	耳及び乳様突起の疾患	計	25	0.7	23	2	--	--	--	--	--	--
		男	10	0.6	10	--	--	--	--	--	--	--
		女	15	0.9	13	2	--	--	--	--	--	--
IX	循環器系の疾患	計	518	15.0	473	2	--	1	42	--	--	--
		男	308	17.0	280	1	--	1	26	--	--	--
		女	210	12.8	193	1	--	--	16	--	--	--
X	呼吸器系の疾患	計	442	12.8	366	71	5	--	--	--	--	--
		男	275	15.2	229	42	4	--	--	--	--	--
		女	167	10.1	137	29	1	--	--	--	--	--
X I	消化器系の疾患	計	574	16.6	233	2	168	2	--	--	2	167
		男	310	17.1	112	1	114	--	--	--	--	83
		女	264	16.0	121	1	54	2	--	--	2	84
X II	皮膚及び皮下組織の疾患	計	29	0.8	16	--	6	3	--	--	--	4
		男	10	0.6	5	--	3	1	--	--	--	1
		女	19	1.2	11	--	3	2	--	--	--	3
X III	筋骨格系及び結合組織の疾患	計	150	4.3	44	11	1	92	2	--	--	--
		男	72	4.0	22	6	--	44	--	--	--	--
		女	78	4.7	22	5	1	48	2	--	--	--
X IV	腎尿路生殖器系の疾患	計	175	5.1	123	3	--	1	--	38	10	--
		男	83	4.6	57	1	--	--	--	25	--	--
		女	92	5.6	66	2	--	1	--	13	10	--
X V	妊娠、分娩及び産じょ<<褥>	計	123	3.6	--	--	--	--	--	--	123	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	123	7.5	--	--	--	--	--	--	123	--
X VI	周産期に発生した病態	計	30	0.9	--	29	--	--	--	--	1	--
		男	12	0.7	--	12	--	--	--	--	--	--
		女	18	1.1	--	17	--	--	--	--	1	--
X VII	先天奇形、変形及び染色体異常	計	12	0.3	--	11	1	--	--	--	--	--
		男	2	0.1	--	2	--	--	--	--	--	--
		女	10	0.6	--	9	1	--	--	--	--	--
X VIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	計	72	2.1	39	15	2	3	1	12	--	--
		男	33	1.8	14	7	1	1	--	10	--	--
		女	39	2.4	25	8	1	2	1	2	--	--
X IX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	計	476	13.7	54	10	6	360	42	1	1	2
		男	203	11.2	28	6	5	135	28	--	--	1
		女	273	16.6	26	4	1	225	14	1	1	1
X X	傷病及び死亡の外因	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		男	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
		女	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
X X I	健康状態に影響をおよぼす要因及び保健サービスの利用	計	37	1.1	1	--	--	36	--	--	--	--
		男	12	0.7	1	--	--	11	--	--	--	--
		女	25	1.5	--	--	--	25	--	--	--	--
X X II	特殊目的用コード	計	99	2.9	94	5	--	--	--	--	--	--
		男	50	2.8	48	2	--	--	--	--	--	--
		女	49	3.0	46	3	--	--	--	--	--	--

5. 手術室統計

(1) 各科別手術件数

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	17	14	15	19	20	15	17	18	15	15	17	12	194
整形外科	29	37	31	33	33	32	37	39	37	34	42	31	415
泌尿器科	7	4	6	5	5	6	4	6	5	5	6	3	62
産婦人科	7	3	5	1	3	3	6	4	3	4	4	8	51
脳神経外科	1	4	0	2	3	4	4	1	1	4	4	4	32
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	8	13	22	16	24	18	17	21	15	11	14	18	197
心臓血管外科	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
内科	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	3
合計	69	76	79	76	88	78	86	91	77	73	87	76	956
緊急手術	12	11	8	13	10	15	16	11	17	19	19	16	167

(2) 各科麻酔別手術 (全身麻酔)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	17	12	15	16	20	13	14	17	15	13	17	12	181
整形外科	16	16	16	11	15	12	13	12	10	16	8	9	154
泌尿器科	5	3	4	1	3	4	2	3	3	3	2	2	35
産婦人科	2	0	2	1	0	3	3	1	2	3	2	1	20
脳神経外科	0	1	0	0	1	1	1	1	0	1	1	0	7
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	8	7	14	11	13	15	11	11	10	8	7	14	129
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	48	39	51	40	52	48	44	45	40	44	37	38	526

(3) 各科麻酔別手術 (腰椎麻酔)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	0	1	0	2	0	2	1	1	0	1	0	0	8
整形外科	8	16	7	12	12	11	14	16	16	9	23	14	158
泌尿器科	0	0	1	4	2	2	1	2	2	2	3	1	20
産婦人科	5	3	3	0	2	0	2	2	1	0	2	5	25
脳神経外科	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	20	11	18	16	15	18	21	19	12	28	20	212

(4) 各科麻酔別手術 (局所麻酔・その他)

※外来手術 ()

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	0	1 (1)	0	1 (1)	0	0	2	0	0	1	0	0	5 (2)
整形外科	5 (3)	5 (4)	8 (5)	10 (5)	6 (4)	9 (7)	10 (4)	11 (5)	11 (3)	9 (5)	11 (4)	8 (4)	103 (53)
泌尿器科	1	1 (1)	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	6
産婦人科	0	0	0	0	1	0	1	1	0	1	0	2	6
脳神経外科	1 (1)	3	0	2	2	3	3	0	1	1	3	4	23 (1)
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
口腔外科	0	6 (6)	8 (8)	5 (5)	11 (11)	3 (3)	6 (6)	10 (11)	5 (5)	3 (3)	7 (7)	4 (3)	68 (68)
内科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
心臓血管外科	0	1	0	0	0	0	1 (1)	0	0	0	0	0	2
合計	6 (4)	16 (11)	16 (13)	18 (11)	20 (15)	15 (10)	23 (11)	22 (16)	17 (8)	15 (8)	21 (11)	18 (7)	207 (125)

(5) 手術分類別・診療科別・手術数

		総数	構成比 (%)	内科	外科	整形	脳外	泌尿器	産婦	歯科
総数	計	948	100.0	10	225	413	36	61	52	151
	男	467	100.0	6	157	162	24	45	--	73
	女	481	100.0	4	68	251	12	16	52	78
構成比 (%)	計	100.0	--	1.1	23.7	43.6	3.8	6.4	5.5	15.9
	男	100.0	--	1.3	33.6	34.7	5.1	9.6	--	15.6
	女	100.0	--	0.8	14.1	52.2	2.5	3.3	10.8	16.2
処置及び手技	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
I 神経系の手術	計	32	3.4	2	--	2	28	--	--	--
	男	21	4.5	2	--	--	19	--	--	--
	女	11	2.3	--	--	2	9	--	--	--
II 内分泌系の手術	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
III 目の手術	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
IV 耳の手術	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
V 鼻、口、および咽頭の手術	計	144	15.2	--	--	--	--	--	--	144
	男	70	15.0	--	--	--	--	--	--	70
	女	74	15.4	--	--	--	--	--	--	74
VI 呼吸器系の手術	計	3	0.3	2	--	--	1	--	--	--
	男	1	0.2	1	--	--	--	--	--	--
	女	2	0.4	1	--	--	1	--	--	--
VII 循環器系の手術	計	10	1.1	2	2	3	2	1	--	--
	男	9	1.9	2	1	3	2	1	--	--
	女	1	0.2	--	1	--	--	--	--	--
VIII 血液系およびリンパ系の手術	計	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
IX 消化器系の手術	計	221	23.3	2	218	1	--	--	--	--
	男	158	33.8	1	156	1	--	--	--	--
	女	63	13.1	1	62	--	--	--	--	--
X 尿路系の手術	計	52	5.5	--	--	--	--	52	--	--
	男	36	7.7	--	--	--	--	36	--	--
	女	16	3.3	--	--	--	--	16	--	--
X I 男性生殖器の手術	計	7	0.7	--	--	--	--	7	--	--
	男	7	1.5	--	--	--	--	7	--	--
	女	--	--	--	--	--	--	--	--	--
X II 女性生殖器の手術	計	37	3.9	--	2	--	2	--	33	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	37	7.7	--	2	--	2	--	33	--
X III 産科的処置	計	18	1.9	--	--	--	--	--	18	--
	男	--	--	--	--	--	--	--	--	--
	女	18	3.7	--	--	--	--	--	18	--
X IV 筋骨格系の手術	計	401	42.3	2	--	389	3	--	--	7
	男	158	33.8	--	--	152	3	--	--	3
	女	243	50.5	2	--	237	--	--	--	4
X V 表皮組織の手術	計	20	2.1	--	3	15	--	1	1	--
	男	6	1.3	--	--	5	--	1	--	--
	女	14	2.9	--	3	10	--	--	1	--
X VI 各種の診断および治療	計	3	0.3	--	--	3	--	--	--	--
	男	1	0.2	--	--	1	--	--	--	--
	女	2	0.4	--	--	2	--	--	--	--

※手術室で実施された入院の手術件数

※診療科は入院中の科によるカウント

6. 放射線画像統計

<令和5年度 月別検査件数>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
CT検査	640	687	651	659	741	657	760	710	694	693	667	744	8,303
MRI検査	169	164	216	179	191	160	196	165	191	181	176	189	2,177
RI検査	7	9	16	8	12	8	10	8	9	4	9	6	106
TV室撮影	58	94	90	62	47	94	111	103	104	82	92	61	998
ポータブル	112	104	139	134	128	141	115	131	141	165	125	128	1,563
血管造影	21	20	28	15	23	20	20	24	16	25	21	20	253
骨塩定量測定	26	29	42	34	28	42	36	34	45	28	25	34	403
手術室撮影	60	57	62	65	72	55	71	73	63	61	73	54	766
単純撮影	1,462	1,668	1,912	1,908	1,906	1,682	1,991	1,637	1,582	1,499	1,485	1,545	20,277
超音波検査	189	193	231	214	193	195	207	187	184	159	180	145	2,277
読影依頼	0	0	2	2	0	0	0	1	0	0	0	1	6
乳房撮影	29	43	79	68	55	68	79	63	65	50	58	62	719
検査全件数	2,791	3,080	3,475	3,357	3,413	3,136	3,604	3,152	3,111	2,956	2,920	3,001	37,996

<令和5年度 科別検査件数>

	CT	MRI	RI	TV	ポータブル	血管	骨塩	手術室	単純	US	乳房	合計
内科	4,462	620	41	143	821	225	19	1	5,398	677	0	12,408
外科	658	79	5	139	586	18	20	360	1,087	255	214	3,424
整形外科	1,433	463	1	38	100	1	251	366	6,506	341	0	9,501
脳神経外科	730	335	6	3	28	7	0	28	220	13	0	1,343
泌尿器科	285	58	16	79	10	1	14	2	516	52	0	1,033
耳鼻科	112	27	0	0	1	0	0	0	26	145	0	311
小児科	21	41	2	0	9	0	0	0	217	151	0	442
産婦人科	30	108	0	0	6	0	5	36	80	10	0	275
放射線科	263	340	33	0	0	0	22	0	27	40	0	725
皮膚科	6	4	0	0	0	0	0	0	11	3	0	24
眼科	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6
精神科・神経科	5	23	2	0	0	0	0	0	3	0	0	33
歯科口腔外科	271	12	0	0	0	0	0	0	936	0	0	1,219
心臓血管外科	8	0	0	0	0	0	0	0	10	2	0	20
透析室	13	3	0	0	1	0	1	0	756	15	0	789
健診センター	0	64	0	744	0	0	71	0	4,484	573	505	6,441

7. クリニカルパス使用状況

診療科	パス名称	適用件数	合計	パス適用率
内科	シヤントPTA	6	237	11.27%
	成人レスパイト入院	0		
	気管支鏡	6		
	下肢動脈造影検査	1		
	恒久的ペースメーカー植え込み術	14		
	恒久的ペースメーカー電池交換術	5		
	心カテPCI治療	74		
	心カテ検査	64		
	下肢PTA治療	8		
	内視鏡的大腸ポリープ切除術	59		
小児科	新生児	4	48	27.39%
	小児急性虫垂炎	0		
	MRI検査入院	0		
	輸液	0		
	小児レスパイト入院	32		
	X連鎖無ガンマグロブリン血症-献血ベニロン点滴	12		
	帝王切開児	0		
外科	S状結腸切除術	12	190	51.64%
	膵頭十二指腸切除術	1		
	胃切除術	14		
	胃全摘術	7		
	右半、横行、左半結腸切除術	34		
	開腹胆嚢摘出術	4		
	痔核痔瘻	3		
	小児急性虫垂炎	0		
	成人急性虫垂炎	23		
	成人鼠径ヘルニア	7		
	大腸切除術(ストマあり)	3		
	腹腔鏡下直腸固定術	1		
	直腸切除術	10		
	乳房切除術	3		
	腹腔鏡下鼠径ヘルニア	47		
腹腔鏡下胆嚢摘出術	21			
整形外科	大腿骨頸部骨折	40	374	58.27%
	人工骨頭手術	32		
	人工股関節手術	19		
	人工膝関節手術	10		
	上肢手術	110		
	下肢手術	131		
	頷椎手術	4		
	腰椎手術	25		
	小児骨折	3		
	膝関節鏡	0		
脳神経外科	CAG	5	38	39.25%
	CAS	1		
	脳梗塞	4		
	脳出血	8		
	慢性硬膜下血腫	20		
産婦人科	子宮腔部円錐切除	4	239	82.63%
	膣式子宮全摘+膣壁形成術	2		
	子宮筋腫核出術	0		
	正常産褥	86		
	帝王切開術	43		
	子宮内容除去術	0		
	付属切除術	0		
	腹腔鏡下手術	13		
	子宮全摘術	5		
	流産手術	6		
新生児	80			
泌尿器科	経尿道的尿管結石摘除術	17	79	56.82%
	経尿道的膀胱結石摘除	1		
	腹腔鏡下腎摘除	4		
	腹腔鏡下仙骨腫固定術	0		
	経尿道的膀胱腫瘍切除	23		
	CVポート留置術	0		
	経尿道的前立腺切除	3		
	内シヤント	10		
前立腺生検	21			
歯科	抜歯手術	177	177	69.14%
全科合計		1,382	1,382	31.60%

※件数については、外来で適用されたパス件数も含まれます

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目	脳血管リハI		廃用リハI		運動器リハI		呼吸器リハI		脳血管I 上限超		廃用I 上限超		運動器I 上限超		呼吸器I 上限超		脳血管I 上限超併用			
		件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数
		245	180	185	175	245	180	185	175	245	180	185	175	245	180	185	175	245	147		
理学	外来	0	0	0	0	109	181	0	0	0	0	0	0	0	8	15	0	0	0	0	
	入院	2,638	4,131	7,808	10,561	4,393	7,898	28	44	0	0	0	0	0	24	30	0	0	0	0	
	小計	2,638	4,131	7,808	10,561	4,502	8,079	28	44	0	0	0	0	0	32	45	0	0	0	0	
作業	外来	3	3	0	0	280	550	0	0	0	0	0	0	0	12	26	0	0	0	0	
	入院	2,451	4,195	5,763	7,830	966	1,781	6	8	0	0	0	0	0	0	4,810	0	0	0	0	
	小計	2,454	4,198	5,763	7,830	1,246	2,331	6	8	0	0	0	0	0	14	28	0	0	0	0	
言語	外来	36	52	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	入院	1,907	2,505	3,573	4,032	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	小計	1,943	2,557	3,573	4,032	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	外来	39	55	0	0	389	731	0	0	1	1	0	0	0	20	41	0	0	0	0	
	入院	6,996	10,831	17,144	22,423	5,359	9,679	34	52	0	0	0	0	0	26	32	0	0	0	0	
	総合計	7,035	10,886	17,144	22,423	5,748	10,410	34	52	1	1	0	0	0	46	73	0	0	0	0	

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目		脳血管 I 上限超併用超		廃用 I 上限超併用超		運動器 I 上限超併用超		脳 I 上限超併超入院外		廃 I 上限超併超入院外		運 I 上限超併超入院外		脳血管 I 管理料未算定		廃用 I 管理料未算定		運動器 I 管理料未算定		
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	
																					件数
理学	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		147	147	108	108	111	111	147	147	108	108	111	111	147	147	221	221	162	162	167	167

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目	脳 I 上限超併用管理未		運 I 上限超併用管理未		脳 I 上限超併外管理未		運 I 上限超併外管理未		脳 I 上限超併超管理未		運 I 上限超併超管理未	
		件数	単位数										
		132		100		132		97		132		97	
理学	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業	外来	3	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	外来	3	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合計	3	396	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目		脳 I 上超併超外管理未		廃 I 上超併超外管理未		運 I 上超併超外管理未		脳血管 I 労災		廃用 I 労災		運動器 I 労災		呼吸器 I 労災		がんリハ		摂食機能療法		摂食 (30分未満)		
	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数	
																							132
理学	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
作業	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
言語	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	総合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		132	97	100	250	250	250	190	180	205	185	130											

8. リハビリ統計

療法区分	医事項目		運動器Ⅰ地域包括		呼吸器Ⅰ地域包括		がんりハ地域包括		目標設定管理 初回	目標設定管理 2回以降	生活リハビリ	未算定	算定不可	障害測定	嚥下造影検査(胃ろう)	嚥下造影検査	地域包括リハビリ総合	地域包括ケア病棟退院	地域包括ケア病棟退院
	件数	点数	件数	単位数	件数	単位数	件数	単位数											
	外来	入院	小計	外来	入院	小計	外来	入院	小計	外来	入院	小計	外来	入院	小計	外来	入院	小計	合計
理学	0	0	0	0	0	0	0	0	250	100	0	0	0	0	0	0	240	300	580
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	0	0	0
	2,053	4,312	6,365	29	55	84	204	300	95	1	25	378	0	0	0	0	12	140	0
作業	0	327,080	327,080	0	55	55	204	300	95	1	25	397	0	0	0	0	480	16,800	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1,407	3,204	4,611	35	78	113	250	431	3	0	39	198	0	0	0	0	0	118	0
言語	0	207,570	207,570	0	35	35	250	431	3	0	39	198	0	0	0	0	0	8,700	0
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1,407	3,204	4,611	35	78	113	250	431	3	0	39	198	1	0	0	0	0	118	0
合計	0	534,650	534,650	64	133	197	508	794	101	2	83	901	1	2	0	5	336	13	270
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3,460	7,516	10,976	64	133	197	508	794	101	2	83	925	2	18	0	5	336	13	270
総合計	0	534,650	534,650	64	133	197	508	794	101	2	83	925	2	18	0	5	336	13	270
総合計	0	534,650	534,650	64	133	197	508	794	101	2	83	925	2	18	0	5	336	13	270

9. 地域医療連携室相談実績

単位：件数

相談件数	
入院	1,678
外来	46
訪問リハビリ	8
合計	1,732

相談内容	
介護保険制度の説明	54
医療助成制度・障がい制度について	2
地域との連携	4
市と連携	17
開業医との連携	1
元の病院・施設へ戻るための連携	192
ケアマネと主治医との連携・調整	18
ケアマネまたは訪問看護との連携	464
訪問リハ調整	1
在宅調整	175
施設調整	94
転院調整	239
受診調整	1
転入調整	1
転出調整	3
身障手帳の手続き等の説明	1
レスパイト入院	2
がん相談	15
療養相談	34
情報収集	316
サービス調整	42
他院紹介・連携	2
合計	1678

相談依頼元	
病棟	1630
医師	5
救急	1
訪問看護	14
本人	1
家族	2
ケアマネ	23
老人福祉施設	1
市役所	1
合計	1678

入院中の相談・退院支援患者の転帰状況	
在宅	945
施設	328
病院転院	225
死亡	180
合計	1,678

カンファレンス	
400点	215
2000点	2
合計	217

地域連携クリニカルパス適用件数	
脳卒中地域連携クリニカルパス	6
大腿骨頸部骨折クリニカルパス	26
合計	32

退院支援計画書	
退院支援計画書提出数	1,723

地域包括ケア病棟への入院相談	
レスパイト入院	44
小児レスパイト	35
合計	79

10. 健診センター受診者件数

(年度)

健診の種類 (件)	令和5年度	令和4年度	増減率
人間ドック	533	512	104%
生活習慣病予防健診	1,597	1,687	95%
特定健診	280	260	108%
その他一般健診等	775	807	96%
高島市職員・共済健診	1,773	1,581	112%
教職員健診	259	267	97%
乳がん検診	485	521	93%
子宮頸がん検診	516	533	97%
大腸がん検診	858	705	122%
特定保健指導	0	0	-
脳ドック	15	20	75%
P E T / C T	1	1	100%

オプション検査 (件)	令和5年度	令和4年度	増減率
AFP	6	8	75%
PSA	53	42	126%
CA125	31	32	97%
CEA・CA19-9 (2項目)	53	57	93%
腫瘍マーカー 3項目	184	180	102%
腫瘍マーカー 4項目	528	563	94%
HbA1c	179	301	59%
肝炎検査	203	172	118%
胃カメラ	919	910	101%
BNP	179	208	86%
ABC検診	35	35	100%
H・ピロリ菌	49	69	71%
甲状腺セット	91	135	67%
骨密度測定	71	79	90%
アレルギー検査	31	31	100%
頸動脈エコー	74	73	101%
脈波検査	80	75	107%
頭部MRI	48	48	100%

11. 病院事業決算比較表

項 目	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
病院事業収益	5,545,082,088	6,001,372,541	▲ 456,290,453	▲ 7.6
医業収益	4,362,944,445	4,206,388,964	156,555,481	3.7
入院収益	2,908,638,905	2,656,572,822	252,066,083	9.5
外来収益	1,256,916,597	1,347,619,837	▲ 90,703,240	▲ 6.7
その他医業収益	197,388,943	202,196,305	▲ 4,807,362	▲ 2.4
室料差額収益	59,798,400	62,021,200	▲ 2,222,800	▲ 3.6
公衆衛生活動収益	21,541,899	25,093,937	▲ 3,552,038	▲ 14.2
医療相談収益	102,725,109	98,072,272	4,652,837	4.7
受託検査等収益	579,751	2,849,461	▲ 2,269,710	▲ 79.7
その他医業収益	12,743,784	14,159,435	▲ 1,415,651	▲ 10.0
医業外収益	1,181,843,912	1,794,735,040	▲ 612,891,128	▲ 34.1
患者外給食収益	0	0	0	-
受取利息配当金	27,150	23,199	3,951	17.0
預金利息	27,150	23,199	3,951	17.0
他会計補助金	0	0	0	-
補助金	264,248,120	895,727,000	▲ 631,478,880	▲ 70.5
負担金交付金	640,000,000	640,000,000	0	0.0
長期前受金戻入	234,296,219	219,575,296	14,720,923	6.7
その他医業外収益	43,272,423	39,409,545	3,862,878	9.8
不用品売却収益	0	0	0	-
その他医業外収益	43,272,423	39,409,545	3,862,878	9.8
消費税還付金	0	0	0	-
特別利益	293,731	248,537	45,194	18.2
固定資産売却益	0	0	0	-
過年度損益修正益	293,731	248,537	45,194	18.2
その他特別利益	0	0	0	-
病院事業費用	5,734,794,344	5,490,341,492	244,452,852	4.5
医業費用	5,388,129,477	5,201,935,079	186,194,398	3.6
給与費	3,082,986,862	2,993,843,524	89,143,338	3.0
給料	1,529,063,253	1,481,407,093	47,656,160	3.2
手当	871,253,110	838,723,251	32,529,859	3.9
報酬	0	0	0	-
法定福利費	370,718,179	364,537,640	6,180,539	1.7
退職給付費	142,959,320	150,326,540	▲ 7,367,220	▲ 4.9
期末勤勉手当引当金繰入額	142,009,000	133,485,000	8,524,000	6.4
法定福利費引当金繰入額	26,984,000	25,364,000	1,620,000	6.4
材料費	914,364,135	905,017,041	9,347,094	1.0
薬品費	435,116,440	428,771,256	6,345,184	1.5
診療材料費	426,520,942	427,494,305	▲ 973,363	▲ 0.2
給食材料費	49,461,513	43,224,694	6,236,819	14.4
医療消耗備品費	3,265,240	5,526,786	▲ 2,261,546	▲ 40.9
経費	952,711,729	880,975,141	71,736,588	8.1
厚生福利費	7,893,499	7,704,734	188,765	2.4
報償費	682,500	746,065	▲ 63,565	▲ 8.5
旅費交通費	843,463	641,140	202,323	31.6
職員被服費	0	0	0	-
消耗品費	19,746,984	18,400,501	1,346,483	7.3
消耗備品費	2,239,500	2,957,264	▲ 717,764	▲ 24.3
光熱水費	88,227,319	106,164,532	▲ 17,937,213	▲ 16.9
燃料費	1,254,615	1,302,640	▲ 48,025	▲ 3.7

項目	令和5年度	令和4年度	増減額	増減率
食糧費	68,458	39,316	29,142	74.1
印刷製本費	1,540,371	1,214,474	325,897	26.8
修繕料	125,877,533	62,870,243	63,007,290	100.2
保険料	9,924,190	9,520,737	403,453	4.2
賃借料	91,111,622	87,207,379	3,904,243	4.5
通信運搬費	9,609,643	9,231,155	378,488	4.1
委託料	566,263,923	549,307,655	16,956,268	3.1
諸会費	4,478,450	4,456,370	22,080	0.5
交際費	462,701	469,752	▲ 7,051	▲ 1.5
貸倒引当金繰入額	1,000,000	1,000,000	0	0.0
雑費	21,486,958	17,741,184	3,745,774	21.1
減価償却費	424,048,867	408,848,870	15,199,997	3.7
建物減価償却費	90,221,682	90,255,806	▲ 34,124	▲ 0.0
構築物減価償却費	130,853,171	131,942,241	▲ 1,089,070	▲ 0.8
機械及び装置減価償却費	12,306,652	12,829,895	▲ 523,243	▲ 4.1
車両運搬具減価償却費	317,867	524,010	▲ 206,143	▲ 39.3
器具備品減価償却費	190,349,495	173,296,918	17,052,577	9.8
資産減耗費	2,939,641	5,137,181	▲ 2,197,540	▲ 42.8
たな卸資産減耗費	858,052	829,972	28,080	3.4
固定資産除却費	2,081,589	4,307,209	▲ 2,225,620	▲ 51.7
研究研修費	11,078,243	8,113,322	2,964,921	36.5
研究材料費	0	0	0	-
謝金	0	0	0	-
旅費	2,368,262	1,125,343	1,242,919	110.4
図書費	4,896,671	5,663,372	▲ 766,701	▲ 13.5
研究雑費	3,813,310	1,324,607	2,488,703	187.9
医業外費用	216,640,211	212,470,050	4,170,161	2.0
患者外給食材料費	1,393,760	1,467,853	▲ 74,093	▲ 5.0
職員養成費	0	0	0	-
支払利息及び企業債取扱諸費	22,985,584	23,416,797	▲ 431,213	▲ 1.8
企業債利息	22,985,584	23,416,797	▲ 431,213	▲ 1.8
一時借入金利息	0	0	0	-
雑損失	192,260,867	187,585,400	4,675,467	2.5
不用品売却原価	0	0	0	-
その他雑損失	192,260,867	187,585,400	4,675,467	2.5
特別損失	130,024,656	75,936,363	54,088,293	71.2
固定資産売却損	0	0	0	-
減損損失	0	0	0	-
災害による損失	0	0	0	-
過年度損益修正損	120,274,656	45,336,363	74,938,293	165.3
その他特別損失	9,750,000	30,600,000	▲ 20,850,000	▲ 68.1
当年度純利益	▲ 189,712,256	511,031,049	▲ 700,743,305	▲ 137.1
資本的収入	290,191,000	313,208,000	▲ 23,017,000	▲ 7.3
企業債	162,000,000	207,100,000	▲ 45,100,000	▲ 21.8
出資金	1,860,000	1,700,000	160,000	9.4
補助金	8,321,000	3,038,000	5,283,000	173.9
他会計負担金	118,010,000	101,370,000	16,640,000	16.4
固定資産売却代金	0	0	0	-
資本的支出	453,851,460	439,927,095	13,924,365	3.2
建設改良費	174,066,090	196,564,940	▲ 22,498,850	▲ 11.4
投資	11,500,000	8,900,000	2,600,000	29.2
企業債償還金	268,285,370	234,462,155	33,823,215	14.4

